鹿児島県への移住・交流に関するお問い合わせは

東京 かごしま移住・交流相談窓口 かごしま「よかとこ」暮らし支援センター

鹿児島県への移住に興味のある方や移住を検討している方などに対し、専門の相談員が鹿児島の生活環境や住まい、移住支援などについて幅広く相談をお受けします。

東京都千代田区有楽町2-10-1 有楽町駅前 東京交通会館8F（ふるさと回帰支援センター内）

080（7731）7915（担当者直通） kagoshima@furusatokaiki.net

相談時間：火曜～日曜 10時～18時
休　　日：月曜・祝日・年末年始等

【UIターン就職Web相談】

移住相談窓口で、Web面談によりふるさと人材相談室へUIターン就職の相談ができるようになりました。

受付時間：水曜～金曜　10時～17時15分
予約方法：来所相談をご予約の際、就職相談希望とお伝えください。
※センターの予約フォームから予約する際は 相談内容欄に就職相談希望の旨記載してください。

鹿児島県東京事務所（東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階）
03（5212）9062　FAX 03（5212）9063　kigyou@pref.kagoshima.lg.jp

大阪 鹿児島県大阪事務所

大阪市北区梅田1-3-1-900（大阪駅前第一ビル9階11号）
06（6341）5618　FAX 06（6341）7210
os3025@pref.kagoshima.lg.jp

福岡 鹿児島県福岡事務所

福岡市博多区博多駅中央街8-20（第二博多相互ビル5階501号）
092（441）2852　FAX 092（441）2863
fukukan@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県への移住・就業に関する情報は

鹿児島県移住・交流ポータルサイト

かごしま 移住ネット

かごしま　移住　×

鹿児島県就職情報提供サイト

鹿児島ではたらく、くらす。かごJob

かごJob　×

鹿児島の魅力をご紹介

鹿児島県ＨＰ 鹿児島の魅力

鹿児島県 PR 動画を是非ご覧ください！

Breathtaking KAGOSHIMA
KAGOSHIMA Energetic Japan
BIRD'S EYE VIEW OF KAGOSHIMA
Beauty of Life, Kagoshima

鹿児島県

かごしま移住 ガイドブック

発行/2024年7月
鹿児島県 商工労働水産部
産業人材確保・移住促進課
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
099（286）3098　iju@pref.kagoshima.lg.jp
写真協力：公益社団法人　鹿児島県観光連盟

鹿児島

移住

ガイドブック

NAVIGATE KAGOSHIMA

南の宝箱 鹿児島

鹿児島での暮らしは魅力がいっぱい

豊かな自然や温泉、世界自然遺産を有する離島、美味しい料理に心温かい人々。
あなたの生活を彩り豊かなものにする、ここはまさに「南の宝箱鹿児島」です。

雄大な自然がすぐそばにある暮らし

Pターンで農業を営む暮らし

Uターンして家業を継ぐ暮らし

転職せず「リモートワーク」を続ける暮らし

地域おこし協力隊としての暮らし

自分の夢（目標）を実現する暮らし

島の青い海に囲まれ子育てする暮らし

Contents

特集「かごしまの暮らしについて」…03
（住宅・仕事・医療・子育て・田舎暮らし体験等）
地域おこし協力隊制度について……13
移住までのステップ……14
移住者インタビュー……15
鹿児島へのアクセス……19
鹿児島県市町村移住ガイド……21
市町村移住支援内容早見表……65

鹿児島県の「移住・交流サイト」

かごしま 移住ネット

あなたが知りたい「鹿児島への移住」に関する情報を、全て検索。
「ワーケーション」の情報も検索でき、すぐにでも鹿児島へ飛び立ちたくなる！

印象的なトップ画面に検索しやすいナビゲーション

暮らしがイメージできる移住者の声が満載

43市町村のどこにしようかな？鹿児島移住の検討日記

県や市町村のイベント情報を随時発信

おいでや!!いなか暮らしフェア
日時　7月20日(土) 11:00～17:00
場所　OMMビル 2階ホール@大阪

移住に関する支援制度を市町村ごとに一覧表示

ワーケーションに関する情報も掲載

移住といえば「仕事」。就職情報サイトもすぐ検索できる！

鹿児島県商工労働水産部
産業人材確保・移住促進課　移住促進係
TEL：099-286-3043
FAX: 099-286-3599
Mail：iju@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島に住みたい!

移住しようと決めたら必要となるのが、住む場所です。
住居を探すための情報収集の方法などを紹介します。

空き家を探す!

民間の賃貸住宅を探す ※宅地・建物購入も含みます。

下記の団体にご相談ください。

(公社)鹿児島県宅地建物取引業協会
℡099(252)7111 FAX099(257)1452 HP http://www.k-takken.com/

(公社)全日本不動産協会鹿児島県本部
℡099(813)0511 FAX099(813)0510 HP http://kagoshima.zennichi.or.jp/

空き家バンク制度について

鹿児島県内で空き家バンクを運営している自治体 令和6年4月現在

鹿児島市、日置市、いちき串木野市、枕崎市、指宿市、南さつま市、南九州市、阿久根市、出水市、薩摩川内市、さつま町、長島町、霧島市、伊佐市、姶良市、湧水町、鹿屋市、垂水市、曽於市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町、西之表市、中種子町、南種子町、屋久島町、奄美市、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町（40市町村）

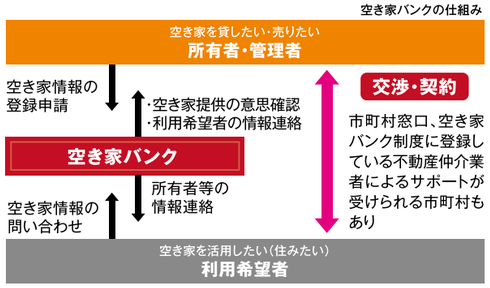
各市町村の情報はこちら→ 鹿児島県 空き家住宅情報

空き家バンクとは？

空き家の利用を希望する方に、空き家の売却や賃貸を考えている所有者を市町村が紹介するシステムです。

交渉・契約について、市町村窓口、空き家バンク制度に登録している不動産仲介業者によるサポートが受けられる市町村もあります。

空き家バンクの仕組み



公共賃貸住宅を探す!

県営住宅

募集時期や入居資格については、下記までお問い合わせください。
鹿児島県土木部建築課住宅政策室住宅管理係
℡099(286)3735
鹿児島県 県営住宅

市町村営住宅

市町村営住宅を整備・運営している市町村もあります。
入居資格などの詳細については、各市町村にお問い合わせください。(問い合わせ先はP65をご参照ください。)

家を買う!

住宅の新築・購入・改修等に関して、助成制度等の支援措置を設けている市町村があります。
市町村に助成制度等があるかどうかは、P65～P66をご参照ください。
助成要件などの詳細は、各市町村にお問い合わせください。

支援措置を設けている市町村は、市町村ページ(P21～P64)内で
住宅購入等支援アイコン(左図)がついています。

鹿児島で働きたい!

移住する前に就職先を探したい方へ UIJターン者向け

UIJターン就職を徹底サポート

鹿児島県ふるさと人材相談室へ登録 登録無料

UIJターン希望者向け専門の求人を取り扱う、鹿児島県が運営する無料職業紹介所です。

相談窓口
様々な不安や疑問に対応します。
窓口は全国3カ所(東京・大阪・鹿児島)
UIJターン専門だから
企業担当者へ面接やUIJターンの時期を相談しやすい。

情報提供・企業への紹介
気になる企業についての情報提供や、登録者に合う求人の情報を提供し、企業への紹介を行い、就職までをサポートします。

求人情報
全てオリジナルの求人情報です。
企業は登録制なので安心。
情報誌もお届け。
UIJターン専門だから
登録されている求人は鹿児島県内の正社員募集のみ。

お気軽にお問い合わせください!

【ご相談はこちら】
0120-445-106
(携帯・スマホはこちらから 099-250-6855)
[利用時間] 平日8:30-17:15 ※12/29～1/3を除く
f-jinzai@pref.kagoshima.lg.jp

【窓口別 問い合わせ先】
東京 ℡03(5212)9062
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3(都道府県会館12階)
大阪 ℡06(6341)5618
〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-900(大阪駅前第1ビル9階11号)
鹿児島 ℡0120(445)(106)
携帯・スマホはこちらから 099(250)6855
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
(鹿児島県庁産業人材確保・移住促進課内)

鹿児島で起業したい方へ

創業支援資金 鹿児島県の中小企業融資制度です

県内で新規に事業を始めようとする方を応援します!

お問い合わせ 鹿児島県商工労働水産部中小企業支援課金融係
℡099(286)2946

創業支援資金に関する情報は 鹿児島県 創業支援資金で検索!

相談・申し込み先 各商工会議所・商工会にお問い合わせください。

▼県内商工会議所の連絡先リスト(県内11商工会議所、県商工会議所連合会)
https://www5.cin.or.jp/ccilist/prefecture/46

▼県商工会連合会(各商工会連絡先リスト)
https://r.goope.jp/srp-46/shokokai/

(公財)かごしま産業支援センター

創業、経営革新、売上拡大などを行う中小企業・小規模事業者等を支援するため、あらゆる相談に無料で応じます。

相談窓口 鹿児島県よろず支援拠点 ℡099(219)3740
FAX099(223)7117
kagoyoro@yorozu-kagoshima.go.jp
かごよろで検索!

地域課題解決型の起業をお考えの方へ

デジタル技術を活用し、地域の課題解決を目的として新たに起業する方及びSociety5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野※での事業継承又は第二創業した方に対し、起業、事業継承又は第二創業に必要な経費の一部として、「起業支援金」(補助率1/2、最大200万円)を交付するとともに、事業の立ち上げに関する相談対応や経営支援を行います。

※ 未来技術(Iot、ビッグデータ、人工知能(AI)、ロボット等)を活用した新たな社会システムづくり等に関する事業を想定

お問い合わせ 鹿児島県商工労働水産部
産業人材確保・移住促進課 人材確保企画係
℡099-286-2990

鹿児島県起業支援金で検索!

東京圏から県内企業への就職をお考えの学生の方へ

県内企業への就職が内定している東京都内の大学生に対し、就職活動に要した往復交通費の一部を「地方就職学生支援金」(補助率1/2、交付は1回)として交付します。

お問い合わせ 鹿児島県商工労働水産部
産業人材確保・移住促進課 人材確保企画係
℡099-286-2990

鹿児島県地方就職学生支援金で検索!

鹿児島で働きたい！

WEBで県内企業情報や求人を調べたい方

かごJob

鹿児島県内の企業の情報や求人情報を多数掲載！
そのほか就活関連のイベント情報や県内企業で働く人の声など、県内就職を検討されている方へのお役立ち情報を掲載しています。

下記「移住支援金対象法人」の求人も掲載しています！

URL:https://www.kagojob.jp/

お問い合わせ　かごJob運営事務局
☎03-4431-3745

かごJobで検索！

鹿児島県での就業を考えている方へ

（Uターン者向け）

鹿児島県内企業に就業等された方へ
奨学金の返還を支援します！

現在、鹿児島県外に居住及び就業している方が、今後、鹿児島県内に居住及び就業し、一定の要件を満たした場合に、その方が日本学生支援機構等から借り受けた奨学金について、返還を支援する制度を実施しています。
募集対象者や募集人員など詳しい情報は、鹿児島県育英財団ホームページをご確認ください。

お問い合わせ　（公財）鹿児島県育英財団　☎099-286-5244
教育庁総務福利課　☎099-286-5214

鹿児島県育英財団で検索！

東京圏から移住をお考えの方へ

東京圏から鹿児島県へ移住し、就職又は起業した方へ支援金を支給します。

東京23区（在住者又は通勤者）から鹿児島県へ移住し、鹿児島県が運営するマッチングサイト（かごJob）に掲載される県内企業へ就職した方や、県内プロフェッショナル人材戦略拠点によるマッチング支援を経て県内企業に就職した方、テレワーク移住した方、起業支援事業の採択を受け起業をした方等に移住先の市町村から支援金を給付します。

※子育て世帯にはさらに加算あり

お問い合わせ　鹿児島県 商工労働水産部 産業人材確保・移住促進課 人材確保企画係
☎099-286-2990

鹿児島県移住支援金で検索！

鹿児島で働き・暮らす魅力を知りたい方へ

公式 LINE アカウント
「もどってみらんけ？かごしまに！」
（通称：もどかご！）

県内企業の情報やＵターン就職者・県内各地の旬の話題など月２～３回のペースで紹介！
県外に進学・就職した皆さんに、鹿児島で「暮らす・働く・遊ぶ」魅力をお伝えします。

お問い合わせ　鹿児島県商工労働水産部
産業人材確保・移住促進課 雇用促進係
☎099-286-3026

かごしまで農業・畜産業に従事したい!

相談窓口

関係機関で構成する「県就農相談所」で、就農相談や情報提供、資金の交付や農業用施設・機械の導入、農業法人への雇用などを支援しています。

さくらじまネット

問い合わせ先
【就農相談】（公社）鹿児島県農業・農村振興協会　☎099（213）7223
【就農支援】鹿児島県農政部経営技術課就農対策係　☎099（286）3160
【雇用就農】（一社）鹿児島県農業会議　☎099（286）5815

技術研修（かごしま営農塾）

農業に関心のある方への基礎的な座学研修から就農や農業法人への就職に向けた実践的な現地研修まで就農希望者のニーズに対応した各種研修を実施しています。

問い合わせ先
鹿児島県立農業大学校教修部農業研修課　☎099（245）1071

かごしま営農塾

かごしまで林業に従事したい!

相談窓口

就業相談や各種研修の案内等のほか、林業に関する無料職業紹介所を設置し、求人情報の提供や就職のあっせんを行っています。求人情報や各種研修の概要などはＷｅｂサイトにも掲載しています。

問い合わせ先
鹿児島県林業労働力確保支援センター
☎0995（54）3131　FAX 0995（52）1022
鹿児島きこり塾NET　https://k-kikori.jp/

技術研修（鹿児島きこり塾）

新規就業希望者を対象に、林業に必要な基礎知識やチェーンソーなどの資格取得のための研修を実施するとともに、就業体験や就業ガイダンスを行い、林業への就業を支援しています。

問い合わせ先　鹿児島県環境林務部森林経営課担い手育成係
☎099（286）3357　FAX 099（286）5609

鹿児島きこり塾

かごしまで漁業に従事したい!

相談窓口

鹿児島県では、関係機関と一体となって、就業相談や就業に必要な技術研修等の実施、新規就業に係る資金の貸付等の支援を行っています。

問い合わせ先
鹿児島県漁業就業者確保育成センター（県庁水産振興課内）　☎099（286）3437
鹿児島県漁業協同組合連合会 漁業担い手確保・育成推進室　☎099（225）0616

技術研修（かごしま漁業学校）

漁師を目指すにあたってのきっかけ作りから、漁業体験、就業の適否判断や技術習得を経て、漁業に就業し、漁村に定着するまでの一連の支援体制の充実・強化を図っています。

問い合わせ先
鹿児島県商工労働水産部水産振興課 水産企画普及係　☎099（286）3437

かごしまで福祉の仕事に従事したい!

福祉人材無料職業紹介所のご案内

鹿児島県内で、福祉・介護分野の仕事を考えている方を対象に、

①就職相談
②職業紹介
③就職・転職フェア
④就職支援講座の開催等

を行っています。

福祉の仕事に関する求職・求人情報サイト ➡

問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会　福祉人材・研修センター
099(258)7888

福祉のお仕事スタート

介護福祉士修学資金等の貸付制度のご案内

介護福祉士の資格取得や介護事業所等への就職・再就職の準備のために必要な資金を貸し付けます。

○介護福祉士修学資金
県内の介護福祉士養成施設で修学するために必要な修学資金や入学・就職準備金等を貸し付けます。

○介護福祉士実務者研修受講資金
介護福祉士の実務者養成施設で修学し、介護福祉士の資格取得を目指す方に受講資金を貸し付けます。

○介護人材再就職準備金
介護職を離職後に介護事業所等に再就職するための準備費用を貸し付けます。

○介護職就職支援金
介護未経験者等で一定の研修等を修了し、介護分野等に就職される方に就職支援金を貸し付けます。

○福祉系高校修学資金
県内の福祉系高校で修学し、介護福祉士の資格取得を目指す方に介護実習費等を貸し付けます。

※いずれの資金も返還を免除される場合があります。

問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 生活支援部　099(214)3701

かごしまで保育の仕事に従事したい!

保育士人材バンクのご案内

保育士として働きたい方の就職等をサポートするため、保育士人材バンクを設置し、市町村による就職等の支援や、お役立ち情報をご案内しています。

※スマホから登録できます

問い合わせ先　鹿児島県保健福祉部子ども政策局子育て支援課
099(286)2466

就職準備金貸付

復職のために必要な費用を貸し付けます。（上限：20万円）

○**応募資格**
・県内の保育施設等に保育士として復職する方（週 20 時間以上）

保育料の一部貸付

復職のために未修学児を保育所等に預けるために必要な費用（保育料）の半額を貸し付けます。上限：月2万7千円で最大１年間）

○**応募資格**
・県内の保育施設等に保育士として復職する方
（週 20 時間以上）
※産後休暇又は育児休業からの復帰も含む

どちらの貸付も、県内の保育所等に一定期間従事した場合、返還が全額免除されます。
その他、保育士の資格取得のための修学に必要な資金の貸し付けも行っています。

※詳しくは鹿児島県のホームページをご覧ください。

子育て支援員研修のご案内

鹿児島県では、子どもたちの居場所をつくり、子育ての助けを必要とする家族をサポートする、社会的にも期待が寄せられている「子育て支援員」になるための研修を実施しています。

子育て支援員研修で、子育て支援分野の各事業等に従事する上で必要な知識や技術等を修得した受講修了者は、全国共通の子育て支援員として認定され、一時預かり事業、地域子育て支援拠点、放課後児童クラブ等、地域の子育てをサポートする仕事に従事できます。

ガイドブック

研修

医療

かごしま医療情報ネット

県内の医療機関（病院・一般診療所・歯科診療所・助産所）や薬局の情報をいつでも検索できます。休日当番医の情報を検索できる県医師会のホームページや鹿児島県の医療に関するページにもリンクしています。

かごしま医療情報ネットで検索!

かごしま医療情報ネットは鹿児島県ホームページからもアクセス可能です!!

かごしま医療情報ネットＨＰ

医療機関は次のような条件で探せます!!
・近所の医療機関・診療科目
・対応可能な疾患・治療内容 など

ドクターヘリ

本県では、離島を含む広範な地域を対象とした効果的な救急医療体制の確保が求められています。このため、鹿児島市立病院を運航主体として県ドクターヘリ、県立大島病院を運航主体として奄美ドクターヘリを運航しており、救急患者の救命や後遺症の軽減に寄与しています。

※ドクターヘリは、医療機器や医薬品を搭載した救急医療専用のヘリコプターで、専門の医師と看護師が搭乗して救急現場などに急行し、現地で患者さんの治療を開始し、いち早く医療機関に搬送します。

周産期医療

安心して出産ができるよう周産期母子医療センターが各地に整備されています。

総合周産期母子医療センター

母体・胎児にリスクの高い妊娠に対する医療や高度な新生児医療を提供します。

鹿児島市立病院（鹿児島市）

地域周産期母子医療センター

人工呼吸器を用いた呼吸管理や痙攣に対する常時の治療、糖尿病などを有するハイリスク妊婦の分娩を行うなど、比較的高度な医療を提供します。

鹿児島大学病院（鹿児島市）、いまきいれ総合病院（鹿児島市）
県民健康プラザ鹿屋医療センター（鹿屋市）
済生会川内病院（薩摩川内市）、県立大島病院（奄美市）

救命救急センター

重症及び複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる「救命救急センター」が県内の３病院にあります。

鹿児島市立病院救命救急センター
鹿児島市上荒田町37-1
099(230)7000（代表）

鹿児島大学病院救命救急センター
鹿児島市桜ケ丘8-35-1
099(275)5620

県立大島病院救命救急センター
奄美市名瀬真名津町18-1
0997(52)3611（代表）

子育て

かごしま子育て支援パスポート事業

鹿児島県内にお住まいの妊娠中の方及び18歳未満の子どもがいる世帯の方が、「かごしま子育て支援パスポート」を協賛店舗で提示することにより、各店舗が設定する優待サービスを受けることができます。
パスポートの申請や協賛店舗の検索はスマートフォンでも可能になりました。詳しくは県のホームページまたは下記QRコードからご覧ください。

かごしま子育て支援パスポート事業 で検索!

kosopa

かごしま子育て応援企業

県では、企業の子育て支援を促進するため、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業を「かごしま子育て応援企業」として登録しています。
各企業の取組については、県のホームページで紹介しておりますので、ご覧ください。

かごしま子育て応援企業 で検索!

小児救急電話相談

夜間における子どもさん（おおむね 15 歳未満）の急な病気やけがについて、看護師等が応急処置や医療機関の受診の必要性などの助言を行う「鹿児島県小児救急電話相談」を実施しています。携帯電話からも利用可能です。

＃8000 または、099（254）1186　**相談時間** 平日・土曜日（19：00 ～ 翌朝8：00）
日曜日・祝日・年末年始（8：00 ～ 翌朝8：00）

※ダイヤル式電話・光電話・IP電話及び市外局番が「0986」の地域の固定電話からは、「099（254）1186」におかけください。

電話相談「子ども・家庭110番」

子育てや児童自身の悩み等について相談したいときに利用できます。

中央児童相談所　099（275）4152　鹿児島市桜ヶ丘6丁目12　時間：平日 午前9時～午後10時

出生率が高いワケは…？

鹿児島県には、全国の中でも出生率の高い自治体がたくさんあります。
平成30年～令和4年の５年間における市町村別合計特殊出生率では、全国30位以内に8の自治体が入っています。
特に奄美群島は、全国でも有数の「子宝の島」として知られています。

平成30年～令和4年の出生率上位市町村（数字は全国順位）（令和６年４月厚生労働省発表）

1 徳之島町　2 天城町　4 長島町
12 南種子町　15 中種子町　16 伊仙町　27 湧水町　30 喜界町

奄美の「子宝」を支える要因～「結(ゆい)」の伝統～ ※ 鹿児島県の調査結果

- 「子は宝」という価値観がある。
- 地域に子・孫の世話を生きがいとする高齢者が多い。
- 子育てに対する親族や地域の人からの支援が充実している。
- 子どもに対しても、地元に育ったことを誇りに思い、郷土文化の担い手として育ってほしいと望んでいる。

このような子育てしやすい環境を実感してみませんか？

田舎暮らし体験をしてみませんか？

移住先を決める前に実際にその地域での生活を体験すると、移住後の生活がイメージしやすくなります。
県内には、移住を考えている方向けの体験施設を準備している市町村や、農家での田舎暮らし体験ができる市町村があります。移住したい市町村が決まったら、まずはこのような施設などを利用して、地域の人々とのふれあいや郷土の食、文化などその土地の魅力を体験してみてください。
※掲載している内容は、主なものです。利用法などの詳細は、各市町村等にお問い合わせください。

体験施設に泊まって田舎暮らしを体験したい方はこちら

日置市（23ページ）
1泊 3,000円
使用期間は1泊～最長１ヶ月
問い合わせ先：日置市地域づくり課
099（248）9408

伊佐市（37ページ）
3泊 9,000円～27泊 40,000円
利用者はツーリズム体験も可能。
問い合わせ先：伊佐市地域振興課
0995（29）4113

肝付市（48ページ）
1 泊 1,000円
利用期間は原則３ヵ月以内
問い合わせ先：きもつき移住サポートセンター
0994（65）8426

いちき串木野市（24ページ）
1泊2,000円（長期割引あり）
使用期間は1泊～最長１ヶ月
問い合わせ先：いちき串木野市企画政策課
0996（33）5628

湧水町（39ページ）
1泊 500円～1,000円
利用期間は，1泊2日～13泊14日
問い合わせ先：湧水町商工観光PR課
0995（74）3111

西之表市（49ページ）
1 泊 1,250円～1,670円
利用期間は５日以上３カ月以内
問い合わせ先：西之表市地域支援課
0997（22）1111

十島村（26ページ）
※料金の詳細については下記までお問い合わせください。
問い合わせ先：十島村地域振興課
099（222）2101

鹿屋市（40ページ）
利用1日につき1,500円～2,000円
利用期間は原則1日以上31日以内
問い合わせ先：鹿屋市地域活力推進課
0994（45）6930

南種子町（51ページ）
1 泊 3,300円（1施設）
利用期間は1泊～最長28日間。
問い合わせ先：南種子町企画課
0997（26）1111

枕崎市（27ページ）
1泊 2,000円～
使用期間は1泊～7泊
問い合わせ先：枕崎市企画調整課
0993（72）1111

曽於市（42ページ）
2泊 料金無料
問い合わせ先：曽於市役所企画政策課
0986（76）8802

屋久島町（52ページ）
月額10,000円
使用期間は，3カ月～1年以内
問い合わせ先：屋久島町観光まちづくり課
0997（43）5900

南九州市（30ページ）
1泊 1,000円
利用期間は15日以内
問い合わせ先：南九州市企画課
0993（83）2511

志布志市（43ページ）
1泊 1,000円～1,500円
利用期間は1泊2日～30泊31日
期間については事前に相談ください。
問い合わせ先：志布志市総合政策課
099（472）1111

大和村（54ページ）
1 泊　8,000円
利用期間は最低３泊～最長30泊
問い合わせ先：大和村企画観光課
0997（57）2117

出水市（32ページ）
1泊 上限　2,000円 上限
利用上限：１回のみ，連続する６泊まで
問い合わせ先：出水市観光交流課
0996（63）2111

大崎町（44ページ）
1泊 1,000円
利用期間は１泊２日以上30泊31日以内
問い合わせ先：大崎町役場企画政策課
099（476）1111

瀬戸内町（56ページ）
1ヵ月 57,000円/ 1 泊 2,300円
利用期間は最低１週間～最長2カ月。
問い合わせ先：瀬戸内町企画課
0997（72）1112

薩摩川内市（33ページ）
1泊 2,000円
使用期間は6泊～最長1カ月（30泊まで）
問い合わせ先：薩摩川内市定住支援センター
0996（23）5111 0120（420）200

東串良町（45ページ）
利用料：無料
利用期間：1泊～最長１ヵ月
問い合わせ先：東串良町企画課
0994（63）3122

喜界町（58ページ）
1ヵ月～　40,000円
問い合わせ先：喜界町企画観光課
0997（65）3683

さつま町（34ページ）
1泊 2,000円～30泊 27,500円
使用期間は，1泊～最長30泊
問い合わせ先：さつま町さつまPR課
0996（26）1823

南大隅町（47ページ）
1 泊 1,000円
使用期間は15日以内
問い合わせ先：南大隅町ブロンズ人材センター
0994（25）1381

和泊町（62ページ）
月額　30,000円
利用期間は１年未満
問い合わせ先：和泊町企画課
0997（84）3512

農家に泊まって田舎暮らしを体験したい方はこちら

鹿児島市（22ページ）
問い合わせ先：世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課
℡099（216）1371

南九州市（30ページ）
問い合わせ先：南九州市商工観光課
℡0993（83）2511

出水市（32ページ）
問い合わせ先：出水市観光交流課
℡0996（63）2111

薩摩川内市（33ページ）
問い合わせ先：薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会事務局
℡0996（25）4700

さつま町（34ページ）
問い合わせ先：さつま町農林課
℡0996（24）8942

鹿屋市（40ページ）
問い合わせ先：鹿屋市ふるさとPR課
℡0994（31）1121

志布志市（43ページ）
問い合わせ先：志布志市総合政策課
℡099（472）1111

中種子町（50ページ）
問い合わせ先：中種子町企画課
℡0997（27）1111

龍郷町（57ページ）
問い合わせ先：龍郷町農林水産課
℡0997（69）4524

天城町（60ページ）
問い合わせ先：天城町農業センター
℡0997（85）2214

※上記のほか伊佐市でも体験できます。

農業・産業などの体験メニュー

※掲載している内容は、主なものです。詳細は各市町村にお問い合わせください。

まずは地域の自然・文化・伝統・産業などを体験してみたいという方は、各市町村が準備している体験メニューの利用をおすすめします。

◉鹿児島エリア

鹿児島市 観光農業公園での農業・調理等の体験、田植え・稲刈り、桜島大根・小みかんの収穫等
日置市 田植え・稲刈り、陶芸体験、地引網体験、塩づくり、甲冑着付体験
十島村 トビウオすくい、タケノコ取り
いちき串木野市 田植え・稲刈り、野菜・果物収穫体験、地引網体験など

◉南薩エリア

枕崎市 わら焼きかつおたたき体験、サイクリング
指宿市 季節の野菜収穫、カツオのたたき作り、藍染め体験
南さつま市 パラグライダー・スキューバダイビング、登山、野菜果樹収穫体験、サイクリング、そば打ち、塩づくり
南九州市 アドベンチャーパーク、知覧茶のオリジナルフレーバーTeaづくり、知覧戦跡めぐり、スパイスカレーづくり、フォトフレームづくり、彫金体験（風鈴づくり）

◉姶良・伊佐エリア

霧島市 農業体験、霧島山登山、先輩移住者との交流

◉北薩エリア

阿久根市 筍掘り、ポンタン狩り等
出水市 みかん収穫、そば打ち、ピザ焼き
薩摩川内市 稲作、ぶどう狩り、ピザ作りなど
さつま町 田植え、稲刈り、脱穀、交流会、紙漉き、竹炭焼き、キノコのコマ打ち・筍掘り

◉大隅エリア

鹿屋市 子育て世帯移住体験ツアー
垂水市 自然学校（沢登り、野外炊事）、カンパチ餌やり
曽於市 農商工などの就業体験
志布志市 お試し移住体験ツアー
大崎町 野菜収穫、ピザ焼き、菓子作り
東串良町 農業体験（ピーマン栽培）
肝付町 農業体験、郷土料理作り体験、田舎遊び体験、まちあるき（歴史・宇宙関連資源）
南大隅町 農林水産業などの就業体験

◉熊毛エリア

屋久島町 里めぐり、たんかん収穫体験

◉大島エリア

大和村 村内施設見学・集落散策
宇検村 親子山村留学体験、集落歩き、酒蔵見学、漁業体験、住民等との交流会
龍郷町 集落散策・黒糖焼酎の蔵元・工場見学・大島紬織・泥染め体験ほか
喜界町 集落歩き・空き家見学・ファームステイ
天城町 就農研修（期間：1年間、対象：新規就農者）空き家・町内施設見学、追い込み漁、畜産農家の見学、闘牛のお世話、クリエイティブ体験など
伊仙町 就農研修（期間：1年間、対象：新規就農者）
和泊町 空き家・町内施設見学、住民との交流会
知名町 農業体験、ケイビング、ダイビング、町内施設見学
与論町 歴史・史跡探訪

※上記のほか湧水町、大和村、徳之島町でも体験できます。

山村留学制度について

義務教育課HP

美しくありのままに残された自然や、都会の騒がしさから離れたのどかな時間など「かごしま」の山村は、子どもたちが自然に親しみ健やかに成長するのに最適な場所です。かごしまでは、次の市町村が、一定期間移り住み、伸び伸びと勉強や自然体験をしたいという子どもたちを募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

「山村留学」（山海留学と呼んでいる所もあります）とは、都会などに住む子どもたちが親元を離れ（親と一緒の場合もあります）、自然環境に恵まれた地域に一定期間移り住む仕組みです。
委託料（月額）実親負担はほとんどの実施市町村が４万円以下であり、夢や希望に向かって充実した留学生活を送る児童生徒の姿が多く見られるようになったと聞かれます。本県では、長年にわたり山村留学の受け入れを行っており、2022年に行ったNPO法人「全国山村留学協会」の調査によると受入数は全国一です。

各市町村の山村留学制度一覧

地域	市町村名	留学制度名　（受入学校名）	受入方式	募集期間	問合せ連絡先
鹿児島	三島村	しおかぜ留学（村内義務教育学校）	里親・寮	随 時	三島村教育委員会（099-222-3141）
	十島村	山海留学（村内義務教育学校）	里親・寮・家族	随 時（1次募集12月まで予定）	十島村教育委員会（099-227-9771）
北薩	阿久根市	SUNSET留学（大川小学校）	里親	受入休止中	阿久根市教育委員会（0996-73-1258）
		アオバズクの里山留学（田代小学校）	里親	休校中	
	出水市	上場コスモス留学（上場小学校）	里親	受入休止中	出水市教育委員会（0996-63-4079）
	薩摩川内市	ウミネコ留学（鹿島小学校）	里親・家族・孫戻	2024.7～2024.11(予定)	薩摩川内市教育委員会（09969-4-2211）
姶良・伊佐	霧島市	霧島わんぱく留学（永水小学校）	家族・孫戻	随 時	霧島市教育委員会（0995-45-5111）
		霧島ふるさとのびのび留学（中津川小学校）	里親・家族		
	姶良市	山びこ留学（漆小学校）	孫戻	随 時	姶良市教育委員会（0995-62-2111）
	伊佐市	ほしぞら留学（南永小学校）	里親	受入休止中	伊佐市教育委員会（0995-26-1532）
	湧水町	「ほたる飛び交う清流の里」山村留学（幸田小学校）	里親・家族	随 時	湧水町教育委員会（0995-75-2142）
大隅	肝付町	うちのうら銀河留学（内之浦小学校・内之浦中学校） きしらウミガメ留学（岸良学園）	家族・親戚	2024.8～2024.11（予定）	肝付町教育委員会（0994-65-8425）
熊毛	西之表市	種子島しおさい留学（市内８小学校）	里親・親子・孫戻	2024.8.1～2024.9.30	西之表市教育委員会（0997-22-1111）
	中種子町	うみがめ留学（岩岡小学校・星原小学校）	里親・家族・親戚	2024.6.1～2024.10.24（予定）	中種子町教育委員会（0997-27-1111）
	南種子町	宇宙留学（町内７小学校・南種子中学校）	里親・親戚・家族	2024.8.1～2024.9.30（予定）	南種子町教育委員会（0997-26-1111）
	屋久島町	黒潮留学（一湊小学校）	家族 孫戻	2024.8～2024.10（予定）	屋久島町教育委員会（0997-43-5900）
		かめんこ留学（永田小学校）			
		まんてん留学（栗生小学校）			
		じょうもん留学（八幡小学校）			
		南海ひょうたん島留学（金岳小・中学校）	里親・家族・孫戻	2024.8～2024.11（予定）	屋久島町役場口永良部出張所（0997-49-2100）
		屋久島みらい留学（屋久島高等学校）	寄宿舎	2024.10～2024.12（予定）	屋久島町役場政策推進課企画調整係（0997-43-5900）
大島	奄美市	奄美くろうさぎ留学（市内９小中学校）	里親・孫戻	里親の確保次第随時	奄美市教育委員会（0997-52-1128）
	宇検村	親子山村留学（阿室小中学校・名柄小中学校）	家族	随 時	宇検村教育委員会（0997-67-2261）
	瀬戸内町	にほんの里・加計呂麻留学（町内14小中学校）	家族	随 時	瀬戸内町教育委員会（0997-72-0113）
		海の子留学（与路小中学校）	里親	2024.7～2024.9（予定）	
		ふるさと留学（古仁屋高校）	里親・寮・家族	2024.11～2025.1（予定）	古仁屋高校活性化対策室（企画課）（0997-72-1112）
	喜界町	サンゴ留学（喜界高等学校）	寮	2024.10月中旬（予定）	喜界町役場企画観光課（0997-65-3682）
	徳之島町	ふるさと留学（手々小中学校・山小学校）	里親・家族	随 時	徳之島町教育委員会（0997-82-1308）
		徳之島町親子留学（神之嶺小学校・母間小学校・花徳小学校・山小学校・井之川中学校・東天城中学校・・尾母小中学校・手々小中学校）	里親・家族	随 時	
	天城町	山海留学（西阿木名小学校、西阿木名中学校、西阿木名小学校 三京分校、岡前小学校 与名間分校）	里親・家族・孫戻	2024.11月末まで	天城町教育委員会（0997-85-5206）
	伊仙町	結い結い留学（鹿浦小学校・馬根小学校・糸木名小学校・喜念小学校・阿権小学校・犬田布中学校・伊仙中学校・面縄中学校）	里親・家族・孫戻	随 時	伊仙町教育委員会総務課（0997-86-4651）
	知名町	えらぶゆりの島留学（上城小）	親子	随 時	知名町教育委員会（0997-84-3158）
	与論町	与論町ふるさと留学（与論中学校・与論高等学校）	家族・孫戻	随 時	与論町教育委員会（0997-97-2441）

※「受入方式」の「里親」には、「祖父母宅や親戚宅」が含まれる場合がありますのでご確認ください。

「地域おこし協力隊」制度について

「地域おこし協力隊」とは、

人口の減少や高齢化等の進行が著しい地域において、
地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、
その定住・定着を図ることで、
意欲ある都市住民のニーズに応えながら、
地域力の維持、向上を図っていくことを目的とした制度です。

鹿児島県内では、約140人の地域おこし協力隊員が、おおむね1年以上3年以下の期間、特産品の開発や地元産業のPRなど自身の経験や能力を生かした多様な地域協力活動を行っています。

また、多くのOB・OG隊員が地域に残り、様々な分野で活動しています。

地域おこし協力隊についての詳細

総務省
ホームページ

地域おこし協力隊の募集について

JOIN
ホームページ

お気軽に
ご相談ください！

地域おこし協力隊
サポーターズ鹿児島について

鹿児島県内には、地域おこし協力隊やそのOB・OG、隊員希望者、隊員の受け入れを行う行政職員、受け入れ団体などを伴走支援する組織「地域おこし協力隊サポーターズ鹿児島」（以下「サポーターズ」）が存在します。サポーターズには、総務省地域おこし協力隊サポートデスクの専門相談員、退任後に鹿児島で起業し事業を継続している隊員OB・OGや、隊員の受け入れを行う民間団体だけではなく、隊員制度導入を行う市町村職員も所属しており、他の都道府県にはない鹿児島独自のサポート体制として強みになっています。

鹿児島県の地域おこし協力隊になると、隊員としての心構えを学ぶ研修や任期終了を見据えた研修、任期終了後の起業や就業につながるセミナーなど、活動年数に応じた研修に加え、隊員活動を行う中で発生する悩み相談など、数多くのサポートを受けることができます。

サポーターズは、相談や研修などを通して鹿児島に移住した隊員を全力で応援する組織です。ぜひ、ご活用ください。

隊員と県内企業が出会い、新たなつながりづくりや協働のきっかけづくりにつなげることを目的とするセミナーを開催!

［問い合わせ先］
地域おこし協力隊サポーターズ鹿児島事務局
Tel：090-7401-5348

実際に移住するとしたらどうすれば良いのかがわかる

移住までのステップ

移住するまでにやっておくべきことや、移住を実行するまでの進め方についてなど、
スムーズな移住を実現するためのヒントや知っておくべきポイントをステップ形式でご紹介します。

step1 目的を整理 › step2 家族と相談 › step3 下調べ › step4 視察・体験 › step5 生活基盤を整える

step1 移住の目的を考えよう

移住した先でやりたいことが明確になっていないと、移住後に後悔することになるかも。
「家庭菜園をしたい」「農家を目指したい」「海の近くに住みたい」など、目的がしっかりしていれば、住む地域や家、仕事などを選ぶときの判断基準になります。

step2 家族・パートナーに相談しよう

家族は移住に賛成でしょうか。
一人で勝手に決めてしまうと、トラブルになることも。自分の目的を伝えて、前もってお互いの希望を話し合っておくことが大事です。

step3 情報を集めて、目的に合う地域を選ぼう

気候・ライフスタイル・移住支援制度など、自分の希望に合った地域を探すために、まずは情報を集めましょう。鹿児島県では、東京に専門の相談員を配置していますので、首都圏にお住まいの方は、まずは相談してみてください。

【県移住・交流相談員（ふるさと回帰支援センター内）】
・TEL：080（7731）7915（担当者 直通）
・MAIL：kagoshima@furusatokaiki.net

step4 現地まで行って実際に見てみよう

雑誌やインターネットで調べた情報だけでは、その地域での実際の暮らしはわかりません。
移住したい地域が見つかったら、まずは自分の目で、その地域でどんな生活ができるのか、具体的にイメージしながら確認してみましょう。
また、体験施設や体験プログラムなどを使って、地域の人たちと交流してみるのもオススメです。

step5 生活基盤を整える

○ しごと

家を借りるためにも仕事を決めておく必要があります。もし移住後に探すときは、当面の生活費を準備しておく必要があります。仕事に関する相談は、UIターン希望者の就職をサポートする「鹿児島県ふるさと人材相談室」をご活用ください。
起業や就農を考えている場合は、各種支援制度などの情報を調べておきましょう。

○ 住まい

まずは、地域の情報を多く持っている地元の不動産業者に相談してみましょう。
また、市役所・町村役場で空き家バンク、公営住宅などの情報を、
購入なら各市町村の支援制度の情報を調べましょう。

移住者インタビュー

鹿児島に移住された2組の方にインタビュー！
移住のきっかけや、まちの印象・魅力など様々なお話をうかがいました。

interview 1

林　峻平さん

伊佐市
民宿「その火暮らし」経営

Q 鹿児島県に移住したきっかけを教えてください

30歳を機にこれからの人生を考えた時、生まれ育った九州に戻ると決めました。Uターン先は両親の住む福岡、中高時代をすごした長崎、前職で初めての赴任地だった鹿児島を検討し、いろいろと調べるなかで地域おこし協力隊制度を知りました。

当時、伊佐市は初めての協力隊募集で、担当の方が熱心に案内してくれました。一期生として活動することにも魅力を感じ、伊佐市の地域おこし協力隊として着任、移住しました。

Q 移住にあたっての不安はありませんでしたか？

転勤族だったこともあってか、移住に対する不安はなかったです。実際に訪れた時、地元の方から地域に暮らす人の顔が見える案内をしていただき、このまちで暮らすのは楽しそうだと感じました。移住先については、交通の便が良いとか、自然が良いからといった理由よりも、素敵な方々との出会いの部分が自分にとって大きかったです。

Q 移り住んでの感想、まちの印象、魅力は？

誰でも言っているような答えになっちゃいますけど、食べ物がおいしい（笑）。鹿児島の料理の味付けは落ち着きます。あとは、やっぱり温泉。温泉がこんなに安くて種類も多く、生活に根付いているのは素晴らしいことです。暮らしを手づくりしている人が多いこともこのまちの魅力ですね。

Q 地元に溶け込むコツは？

きちんと挨拶をする、会って話をする、何かをやる時は関係者にひと言断ってから行う、集落の作業などはできる限り参加するなど、「これがコツです」というとお恥ずかしいですが、人との関わりあっての暮らしだと思うので、そういうことを大切にするよう努めてきました。都会に比べると人との関わりは濃くなりますし、移住者はよそ者なので、自分がどういう人間か知ってもらえるようにすることは大事なことだと思っています。

Q お気に入りの場所や風景

布計小学校跡（伊佐市最北端の学校：閉校）は、校舎が保全され、その脇をきれいな水が流れているお気に入りの場所です。近ごろは、SNSでも有名になってきました。

それから、奥十曽渓谷（おくじっそけいこく）。美しい森ですが、少し怖さも感じるほどの深い森が広がります。森林浴の森100選、水源の森100選の二つに選出されています。

Q 現在の仕事とこれからの目標

宿の運営を行いながら、ウェブサイトやパンフレットの制作、伊佐市の観光・体験情報を集めたウェブサイトの運営・管理、地域おこし協力隊の採用活動に伴走する行政支援活動、依頼を受けてDIYや大工仕事をすることもあります。

今後は、宿に露天風呂やサウナ小屋などを作り、火のある暮らしをより楽しんでいただけるようにしていきたいです。伊佐市を訪れる方々の興味に応じて、人やモノ、コトを紹介したり、繋いだりといった、観光名所だけではないディープな伊佐市を楽しんでもらえるようなツアーづくりなど、アップデートを続けていきたいと考えています。

Q 移住を考えている人へメッセージをお願いします

「いい家に出会ったから」、「環境がいいから」という理由だけで、移住先を選ばないほうがいいかもしれません。もしかしたら、自分や家族が何年も何十年も暮らすことになるかもしれない大切な場所のことなので、その土地の方々とお話ししてみたり、何度か通って関係性をつくっていったりしながら、移住先に暮らす方々との楽しい日々が想像できるかという点は大切だと思います。

ご近所付き合いは苦手だという人もいるでしょうし、そういう付き合いをしない田舎暮らしもあるかもしれませんが、個人的には人との関わり合いが濃いからこそ、田舎暮らしは何倍にも楽しくなると思っています。移住を検討されている皆さんにとって、素敵な場所が見つかりますように！

interview 2

村上　猛さん

薩摩川内市
みかん農家

Q 鹿児島県に移住したきっかけを教えてください

妻の叔父が営むみかん農家としての事業を私が継ぎたいと思ったことがきっかけですね。妻はもともと薩摩川内市出身でして、祖父の代からみかん農家を営んでいました。妻の叔父はその2代目となるのですが、後継ぎが見つかっておらず、自分の代でみかん農家は終わらせると話していたようです。

そんな中、妻と東京で暮らしているときに、妻の実家からみかんが送られてきたんです。食べてみたら、これまで食べたみかんは何だったんだと思うくらい美味しくて。その味は今でも鮮明に覚えています（笑）。

このみかんももうじき食べられなくなるねと話す妻に、「こんなに美味しいみかんをなくしたらだめだ、自分が後を継いで作り続けていく！」と伝えたんです。東京での生活に心身ともに疲れていましたし、元々、田舎暮らしに興味があったのもあって、移住に向けて動き出しましたね。

とはいえ、農業だけで生計を立てていくのには若干の不安もあり、仕事をしながら2年間勉強して土地家屋調査士の資格も取得し、2018年6月に薩摩川内市へ家族4人で移住しました。（次女は妻のお腹の中にいました）

Q 移住にあたっての不安はありませんでしたか？

お金のことに関しては、土地家屋調査士の資格を取得したこともあり、ある程度はどうにかなるだろうと楽観的に考えていましたね（笑）。勢いに任せつつ、移住に向けて行動していました。

生まれ育った東京を離れる上で、うまく地域に馴染めるかなとか、知り合いを作れるかなとか、その辺りの不安は特に感じていなかったですね。とにかく東京という場所や仕事から解放されて、新しい暮らしをスタートさせることが楽しみでしょうがなかったので、ポジティブな気持ちで移住したのを覚えています。

Q 移り住んでの感想、まちの印象、魅力は？

薩摩川内市はとても住みやすい場所だなと日々感じています。足りないものはネットを頼ればいいし、不便を感じるってことは特にないんですよ。そういう意味では、都会と同じ生活を送れていると思っています。

そして、鹿児島はやっぱり食べ物がなんでも美味しいですね！お肉にしても、豚・牛・鶏ともに県内産で揃うのが驚きですし、質の高いものが普通にスーパーに並んでいるんです。東京で暮らしていたときは、国産肉を購入するとなると高くなってしまうので、すべて海外産のものにしてしまうことも多々ありました。

肉はもちろんのこと、野菜や果物、あらゆる食べ物が、都会と鹿児島ではレベルが全然違うなと感じます。東京では大金を払えば何でも手に入るとは思うのですが、大事なのは日常の暮らしじゃないですか。安心安全で質の高い食べ物を自分はもちろんのこと、子どもたちに毎日食べさせられているというのが嬉しいですね。

Q 地元に溶け込むコツは？

自分の場合は、地域の商工会青年部に入って、その活動の中を通じて同世代の仲間たちとつながれたのが大きかったですね。

あとは義父の紹介で、国の無形民俗文化財にも指定されている「東郷文弥節人形浄瑠璃」の保存会に入ったのも地域に溶け込むきっかけになったと思います。私は元々、歌舞伎をよく見に行くような伝統芸能好きでして、人形浄瑠璃にも興味があったので保存会に入ったのですが、何度も活動に参加することで、老若男女問わず知り合いを作ることができました。

よそ者だからと常に受け身の体制をとるのではなく、勇気をもって地域活動に飛び込んでみるのが大事かなと思いますね。ちなみに現在は保存会の事務局までをつとめるようになりました（笑）。

Q 移住を考えている人へメッセージをお願いします

猛さん）とにかく食べ物が美味しい、自然環境は最高、鹿児島は子育てをするのに向いている場所だと思います。私たちが住んでいる薩摩川内市については、市街地と周辺地域の距離が程よくアクセスも良好なので、移住後に困ることはほとんどないかなと思います。移住者もたくさんいるまちなので、困ったときには助けあうこともできますし、安心して移住してきてもらえたらなと思います。

裕紀さん）私は薩摩川内市出身とは言いつつも、地元を離れてから20年ほど経っていましたので、親族以外、知り合いはほとんどいないという状況でした。帰ってきて、寂しい思いや孤独感を感じないかと不安を感じていたんです。でも、そんな心配は不要だと言えるくらい、移住後に新たな出会い、素敵な友人がたくさんできました。娘たちの交友関係を見ていても、程よい人数構成がいいのか、男女関係なく兄弟のように仲良くなるんです（笑）。移住後の人間関係を心配されている方には「全く心配はいらないですよ！」と伝えたいです！

ACCESS INFORMATION

鹿児島県内の交通アクセス

鹿児島県への交通アクセス

※令和６年４月現在のものです。

交通ナビかごしま
http://kotsu-navi.pref.kagoshima.jp/

かごしまの道路情報は
「交通ナビかごしま」をご利用ください。

航路（船舶）

高速船 甑島
川内 ― 里　港 ― 長浜港

フェリーニューこしき
串木野 ― 里　港 ― 長浜港

三和商船・天長フェリー・獅子島汽船
長　島 ― 天　草
獅子島 ― 水　俣

フェリーなんきゅう
山　川 ― 根　占

桜島フェリー
鹿児島（桜島桟橋） ― 桜　島

鴨池垂水フェリー
鹿児島（鴨池港） ― 垂　水

トッピー&ロケット（高速船）
鹿児島（南埠頭） ― 屋久島 / 指宿 / 種子島

プリンセスわかさ
鹿児島（南埠頭） ― 種子島

マルエーフェリー・マリックスライン（フェリー波之上、フェリーあけぼの、クイーンコーラルプラス、クイーンコーラルクロス）
鹿児島（新港） ― 奄美大島 ― 徳之島 ― 沖永良部島 ― 与論島 ― 沖　縄

フェリーとしま２
鹿児島（南埠頭） ― 口之島 ― 中之島 ― 諏訪之瀬島 ― 平　島 ― 悪石島 ― 小宝島 ― 宝　島 ― 奄美大島

奄美海運（フェリーあまみ、フェリーきかい）
鹿児島（北埠頭） ― 喜界島 ― 奄美大島 ― 徳之島 ― 沖永良部島

フェリー屋久島２
鹿児島（南埠頭） ― 屋久島

フェリーみしま
鹿児島（南埠頭） ― 竹　島 ― 硫黄島 ― 黒　島

フェリーはいびすかす
鹿児島（谷山港） ― 種子島 ― 屋久島

フェリー太陽Ⅱ
種子島 ― 屋久島 ― 口永良部島

フェリーかけろま
奄　美（古仁屋） ― 加計呂麻島

せとなみ
奄　美（古仁屋） ― 請　島 ― 与路島

空路（飛行機）

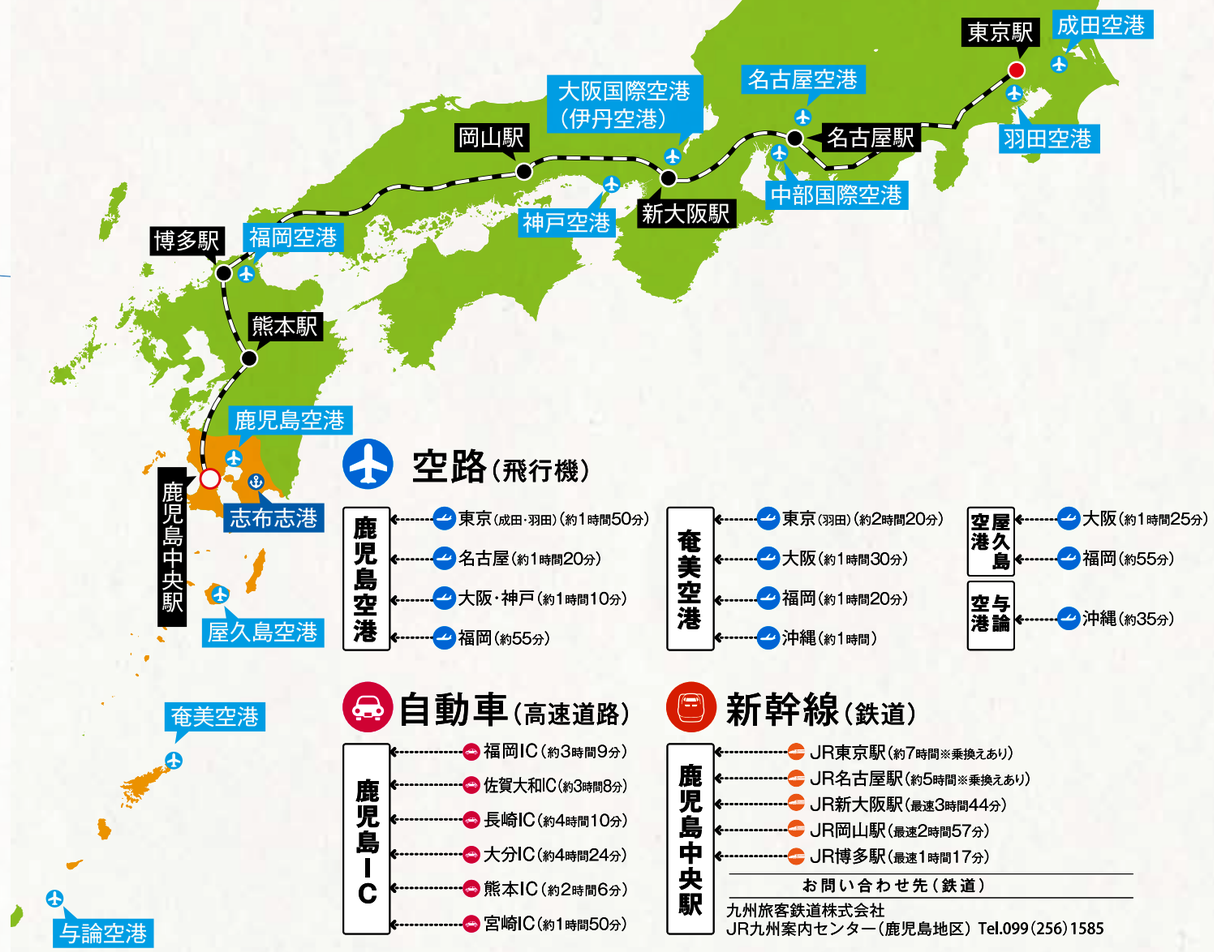
鹿児島空港
- 種子島（約35分）
- 屋久島（約35分）
- 奄美大島（約1時間）
- 喜界島（約1時間10分）
- 徳之島（約1時間５分）
- 沖永良部島（約1時間10分）
- 与論島（約1時間15分）

奄美大島
- 喜界島（約20分）
- 徳之島（約30分）
- 沖永良部島（約35分）
- 与論島（約40分）

沖永良部島
- 与論島（約25分）

お問い合わせ先（船舶）

高速船 甑島	Tel.0996（41）5100
フェリーニューこしき	Tel.0996（32）6458
三和商船（蔵之元港）	Tel.0996（88）5689
天長フェリー（株）	Tel.0996（86）0775
獅子島汽船	Tel.0966（63）2248
フェリーなんきゅう	Tel.0993（34）0012
桜島フェリー	Tel.099（293）2525
鴨池垂水フェリー	Tel.099（256）1761
トッピー&ロケット	Tel.099（226）0128
プリンセスわかさ	Tel.099（226）6628
マルエーフェリー	Tel.099（226）4141
マリックスライン	Tel.099（225）1551
フェリーとしま2	Tel.099（219）1191
奄美海運	Tel.099（222）2338
フェリー屋久島2	Tel 099（226）0731
フェリーみしま	Tel.099（813）7751
フェリーはいびすかす	Tel.099（261）7000
フェリー太陽Ⅱ	Tel.0997（43）5900
フェリーかけろま	Tel.0997（72）3771
せとなみ	Tel.0997（72）3771



空路（飛行機）

鹿児島空港
- 東京（成田・羽田）（約1時間50分）
- 名古屋（約1時間20分）
- 大阪・神戸（約1時間10分）
- 福岡（約55分）

奄美空港
- 東京（羽田）（約2時間20分）
- 大阪（約1時間30分）
- 福岡（約1時間20分）
- 沖縄（約1時間）

屋久島空港
- 大阪（約1時間25分）
- 福岡（約55分）

与論空港
- 沖縄（約35分）

自動車（高速道路）

鹿児島ＩＣ
- 福岡IC（約3時間9分）
- 佐賀大和IC（約3時間8分）
- 長崎IC（約4時間10分）
- 大分IC（約4時間24分）
- 熊本IC（約2時間6分）
- 宮崎IC（約1時間50分）

新幹線（鉄道）

鹿児島中央駅
- JR東京駅（約7時間※乗換えあり）
- JR名古屋駅（約5時間※乗換えあり）
- JR新大阪駅（最速3時間44分）
- JR岡山駅（最速2時間57分）
- JR博多駅（最速1時間17分）

お問い合わせ先（鉄道）
九州旅客鉄道株式会社
JR九州案内センター（鹿児島地区）Tel.099（256）1585

私鉄（肥薩おれんじ鉄道）

肥薩おれんじ鉄道本社 Tel.0965（32）5678

川内駅 ―（約40分）― 阿久根駅 ―（約25分）― 出水駅 ―（約80分）― 八代駅

航路（船舶）

フェリーさんふらわあ Tel.0120（56）3268
志布志港 ―（約15時間）― 大　阪

鹿児島市電路線図

鹿児島市交通局 Tel.099（257）2116

天文館通 ― いづろ通 ― 朝日通 ― 市役所前 ― 水族館口 ― 桜島桟橋通 ― 鹿児島駅前

市立病院前 ― 中洲通 ― 都通 ― 鹿児島中央駅前 ― 高見橋 ― 加治屋町 ― 高見馬場 ― 甲東中学校前 ― 新屋敷 ― 武之橋

神田（交通局前） ― 唐湊（小牧建設前） ― 工学部前 ― 純心学園前 ― 中郡 ― 郡元 ― 鴨池 ― 騎射場 ― 荒田八幡 ― 二中通（キラメキテラス前）

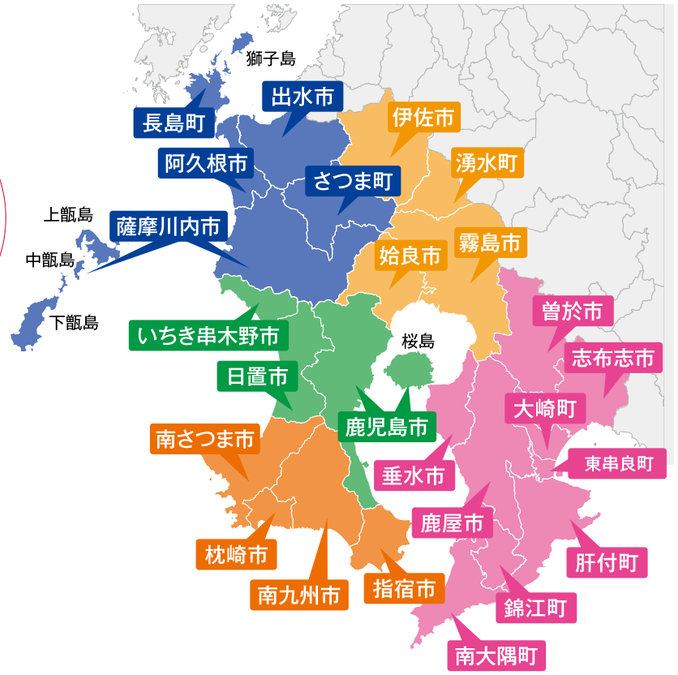
郡元（南側）

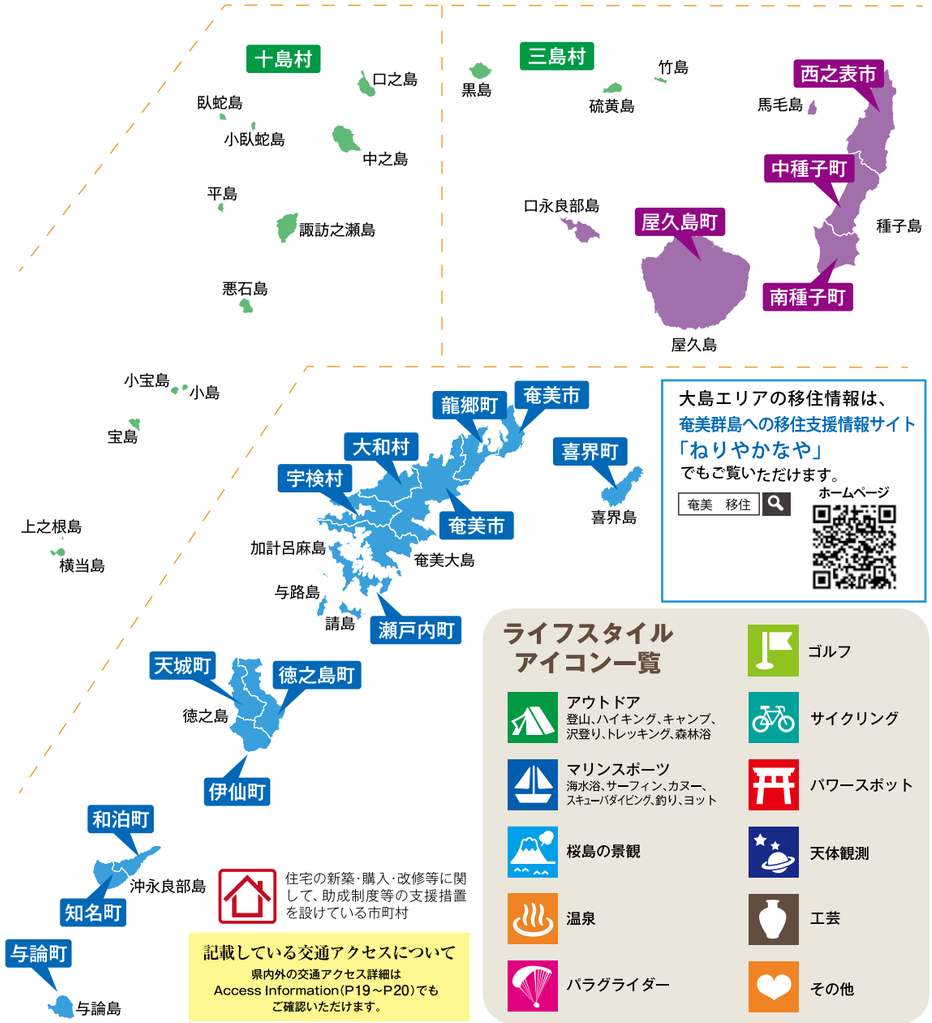
谷山 ― 上塩屋 ― 笹貫 ― 脇田 ― 宇宿一丁目 ― 二軒茶屋 ― 南鹿児島駅前 ― 涙橋

全区間：大人170円、小人80円
1日乗車券：大人600円、小人300円
※「カゴシマシティビュー」、鹿児島市営（路線）バスにも乗車可能

市町村移住ガイド

鹿児島県内、全 43 市町村の移住・交流に関する情報などをご紹介します。





大島エリアの移住情報は、
奄美群島への移住支援情報サイト
「ねりやかなや」
でもご覧いただけます。

奄美　移住

ホームページ

住宅の新築・購入・改修等に関して、助成制度等の支援措置を設けている市町村

記載している交通アクセスについて
県内外の交通アクセス詳細は
Access Information（P19～P20）でも
ご確認いただけます。

ライフスタイル アイコン一覧

- アウトドア　登山、ハイキング、キャンプ、沢登り、トレッキング、森林浴
- マリンスポーツ　海水浴、サーフィン、カヌー、スキューバダイビング、釣り、ヨット
- 桜島の景観
- 温泉
- パラグライダー
- ゴルフ
- サイクリング
- パワースポット
- 天体観測
- 工芸
- その他

鹿児島エリア
鹿児島市……22
日置市……23
いちき串木野市……24
三島村……25
十島村……26

南薩エリア
枕崎市……27
指宿市……28
南さつま市……29
南九州市……30

北薩エリア
阿久根市……31
出水市……32
薩摩川内市……33
さつま町……34
長島町……35

姶良・伊佐エリア
霧島市……36
伊佐市……37
姶良市……38
湧水町……39

大隅エリア
鹿屋市……40
垂水市……41
曽於市……42
志布志市……43
大崎町……44
東串良町……45
錦江町……46
南大隅町……47
肝付町……48

熊毛エリア
西之表市……49
中種子町……50
南種子町……51
屋久島町……52

大島エリア
奄美市……53
大和村……54
宇検村……55
瀬戸内町……56
龍郷町……57
喜界町……58
徳之島町……59
天城町……60
伊仙町……61
和泊町……62
知名町……63
与論町……64

鹿児島エリア01　かごしまし

鹿児島市

人口 584,085人・面積 547.61㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
移住相談室（地方創生推進室内）
099-803-3074　iju @city.kagoshima.lg.jp
https://kagoshima-ijulife.city.kagoshima.lg.jp/

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約50分、空港連絡バスで最速約40分
【鉄道によるアクセス】 JR博多駅～JR鹿児島中央駅（最短1時間16分）、JR熊本駅～JR鹿児島中央駅（最短42分）
【自動車でのアクセス】 福岡から約3時間30分（高速道路利用）

つながる人・まち　彩りあふれる　躍動都市・かごしま

雄大な桜島と波静かな錦江湾を、市街地の目の前に抱く鹿児島市。島津氏の城下町として栄え、西郷隆盛・大久保利通をはじめ幾多の人物を輩出した豊かな歴史があります。また、市内のいたるところで湧き出る温泉や、郷土料理、芋焼酎など、観光資源も豊富です。約60万人の市民の生活を支え、来街者を楽しませる多様な都市機能が集積する、南九州の中枢中核都市として発展を続けています。

DATA

教育機関数
小学校：8 、中学校：45、高校：23、短大：3、大学：3

医療機関数
病院：85、診療所：553、歯科診療所：369
助産所：82

主な公共施設
子育て支援拠点施設、創業支援拠点施設、科学館、中央卸売市場、文化ホール、図書館、運動施設（屋内運動場、野球場など）、美術館、消費生活センター、動物公園、水族館

主な産業
卸売業、小売業、宿泊業、飲食業、製造業、建設業、医療・福祉

主な特産品
薩摩切子、薩摩焼、大島紬、茶、カンパチ、桜島大根・小みかん、黒豚・黒牛料理

主なイベント
・天文館ミリオネーション（12～1月）
・鹿児島マラソン（3月）
・サマーナイト大花火大会（8月）
・おはら祭（11月）

インターネット接続環境
光回線、CATV（一部）

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント！

Uターンはもちろん！ Iターン移住も増えています！
先輩移住者でもある移住支援コーディネーターが皆様の移住をサポートします。

アドバイス

コンパクトな都市機能を持ちながら、海や山に囲まれた自然たっぷりの鹿児島市。「海が見える地域に住みたい」「家庭菜園を楽しみながらのんびり暮らしたい」「街中で車を持たない生活がいい」など、ニーズに合わせていろいろな暮らしが選べます。ご希望のライフスタイルに添ったご提案から、移住の具体的な準備までお手伝いします！

暮らしの情報

子育て環境
市や各種施設・団体が妊娠・出産期から切れ目のない様々な支援サービスを提供しており、地域みんなで子育てを応援します。

医療環境
市立病院や大学病院など、市内には多くの総合病院があり、夜間・休日の急病患者に対応する夜間急病センターや休日在宅当番医制もあり、医療環境が充実しています。

買物環境
中心市街地には、南九州随一の商店街や大型商業施設があるほか、郊外にもスーパーが多数あり、地元産の新鮮な食材から衣料、雑貨まで買い揃えることができます。

交通環境
新幹線を含む鉄道・路面電車・路線バス・フェリーや高速道路の交通網が整備され、バリアフリーにも配慮された、安全で快適な人にやさしい交通環境です。

移住者に対する主な受入対策

移住奨励金
県外からの移住者を対象に定額で交付。
・基準額　10万円
・18歳未満の子　一人につき５万円

移住支援金
東京23区内に在住または通勤し、その他の要件を満たした方
一世帯100万円＋18歳未満の子ども一人につき最大100万円を支給。
（単身世帯は60万円）

クリエイターへの支援
UIJターンイベントや、お試し移住イベントを開催。事業所改修費用及び設備投資費用の１／２を補助。
（上限10万円）

「かごしま市ＩＪＵ倶楽部」では、本市の魅力や生活環境に触れてもらうため、一時滞在時の宿泊施設やレンタカー利用のほか、住まい確保、引越、コワーキング施設の利用等に係る特典サービスを受けることができます。（本市に移住した日から1年後まで利用可）詳しくは移住促進ポータルサイト「かごしま移住ライフ」をご覧ください。

鹿児島エリア02　ひおきし

日置市

人口46,170人・面積253.01㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
地域づくり課
099-248-9408　teiju@city.hioki.lg.jp
http://www.city.hioki.kagoshima.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で40分（高速道路利用 溝辺鹿児島空港IC～伊集院IC）
【鉄道によるアクセス】 JR鹿児島中央駅～伊集院駅（約17分）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約15分（高速道路利用）

ちょうどいい田舎～歴史と自然と利便性が自慢のまち～

本市は、鹿児島県の中西部に位置し、東は県都鹿児島市に、西は日本三大砂丘・吹上浜が広がる東シナ海に面しています。本市の東西には JR 鹿児島本線や九州新幹線が走り、国道３号と 270 号を基幹道路として、南九州西回り自動車道のインターチェンジ（IC）を有します。このような地理的な優位性や交通の利便性を最大限に生かしながら、産業の振興を図り、定住人口を増やしていきます。

このマチのアピールポイント!

日置市にないものは30分で解決!!

アドバイス

山と海、両方の魅力を楽しめる環境でありながら、県都鹿児島市まで車で30分という好立地。ショッピングや医療、仕事など、生活における選択肢が30分で広がります。関係人口創出事業「ひおきとプロジェクト」に力を入れており、ウェブメディアひおきとでの情報発信をはじめ、日置市公式ファンクラブ「ひおきカメカメ団」及びお試し住宅の運営を行っています。

日置市イメージキャラクター「ひお吉くん」

DATA

教育機関数
小学校：14、中学校：6、高校：4
義務教育学校：1 ※日吉学園（小中一貫）

医療機関数
病院：9、診療所：30、歯科診療所：21

主な公共施設
伊集院総合運動公園、吹上浜公園、江口蓬莱館、チェスト館、かめまる館

主な産業
製造業、医療・福祉、農業、漁業

主な特産品
薩摩焼、チリメン、日置茶、イチゴ
日置瓦、焼酎、オリーブ

主なイベント
・せっぺとべ（6月上旬）
・妙円寺詣り（10月第４日曜）
・美山クラフトウィーク（11月上旬）
・伊作流鏑馬（11月23日）

インターネット接続環境
光回線、ADSL（一部）

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
０歳から中学校卒業までの医療費（自己負担分）を全額助成しています。地元高校が4校あり、また通学の利便性が高いため、鹿児島市内への進学も便利です。

医療環境
市内には、産科・小児科等の専門施設のほか、総合病院も多くあり環境は整っています。
介護・福祉施設も充実しています。

買物環境
市内全域に大小さまざまなスーパーや商店があり、不便を感じることはありません。地産の物産館も多くあり、また、鹿児島市内への買い物も便利です。

交通環境
主な交通手段は車ですが、市内全域で路線バス、乗合タクシーを利用することができます。また、鹿児島市内へは、JR、バスが利用できます。

移住者に対する主な受入対策

お試し居住
個性的な5ヶ所のお試し住宅を用意。
ひおきカメカメ団に入団して、日置市をたっぷりご体感ください。

住宅関係支援
市外から転入して補助対象地区に住宅を新築・購入した方に補助金を交付します。

子育て支援
0歳から中学校卒業までの医療費（自己負担分）を全額助成しています。
その他補助　マタニティボックス

鹿児島エリア03　いちきくしきのし

いちき串木野市

人口25,879人・面積112.30㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画政策課
0996-33-5628
seisaku1@city.ichikikushikino.lg.jp
http://www.city.ichikikushikino.lg.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約1時間（高速道路利用 溝辺鹿児島空港IC～市来IC）
【鉄道によるアクセス】 JR鹿児島中央駅～市来駅（約30分）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から車で約1時間、高速道路利用の場合約25分（鹿児島IC～市来IC）

ひとが輝き 文化の薫る 世界に拓かれたまち

本市は、薩摩半島の北西部に位置し、市街地を中心に山と海に囲まれた、自然を身近に感じられるまちです。豊かな歴史、様々な恵みをもたらす海、焼酎やさつまあげなどの地元産品、温暖な気候で育つポンカン、サワーポメロといった農作物など、特色ある資源を有しています。また、子育て支援に関するさまざまな制度がそろっており、若者世帯が暮らしやすいまちです。

このマチのアピールポイント!

子育て世代へ全力投球！
３つの無償化始まります！

アドバイス

・19市初！保育料０、給食費０、子ども医療費０です。
・さつまあげや焼酎など、鹿児島のおいしいものが集う「食のまち」としても有名です。

DATA

教育機関数
小学校：９、中学校：6、高校：3

医療機関数
病院：6、診療所：20、歯科診療所：14

主な公共施設
多目的グラウンド、総合体育館、冠嶽園、ちかぴ展示館、薩摩藩英国留学生記念館、長崎鼻公園、いちき串木野パークゴルフ場

主な産業
農業、漁業、畜産業、建設業、製造業、医療・福祉

主な特産品
まぐろ、まぐろラーメン、さつまあげ、サワーポメロ、ポンカン、焼酎

主なイベント
・串木野浜競馬大会（４月中旬）
・まぐろフェスティバル（４月下旬）
・さのさ祭り（7月中旬）
・祇園祭（8月上旬）
・地かえて祭り（10月下旬）

インターネット接続環境
光回線（一部）、ADSL（一部）、ISDN

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
全年齢児の保育料無償化、市立小中学校の給食費無償化を実施しています。また、子育て支援センター等を開設し子育てをサポートしています。

医療環境
市内には、多くの医療機関や介護・福祉施設があり、充実した医療環境が整っています。
また、子ども医療費（自己負担分）を助成します。

買物環境
市内には、スーパーや小規模店舗が多数あり、日常的な買い物には困りません。JR や高速 IC などの交通環境が整っており、週末に市外のショッピングセンターに行くのも便利です。

交通環境
主な交通手段は車ですが、市内全域で路線バスやコミュニティバスを利用することができます。市内にJR駅３つ、高速IC２つなど、交通アクセスが発達しています。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
市内に家を建てる、購入する方を支援します。
基本額10万円
最大300万円!!

子育て支援
出産祝金（第1子2万円、第2子3万円、第3子10万円）
・子ども（0～18歳）の医療費について、自己負担額を全額助成します。
・0～2歳児を含め、保育料無償です。
・市立小中学校の給食費無償です。

移住者の声

・白浜温泉や照島海岸、温泉などの癒しのスポットがあり、魚が新鮮で美味しいです。地域ともなじみやすく、気楽に暮らせるのがいいですよ。
・子育て支援センターや子育て世代包括支援センター等が充実していて、知らない町での子育ての相談はもちろん、友達作りもできました。

鹿児島エリア04　みしまむら

三島村

人口331人・面積31.23㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
定住促進課
099-222-3141　teijyu01@mishimamura.jp
http://mishimamura.com

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～薩摩硫黄島（約50分）※セスナ機 毎週月・水曜日・要予約
【船によるアクセス】 定期船みしま 鹿児島本港～竹島（約3時間）

地球の鼓動を感じる島々（竹島・硫黄島・黒島）

三島村は、薩摩半島から南へ約 40 キロの洋上に点在する竹島、硫黄島、黒島の３島からなります。交通手段は主に村営定期船とセスナ機です。竹島は平坦な島で、その名のとおり島全体が竹に覆われた畜産の盛んな島。硫黄島は、温泉、椿、つつじの原生林や野生の孔雀が島内を闊歩する火山島。黒島は標高 500m 級の山々がそびえ、森林と大名竹に覆われた自然豊かな、畜産の盛んな島です。

DATA

教育機関数
義務教育学校：４

医療機関数
診療所：4
各集落に診療所があり、看護師が常駐。急患については、昼間は県の防災ヘリ、夜間は自衛隊のヘリで対応し、鹿児島市内へ搬送

主な公共施設
竹島あいあい会館、冒険ランドいおうじま、三島開発総合センター、みしまジャンベスクール、大里ふるさとセンター、片泊ふれあいセンター

主な産業
畜産業、伊勢海老漁、大名たけのこ生産、黒島みかん栽培、椿栽培、村特産焼酎製造

主な特産品
大名竹の子、椿油、かめりあそーぷ、黒島みかんシフォンケーキ、焼酎「みしま村」「メンドン」

主なイベント
・特攻平和祈念祭（5月）
・MISHIMA CUP（8月）

インターネット接続環境
・R6.4 光回線を再整備（ＮＴＴ西日本）
・全島４地区インターネット光回線完備
・任意のプロバイダー選択可能
・回線速度１Gbps（ベストエフォート）

このマチのアピールポイント！

やる気のある人材を村が全力でサポートします。
特に、農業（畜産）で自立したいなら、
施設の整備された三島村で夢を叶えよう！

三島村のマスコットキャラクター
トレンドくん

アドバイス 鹿児島県内で最も小さな自治体です。不便なこともたくさんあります。移住を決断する前に、実際に足を運んで自然環境、仕事、住宅などの状況を知る機会が必要です。特に島に移住してから何をしたいか、きっちりと計画を立てることで、よりよい島暮らしが実現できます。

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境 小・中一貫教育の義務教育学校が各地区にあります。学校教育現場では、豊かな自然の中でそれぞれの個性を生かした、少人数編成の心の通った教育が展開されています。

医療環境 村内4カ所に診療所があり、現在鹿児島赤十字病院の医師が巡回診療しています。また万一の場合に備え、ヘリや漁船などで緊急搬送ができる体制があります。

買物環境 島内に小さな商店が4軒ありますが、食料のほとんどは本土からの取り寄せになります。船賃軽減のために、地区単位でまとめて業者に発注するシステムがあります。

交通環境 本土と各島をつなぐ村営定期船「みしま」が、週４便程度運航しています。また、鹿児島空港より薩摩硫黄島へのチャーターが週２便（要予約）運航していたのですが、令和６年４月1日現在、使用停止中です。

移住者に対する主な受入対策

就業支援
畜産施設（牛舎・大型トラクター）を整備済。他にも子牛一頭または、二人以上世帯50万円支給、定住助成金85,000円支給（世帯員数により加算）などの支援もあります。

住宅関係支援
定住者向け住宅に入居可能。

その他支援
支度金（引越費用）として村営船みしまの船運賃10万円まで支給します。出産祝金もあります。

移住者の声

子どもにも親にも優しい『子育てに最適な島』です。スーパーもコンビニもない島ですが、モノや情報にあふれていない、自然豊かな環境だからこそ、子どもたちと一緒に過ごす時間も増え、目に見えない幸せの充足感を感じています。ぜひ一度遊びに来てください。星もキレイですよ～☆

鹿児島エリア05　としまむら

十島村

人口675人・面積101.35㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
地域振興課 人口対策室
099-222-2101　tokaratiiki@tokara.jp
http://www.tokara.jp

【船によるアクセス】 フェリーとしま２　鹿児島本港～口之島（約６時間）
～宝島（約12時間30分）～名瀬港（奄美大島）

つながる心 感じる幸せ TOKARA

トカラ列島と呼ばれる十島村は、有人７島と無人５島で構成される多島一村。最北の口之島から最南の宝島までの距離が160km に及び、人が住む地域では日本一長い村。琉球文化と大和文化の接点であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録された悪石島の「仮面神ボゼ」に代表される独特な文化も有します。畜産や漁業、農業が主な産業であり、近年Ｉターンの若い世代と住民とが協力し合いながら生活しています。

DATA

教育機関数
義務教育学校：７

医療機関数
診療所：7
村内の各島（７島）に村営の診療所があり、看護士が常駐、救急患者が発生した場合はドクターヘリ等により搬送。

主な公共施設
各島（7島）に役場出張所を設置しています。

主な産業
農業、畜産業、漁業

主な特産品
島バナナ、島らっきょう、スイートスプリング、タンカン、トビウオ、サワラ

主なイベント
・島めぐり体験ツアー（7月）
・ボゼ祭りツアー（8月）
・トカラ列島島めぐりマラソン大会（10月）

インターネット接続環境
令和4年に光回線を整備
通信速度30M～（理論値）
使用料　プロバイダにより異なる
★最大3年間の免除制度あり

このマチのアピールポイント！

火山の島、珊瑚礁の島、温泉の島とそれぞれ特色を持つ島が連なり、無垢の自然と、大和・琉球の文化の影響を受けた特有の文化がある人情豊かな場所です。

フェリーとしま２

アドバイス 地域の生活文化を尊重し、地域に溶け込み、地域活動などにも積極的に参加することが重要です。
オンラインでの移住相談がいつでも可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境 十島村の学校は、目の前の先生とマンツーマンで分かるまで学習できます。また小学校と中学校が統合した義務教育学校では異学年の仲間とのふれあいもできます。

医療環境 有人各島に診療所があります。救急患者が発生した場合には、ドクターヘリや県防災ヘリにより、鹿児島や奄美大島の病院へ搬送されます。

買物環境 平島と小宝島を除く各島には売店があります。
食料品や生活用品は売店で購入するか、ネット通販で鹿児島や奄美大島から取り寄せています。

交通環境 村営定期船「フェリーとしま2」が週2便、各島と鹿児島・奄美を結んで運航しています。島間は不定期（チャーター）で高速船が運航しています。

移住者に対する主な受入対策

就業者支援
農林水産業に従事した場合に１日７千円以内を奨励金として支給する就業者育成事業を実施しています。

生活支援
転入費用の助成（最大30万円）、中学生以下の子どもがいる家庭への助成制度があります。（1人につき月1万円～）

子育て支援
子どもの出生時にお祝い金を支給します。
（第1子30万円、第2子40万円、第3子50万円、第4子以降100万円）

移住者の声

宝島を下見に訪れた際に体験したトビウオ漁が定住の決め手でした。島民が一つになり、物事をやり遂げる姿に深く感銘を受けました。この島で衣食住に関連した宝島ブランドをつくり、ブロードバンドなどを利用して、日本のみならず世界へ発信していきたいと考えます。
（埼玉県から移住）

南薩エリア01　まくらざきし

枕崎市

人口18,512人・面積74.78㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画調整課 企画調整係
0993-76-1089　kikakutyosei@city.makurazaki.lg.jp
http://www.city.makurazaki.lg.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から空港連絡バスで約1時間45分
【鉄道によるアクセス】 JR鹿児島中央駅～枕崎駅（2時間30分）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市から約 70 分

活力ある地場産業に支えられ、人情味あふれるやすらぎと潤いのある枕崎市

薩摩半島の南端に位置する枕崎市は、北部が蔵多山など山地に囲まれ、東西側は山裾に台地が広がり茶や花き類などの農業地帯となり、南側海岸線は枕崎漁港を中心にカツオ漁と鰹節のまちとして全国に知られています。平均気温約 18 度と温暖なすごしやすい気候で、東シナ海を望む景色は三島、屋久島などの島や薩摩富士（開聞岳）と一体となり、南九州でも随一の大パノラマが広がります。

DATA

教育機関数
小学校：4、中学校：4、高校：2

医療機関数
病院：8、診療所：9、歯科診療所：10
（うち、産婦人科：1、小児科：1）

主な公共施設
病児病後児保育施設
塩浜公園、台場公園、市営プール、
野球場、総合体育館、武道館、弓道場

主な産業
水産業、水産加工業、農業、酒造業

主な特産品
かつお、かつお節、お茶、焼酎、
黒豚（鹿籠豚）、電照菊、タンカン

主なイベント
・こどもの日かつおまつり（5月5日）
・さつま黒潮きばらん海
「枕崎港まつり」（8月上旬）
・薩摩酒造「新酒まつり」（10月下旬～11月上旬）

インターネット接続環境
光回線

このマチのアピールポイント!

温暖な過ごしやすい気候で、豊かな自然を活かした農林水産業が盛んです。また枕崎駅舎の復活や三尺玉花火の打ち上げなど、活力あるまちです。

アドバイス
市中心部は各種施設が集中しており、比較的利便性が高いです。自然に囲まれた周辺部では、田舎暮らしが満喫できます。公共交通の便数が不足しているため、自家用車があると便利です。
お試し住宅も準備していますので、ぜひ一度枕崎での暮らしを体験してみてください!

さつま黒潮きばらん海 枕崎港まつり
マスコットキャラクター「キバッチョ」

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
０歳から18歳までの保険診療分医療費を全額助成します。また、小学校６年生までの病児・病後児保育など、様々な子育て支援を実施しています。

医療環境
市内には、多くの病院や診療所、歯科診療所があります。また産婦人科、小児科もあるため、安心して子育てをすることができます。

買物環境
生鮮食品や日用品雑貨等は市内の商店やスーパー、ホームセンターで買い物ができます。

交通環境
主な交通手段は自家用車となります。その他に近隣市町へはバス等をご利用いただけます。

移住者に対する主な受入対策

就業支援
新しく漁業・水産加工業に就業し、1年間従事し、かつ就業時年齢が40歳未満の方に奨励金を交付します。
新しく農業を始める方に対しての補助制度があります。

子育て支援
新生児１人につき２万円の共通商品券を給付します。また、幼稚園に通う児童が２人以上いる場合、２人目から１人につき月額４千円を年２回に分けて支援します。

住宅関係支援
新しく住宅を取得、またはリフォームをされる方に対しての補助制度があります。

移住者の声

コンパクトなまちなので、何か用事があるときは車を走らせればすぐに解決します。また、高台に位置する温泉からは、東シナ海に沈む夕日に照らされた海、立神岩、町並みを一望でき、その風光明媚な景色は心と体を癒やしてくれます。夜は枕崎の鰹を活かしたグルメの数々と芋焼酎でだれやめが最高です！一緒に枕崎ライフを満喫してみませんか？

南薩エリア02　いぶすきし

指宿市

人口 36,715人・面積148.82㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画政策課　地域創造係
0993-22-2111
kikaku@city.ibusuki.jp
https://www.city.ibusuki.lg.jp/ijyu/

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から空港連絡バスで約1時間30分
【鉄道によるアクセス】 JR鹿児島中央駅～指宿駅（約1時間）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約1時間

住みよさ実感、あったか健幸のまち

指宿市は、薩摩半島の最南端、鹿児島湾口に位置し、温暖な気候は農業にも最適で、オクラ、ソラマメなど生産量日本一を誇る作物等の生産が盛んです。九州一大きい湖・池田湖、薩摩富士の別名がある開聞岳、南国ムード漂う長崎鼻、潮の干満で陸続きになる知林ヶ島など数々の景勝地を有しています。また、世界でも珍しい「天然砂むし温泉」をはじめ、県下でも屈指の温泉地です。

DATA

教育機関数
小学校：９、中学校：5、高校：3、
特別支援学校（小・中・高）：１

医療機関数
病院：９、診療所：39、歯科診療所：21

主な公共施設
砂むし温泉、ヘルシーランド、
温水プール、体育館、陸上競技場、
野球場、文化ホール、図書館、
キャンプ場、考古博物館、道の駅、
フットボールパーク、児童公園

主な産業
農業、漁業、水産加工業、畜産業、
ホテル・旅館業

主な特産品
オクラ、ソラマメ、スナップエンドウ、
かつお本枯節、マンゴー、観葉植物、
黒さつま鶏

主なイベント
・いぶすきフラフェスティバル（6月）
・指宿温泉祭（9月下旬）
・いぶすき菜の花マラソン大会（1月第2日曜日）
・いぶすき菜の花マーチ（1月下旬）

インターネット接続環境
光回線

このマチのアピールポイント!

海、山、温泉で贅沢な暮らし！

アドバイス
市内には、日帰り温泉施設が多く、配湯事業により自宅で温泉を楽しめる地域もあります。また観光地という土地柄もあってか、移住者も快く受け入れてくれる懐の深さがあるように感じます。同じ市内でも都市部と農村部では生活環境が異なりますので十分な情報収集と事前の下見をおすすめいたします（旅費補助制度あり）。お気軽にご相談ください。

レトロピカル指宿
はじめてのなつかしさ。
「レトロピカル指宿」

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
市子育て世代包括支援センターや地域子育て支援センターなどで子育てに関する相談ができます。また、「子育て支援情報サイト」で各種サービス等の情報提供を行っています。

医療環境
市内には、多くの医療機関や介護・福祉施設があります。国立病院機構指宿医療センターでは、産科医が 三人体制で、安心して出産できる環境が整っています。

買物環境
国道226号線沿いや市役所周辺を中心にショッピングセンターやホームセンター、スーパー、ドラッグストア、コンビニ等があり、日常的な買い物には困りません。

交通環境
主な交通手段は車になりますが、JRが国道沿いを1時間に1本程度走っています。路線バスやコミュニティバスもあり、市街地なら自転車での移動も十分可能です。

移住者に対する主な受入対策

お試し滞在 支援
移住の候補地としての視察（家探し、仕事探し、周辺環境の確認等）を目的に指宿市内の宿泊施設に滞在する場合、交通費・滞在費の一部を助成します。

子育て支援
中学校卒業までの乳幼児・児童生徒に係る医療費自己負担分を助成します。

移住者の声

熱帯植物を育てるため、暖かい土地の視察を重ね、指宿にたどり着きました。現在は無農薬野菜やバナナ等の熱帯果樹を生産し、1日1組の宿を始めるために自分たちで古民家を改修しています。ヤギやアヒル等の動物に囲まれて毎日過ごしています。温泉が沢山あるので、温泉巡りが楽しいです。
（富山県から移住）

南薩エリア03　みなみさつまし

南さつま市

人口31,290人・面積283.59㎢（令和6年4月1日現在）

相談窓口
総合政策課　まちづくり推進係
0993-76-1507
e_machi@city.minamisatsuma.lg.jp
http://www.city.minamisatsuma.lg.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から空港連絡バスで70分
【自動車でのアクセス】 鹿児島市街地から車で60分、路線バスで85分

自然豊かに、心豊かに、温もりに満ちたまち

本市は、薩摩半島の南西部に位置し、北は鹿児島市・日置市、東は枕崎市・南九州市に隣接し、南側及び西側は東シナ海に面した温暖多雨な土地です。海岸線の北西部は砂丘地帯、また、南西部は変化に富んだリアス式海岸が続き、国の名勝・坊津や坊野間県立自然公園などの景勝地となっています。温暖な気候と豊かな自然が生んだ美味しい食べ物と最高の景色が楽しめます。

DATA

教育機関数
小学校：7、中学校：3、義務教育学校：2、高校：3

医療機関数
病院：7、一般診療所：35、歯科診療所：13

主な公共施設
南さつま海道八景、砂丘の杜きんぼう、焼酎づくり伝承展示館「杜氏の里 笠沙」、万世特攻平和祈念館、坊津歴史資料センター「輝津館」、県立吹上浜海浜公園

主な産業
医療・福祉、卸売・小売業、製造業

主な特産品
加世田のかぼちゃ、砂丘らっきょう、きんかん、双剣鯖、タカエビ

主なイベント
・吹上浜砂の祭典（5月）
・ツール・ド・南さつま（5月）
・南さつまフェスタ（9月）
・南さつま海道 鑑真の道歩き（2月）

インターネット接続環境
光回線

このマチのアピールポイント！

安心・安全な住みよいまちで、健康元気都市！

アドバイス

南さつま市では、「住みたい 働きたい 訪れたい 南さつま」を目指してお年寄りから子ども達までいきいきと暮らせる安心・安全なまちづくりを進めています。「住まい」「仕事」「結婚・子育て」などに関する様々な支援制度を用意してあなたの移住・定住を全力で応援します！公共交通機関がバスしかないため、バスの運行時刻以外に移動される際には、自家用車が必須となります。また、移住をし、定住するためには、地域の行事への参加など、地域の方々とのお付き合いが重要となります。

吹上浜砂の祭典マスコットキャラクター
サンディーくん

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
0歳児から高校生までの医療費（自己負担分）、給食費を無償にしているほか、保育園・幼稚園の数も充実し、学童保育など、様々な子育て支援サービスを提供しています。

医療環境
病院、一般・歯科診療所・小児科を含め各診療科があり、急性期から在宅等療養までの体制や、二次三次救急医療施設への短時間救急搬送も整備されています。

買物環境
中心市街地には大型店舗や小規模店舗が多数あり、日常的な買い物には困りません。近隣地域は、小規模経営の店舗がほとんどで、自家用車の利用が必要です。

交通環境
主な交通手段は車となりますが、市内・市外への移動には、コミュニティバス（一部地域は予約型タクシー）や路線バスをご利用いただけます。

移住者に対する主な受入対策

子育て支援
・高校生までの医療費　無償
・小中学校等の給食費　無料
・０～2歳児の保育料軽減
・誕生祝金の支給
・不妊治療費の助成
・子育て支援センターの設置
・ファミリーサポートセンターの設置

住宅関係支援
市内に移住し、新たに住宅を取得した方に補助金を交付します。

就業支援
農業・漁業を始められる方への助成や、機材を整備するための補助などを行います。

移住者の声

休日は家族で公園やキャンプに行くことが多く、自然に囲まれていることに感謝しています。
また、南さつま市は、高校生までの医療費や給食費が無償などの子育て世代への支援や、家を建てる際の補助金など、様々な支援があり助かっています。
（東京都からUターン）

南薩エリア04　みなみきゅうしゅうし

南九州市

人口31,763人・面積357.91㎢（令和6年4月1日現在）

相談窓口
企画課
0993-83-2511
kikaku@city.minamikyushu.lg.jp
https://www.city.minamikyushu.lg.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で1時間5分（川辺IC）、1時間10分（知覧IC）、1時間30分（頴娃IC）
【自動車でのアクセス】 JR鹿児島中央駅から45分（南薩縦貫道経由）

目の前に広がる風景は最高のおもてなし南九州市

薩摩半島の南部に位置する南九州市は、南には広大な東シナ海を望み、東は指宿市、西は枕崎市・南さつま市に接し、南薩地域の地理的中心に位置しています。南の海岸線は美しい景観が続き、中部には基幹産業である農業を支える広大な畑地が広がります。北から南東に連なる山々は豊かな水をもたらし、市内を流れるいくつもの河川は、さまざまな形で潤いと安らぎを与えてくれます。

DATA

教育機関数
小学校：16、中学校：3、高校：3

医療機関数
病院・一般診療所：22、歯科診療所：16

主な公共施設
えい中央温泉、
知覧特攻平和会館、知覧テニスの森公園、番所鼻自然公園、岩屋公園キャンプ場、清水岩屋公園

主な産業
農業、観光、畜産業

主な特産品
知覧茶、さつまいも、和牛、芋焼酎、鳥刺、川辺仏壇

主なイベント
・知覧ねぶた祭（7月第4土曜日）
・えいのゴッソイまつり（11月第3日曜日）
・川辺二日市（2月第1土曜日・日曜日）

インターネット接続環境
光回線

このマチのアピールポイント！

南九州市は、一年中「色」鮮やかなところです！

アドバイス

春は新茶の鮮やかな「緑」、夏は光り輝くひまわりの「黄」。
秋は実り豊かなさつまいもの「紫」、冬は美しい大根のカーテン「白」。
南九州市は、一年中「色」鮮やかなところです！
自家用車は必須。市内のおよそ240の自治会では、各自治会が活発な活動を行っており、充実した毎日を過ごすことができます。その反面、のんびり暮らすために移住したものの、場所によっては結構忙しいこともあります。

みな、みりょく！
南九州市
＃みなみりょく　インスタで検索を！

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
お子様の高校卒業までの医療費が無料。小・中学生の給食費を無償化しているほか、保育園・幼稚園の数も充実し、学童保育など、様々な子育て支援サービスを提供しています。

医療環境
病院、一般・歯科診療所はありますが、産科がなく、近隣市に頼る状況にあります。日頃の健康管理は、市内3カ所の保健センターで、各種検診や健康指導を受けることができます。

買物環境
生鮮食品や日用生活品は、市内3地域の商店街などを利用しています。道の駅「川辺やすらぎの郷」では、朝採れ新鮮野菜や清らかな水で作られた豆腐が人気です。

交通環境
主な交通手段は車になりますが、市内全域を100円で運行する「ひまわりバス」を利用すると便利です。

移住者に対する主な受入対策

転入者への家賃補助
民間の賃貸住宅に転入した子育て世帯に対し、最長3年間、月額20,000円の家賃補助を行っています。（交付要件あり）

住宅関係支援
住宅を新築（中古住宅購入）、またはリフォームをされる方に補助金を交付しています。

就業支援
農業を始められる方への研修制度、助成制度などのサポート体制が充実しています。

お試し居住
国の伝統的建造物群保存地区である「知覧武家屋敷庭園」でのお試し居住事業。1泊1,000円（最長15日）で地域の暮らしが体験できます。

移住者の声

気候が温暖で、開聞岳を眺めることのできる海岸に近い最高の場所に移住が叶いました。移住を成功させるポイントは、自分が納得できる場所を探し、分からないことは役所の担当の方に質問するなど、納得のいく生活ができるようにすること、あまり大きな期待をしすぎないことですね。
（神奈川県から移住）

北薩 エリア01　あくねし

阿久根市

人口18,349人・面積134.29㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画推進課　企画政策係
0996-73-1214
kikaku@city.akune.kagoshima.jp
https://www.city.akune.lg.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から空港連絡バスで約2時間
【鉄道によるアクセス】 JR鹿児島中央駅～肥薩おれんじ鉄道 阿久根駅（約1時間10分）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から1時間30分（高速道路利用 鹿児島IC～薩摩川内水引IC）

東シナ海のたからのまち　あくね

古くから海・陸交通の要衝として、海運業や商業が栄えた阿久根市。東シナ海に面した約40kmにも及ぶ美しい海岸線、沖合いに浮かぶ阿久根大島は海水浴や釣りのメッカとして、毎年多くの観光客が訪れます。また漁業や農業も盛んで、新鮮な魚介類と四季折々の農産物は全国の人々から愛されています。

このマチのアピールポイント!

子どもを育てるならあくね！
子育て世帯への支援が充実しており、自然に囲まれた環境の中で、心にゆとりを持って子育てすることができます。

アドバイス
小さなまちですが、子育て環境の充実に力を入れています。高台に位置する番所丘公園では、広大な芝生や大きな遊具をはじめ、ゴーカート場、ローラースケート場などを備えており、子どもたちが思いっきり遊べる環境が整っています。

阿久根市観光PRキャラクター
“阿っくん”

DATA

教育機関数
小学校：9（うち休校2）、中学校：3、高校：1

医療機関数
病院：3、診療所：12（うち小児科1）、
歯科診療所：7

主な公共施設
阿久根市立図書館・郷土資料館、
阿久根市総合運動公園
市民交流センター（風テラスあくね）

主な産業
農業、漁業、畜産業

主な特産品
阿久根文旦、たかえび、伊勢えび
高校生の作る豚味噌類、文旦漬（菓子）

主なイベント
・番所丘公園グリーンフェス（5月GW）
・みどこい夏まつり（7月下旬）
・ポンタンロードレース大会（12月第1日曜日）
・産業祭（12月第3土・日曜）

インターネット接続環境
光回線（全域）、ADSL（ほぼ網羅）

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
・０歳～２歳児までの保育料を完全無償化しています。
・高校生（18歳）までの医療費を全額助成しています。
・出生児一人につき、10万円分の商品券を交付しています。

医療環境
・総合病院や多くの介護・福祉施設があります。
・産科がある医療機関がないため、市外の医療機関を利用する必要があります。

買物環境
・24時間営業の大型スーパーがあり、急な買い物にも困りません。
・小規模スーパーやドラッグストア、コンビニエンスストアもあり、日常の買い物に多く利用されています。

交通環境
・主な移動手段は車です。
・本数は少ないですが、鉄道や路線バスが走っており、車を持たない方の移動手段に利用されています。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
・空き家バンクに登録された物件を購入等された方に対して、残っている家財の処分に要する費用を補助する制度があります。
・市内企業に就職した方に対して、家賃を補助する制度があります。

子育て支援
・０歳～２歳児までの保育料を完全無償化しています。
・出生のお祝いと、育児にかかる経済的支援のため、出生児一人につき、10万円（商品券）を交付します。
・転入する子育て世帯に対し、引越し費用の支援として、10万円（現金）と子ども一人につき、２万円（商品券）を加算して交付します

移住者の声

市の中心地から車で５分で海を見に行くことができます。
豊かな自然に囲まれながら、伸び伸びとした子育てができ、困ったことがあれば、近所の方が助けてくれる優しい人にあふれたまちです。
移動には車が必須ですが、24時間営業の大型スーパーがあるので、急な買い物にも重宝しています。

北薩 エリア02　いずみし

出水市

人口51,327人・面積329.98㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
観光交流課 交流推進係
0996-63-2111
sangyo_c@city.izumi.kagoshima.jp
http://www.city.kagoshima-izumi.lg.jp/

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から空港連絡バスで約1時間20分
【鉄道によるアクセス】 JR鹿児島中央駅～出水駅（最速23分）、JR博多駅～出水駅（最速1時間11分）、JR熊本駅～出水駅（最速31分）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から1時間30分（国道328号利用）、南九州自動車道水俣ICから30分（国道3号を鹿児島方面へ）、九州自動車道栗野ICから１時間（国道268号、447号伊佐市経由）

ほっとできるまち出水市

鹿児島県の北西部に位置する出水市。温暖な気候で、温泉や四季折々の豊かな自然に恵まれています。スーパー・衣料・日用品店などの商業施設や医療施設が充実しており、九州主要都市とのアクセスも良いため、「生活のしやすい、いなか暮らし」ができることが魅力です。

このマチのアピールポイント!

魅力がいっぱい最高の移住と交流のまち 出水市

アドバイス
出水は南九州西回り自動車道の沿線上にあり、熊本・福岡・長崎へ行きやすく、鹿児島空港まで1時間程度の距離なので九州外へのアクセスも良いです。
商業施設が豊富で生活環境も整えやすいので、九州内での移住先として魅力ある地域だと思います。自然も豊かなので、子育てにUターン・Iターンする若い夫婦が多いのもまちの特徴だと感じています。

神奈川県より移住、川村洋太さん

DATA

教育機関数
幼稚園：7、保育園：11、認定こども園：8、
地域型保育所：4、小学校：13、中学校：6、
義務教育学校：1、高校：5、特別支援学校：1

医療機関数
病院：5、医院・診療所：34、歯科：24

主な公共施設
総合体育館、野球場、陸上競技場、
多目的広場、文化会館、音楽ホール、
図書館、青年の家、市民プール

主な産業
農業、畜産業、製造業、医療・福祉

主な特産品
みかん、いちご、たけのこ、ソラマメ、
お茶、のり、焼酎

主なイベント
・高尾野中の市「そば市」（春分の日及び翌日）
・いずみマチ・テラス（11月上旬）
・西日本オールドカーフェスティバル（11月3日）

インターネット接続環境
光回線（全域で利用可能）

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
高校卒業までの医療費（自己負担分）を助成しているほか、補助金制度あり。子育てサポート事業も積極的に進めています。

医療環境
市内には、総合医療センターをはじめ、多くの医療機関や介護・福祉施設があり、充実した医療・介護・福祉サービスを利用することができます。

買物環境
市内全域にスーパーや小規模店舗が多数あり、日常的な買い物には困りません。また、野菜や柑橘類などの生鮮品は、生産者直営の販売所で購入することができます。

交通環境
主な交通手段は自家用車ですが、九州新幹線停車駅のJR出水駅があり、鹿児島中央駅まで最速23分、博多駅まで最速1時間11分という立地です。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
市外から転入して定住を目的とした住宅を取得された方に、3年間最大100万円の補助金を交付します。

通勤支援
市外から転入され、市外の事業所に公共交通機関で通勤される方に定期代の一部を補助します。
（最大3年間）

生活支援
いきいき自治会（65歳以上人口が5割以上、かつ30世帯以内の自治会）に市外から転入される方などに補助金を交付します。

移住者の声

自身も観光で遊びに来たのがきっかけで、まちの雰囲気に一目惚れし移住を決めました。美味しい食べ物、豊かな自然と生活利便のバランス。一言で「暮らしやすい！」まちです。何よりも魅力なのは人の温かさ。ネットワークを繋いで移住者を温かく迎え入れ、応援してくれる方が多く、リノベーション創業の夢を叶えることが出来たのは地域の方々のおかげです！是非一度、遊びに来て下さいね！「出水のローカルな魅力」をたくさんご紹介します！
（東京都から移住　山川温子さん）

北薩 エリア03　さつませんだいし

薩摩川内市

人口90,994人・面積682.92㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口

産業人材確保・移住定住戦略室内
定住支援センター

0120-420-200（平日、昼間のみ）

teiju@city.satsumasendai.lg.jp

http://www.city.satsumasendai.lg.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約1時間
【鉄道によるアクセス】 JR鹿児島中央駅～川内駅（新幹線 最速約11分）、JR博多駅～川内駅（新幹線 最速約1時間12分）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約45分（高速道路利用 鹿児島IC～薩摩川内都IC）

「街」「里」「島」多様な暮らしができるまち!!

鹿児島県の北西部に位置する薩摩川内市は、市内を流れる一級河川「川内川」、ラムサール条約に登録されている「藺牟田池」、地形の変化の美しい「甑島」など、多種多様な自然環境を有しています。また、西郷隆盛も利用したと伝えられる高城温泉、島津光久公が称えた市比野温泉といった各地域の温泉も今なお、昔ながらの風合いを残しており、ゆったりとした時間と情緒を楽しむことができる土地です。

DATA

教育機関数
小学校：23、中学校：10、義務教育学校：1、高校：4、専門学校等：2、大学：1、大学院：1

医療機関数
病院：11、診療所：97、歯科診療所：38

主な公共施設
薩摩川内市総合運動公園、国際交流センター、せんだい宇宙館、川内駅コンベンションセンター（SSプラザせんだい）川内歴史資料館

主な産業
製造業、農業、漁業、畜産業

主な特産品
うなぎ、らっきょう、きびなご、ちりめんじゃこ、きんかん

主なイベント
・川内川花火大会（8月）
・川内大綱引（9月）
・薩摩川内はんやまつり（11月）
・甑島のトシドン（年末行事、国指定重要無形民俗文化財）

インターネット接続環境
光回線、ADSL、ISDN

このマチのアピールポイント!

新幹線で大都市へのアクセスもバツグン!! あなたに合った生活がきっと見つかる。

アドバイス

九州新幹線の停車駅川内駅を中心に、インフラが整い住居空間が広がる「街」。歴史ある温泉、みどり豊かな田園風景広がる「里」。豊富な海の幸が楽しめ、ダイナミックな自然あふれる「島」。県内一の面積を誇る薩摩川内市には、多様なライフスタイルがあります。まずは相談をしてみませんか？

薩摩川内市観光物産キャラクター「西郷つん」

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
保育園・幼稚園の数が充実し、さまざまな子育て支援サービスを提供するほか、0歳から高校卒業までの子ども医療費の自己負担分を全額助成しています。

医療環境
市内の医療施設数は、合計146施設（病院：11・診療所：97・歯科診療所：38）で、夜間・休日に時間外診療を行っている病院もあります。また、島嶼地域にも公営診療所を設置しています。

買物環境
市街地は、国道3号を中心にショッピングセンター、各種店舗、飲食店などが充実しており、近隣市にはショッピングモールもあり、鹿児島市内への買い物も便利です。

交通環境
主な交通手段は車ですが、市内全域で路線バスやコミュニティバスを利用することができます。また、鹿児島市内へは、JR新幹線、シャトルバスが利用できます。

移住者に対する主な受入対策

移住定住関係支援

本市に転入し、定住のための住宅を市内に新築・購入し、5年以上定住する方に補助します。

本市に転入し、定住のための住宅をリフォームし、5年以上定住する方に補助します。

本市に居住し、市内企業に就職した若者に対して、奨学金の返還支援を行っています。

新幹線通勤定期購入補助金

住宅を取得し、本市から市外の事業所に新幹線通勤をされる方に、一定期間、距離に応じた補助を行っています。

移住者の声

テクノロジーと自然が共存し、甑島や高城温泉など魅力溢れる薩摩川内市で、どんな暮らしを望んでいますか。移住は相性より計画性です。人生の分岐点になる大事な事だから、移住前に地域の方と農作業をして、その日は飲み明かすくらいの下準備が必要です。この町の一番の魅力は、あなたの本気に、市の方々が厳しくも暖かな思いで力になってくれる所です。
（兵庫県から移住）

北薩 エリア04　さつまちょう

さつま町

人口18,488人・面積303.90㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口

さつまPR課

0996-26-1823

pr-teijyuu@satsuma-net.jp

http://www.satsuma-net.jp/teiju/index.html

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約35分
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から車で約1時間、九州新幹線最寄り駅まで JR出水駅（40分）、JR川内駅（30分）

ひと・まち・自然　かがやく さつま町

鹿児島県の北西部に位置するさつま町は、周囲を標高1,067mの霊峰「紫尾山」をはじめとする山々に囲まれており、初夏にはあちらこちらでホタルが乱舞する１級河川「川内川」が貫流し、良泉豊かな温泉が楽しめます。日本一早く出荷する「超早掘り筍」や「薩摩西郷梅」、トマトなどの生産を中心とする農業をはじめ、自動車用点火プラグの生産量世界一を誇る工場を中心に、製造業も盛んなまちです。

DATA

教育機関数
こども園：7、保育園：5、事業所内保育所：1、小学校：6、中学校：1、高校：1

医療機関数
病院：4、診療所：13、歯科診療所：8
※医師会病院あります。

主な公共施設
Niterra日特スパークテックWKS公園（県立北薩広域公園）
かぐや姫グラウンド、
宮之城総合体育館

主な産業
農業、畜産業、製造業、医療・福祉

主な特産品
早掘り筍、薩摩西郷梅、焼酎、米、マンゴー、トマト、工芸品（薩摩切子、竹製品）

主なイベント
・奥薩摩のホタル舟運航（5月中旬～6月上旬）
・さつま町夏まつり（8月第1日曜日）
・さつま町産業祭＆JA農業祭（11月中旬）

インターネット接続環境
光回線（町内全域）

このマチのアピールポイント!

自然が育む新鮮な食と気軽に利用できる温泉に癒やされながら生活してみませんか？

アドバイス

のびのびとした場所での生活を望む方や、温泉やゴルフ、アウトドアなど余暇を楽しむスポットも充実しております。
3つの国道が町の中心で交差しているため、交通アクセスは良いですが、自家用車が必要です。

さつま町イメージキャラクター さつまるちゃん

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
保育園やこども園は、待機児童がゼロで保育料は完全無償化となっております。学童保育の実施や高校卒業までの子ども医療費の無償化など子育てに適しています。

医療環境
医師会の運営する総合病院のほか、眼科、耳鼻科、歯科も多数開設されています。（産婦人科は車で約30分の隣市の医療機関を利用）

買物環境
町内にはショッピングセンター、スーパー、コンビニ、ホームセンターのほか、飲食店などが並ぶ商店街、地元で採れた野菜が購入できる直売所も多数あります。

交通環境
主な交通手段は、車となります。国道3線が町内で交差しているため、空港まで35分、鹿児島市まで1時間と県内主要地域等へのアクセスに優れています。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援

町営住宅や県営住宅のほか、町の空き家バンクで一戸建の賃貸物件・売買物件の情報提供を行っております。

住宅の新築・購入に対して支援しています。
また、若者に対する転入後の家賃補助で新生活を応援しています。

移住体験

・移住体験ツアーを年1回実施予定。
・自炊型の移住体験宿が2戸あり、日常生活を送れる備品も完備。1泊2,000円、延泊が安くなります。

移住者の声

「九州移住ドラフト会議」でさつま町にスカウトされ、移住を決意。さつま町の同年代の方が、まちの未来に熱い想いを抱いていることに感銘を受けました。自分のスキルを活かしながら、やりがいのある人生を過ごしていきたいと考えています。また、自家栽培の野菜等をいただくなど、おすそ分け文化を体験し、人との繋がりと温かさを実感しています。（東京都から移住）

北薩 エリア05　ながしまちょう

長島町

人口9,527人・面積116.19㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
地方創生課
0996-86-1101（直通）
chisei@town.nagashima.lg.jp
http://www.town.nagashima.lg.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約2時間
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約2時間30分、高速道路利用の場合約2時間（鹿児島IC～薩摩川内水引IC）

ゆめと活力がある福祉の充実したまちづくり

長島町は鹿児島県の最北端の町として薩摩半島の北西部に位置し、四方を東シナ海、八代海、長島海峡等の海に囲まれ、島の一帯は雲仙天草国立公園に指定されるなど、自然に恵まれた地域です。町内には、長島本島、伊唐島、諸浦島、獅子島ほか大小 23 の島々が点在しています。また、特産品であるじゃがいもを中心とした農業と、日本一のブリ生産量を誇る漁業の盛んな町です。

このマチのアピールポイント!

陽光きらめく青い海原と広大に広がる段々畑、遠くには天草の島々が望める風光明媚な長島です。

アドバイス
ブリや赤土じゃがいもなど美味しい特産品も多くあります。
公共交通機関が少ないので自家用車は必要です。

夢追い長島花フェスタキャラクター
はなちゃん

DATA

教育機関数
小学校：7、中学校：5

医療機関数
診療所：5、歯科診療所：2
※町立診療所あります。

主な公共施設
文化ホール、海洋センター、
総合町民体育館、歴史民俗資料館、
日本マンダリンセンター、道の駅

主な産業
農業（じゃがいも、かんきつ類）、漁業（ブリ養殖）

主な特産品
赤土じゃがいも、養殖ブリ「鰤王」、
本格焼酎「島美人」

主なイベント
・御八日踊り（8月8日）
・ながしま造形美術展（10月中旬～11月中旬）隔年開催
・おさかな祭り（11月下旬）
・夢追い長島花フェスタ（3月下旬～5月上旬）

インターネット接続環境
光回線

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
子育て支援として、0歳から高校卒業までの医療費（自己負担分）を助成しています。高校は近隣市町へ通うことになります。

医療環境
入院できる施設が町立診療所1施設しかないため、近隣市の医療機関を利用する場合が多いです。

買物環境
町内の商店で買い物はできますが、小規模経営の店舗がほとんどで、自家用車で近隣市町のショッピングセンター等を利用する場合が多いです。

交通環境
主な交通手段は自家用車ですが、基幹道は路線バスが運行しており、その他の地域にはコミュニティバスや乗合タクシーが運行しています。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
町が空き家情報の提供を行います。（空き家バンク）

町内の空き家改修などにかかる経費に対して補助金を交付します。

移住支援金
東京23区内に在住または通勤し、その他の要件を満たした方
一世帯100万円＋18歳未満の子ども一人につき最大100万円を支給。
（単身世帯は60万円）

夕陽が美しい「長崎鼻灯台公園」です。灯台の下の岩場では、磯釣りを楽しむことができます。

鹿児島県最北端の島「獅子島」にある黒崎展望所からの眺めです。島は雲仙天草国立公園に指定され、化石の島としても有名です。

姶良・伊佐 エリア01　きりしまし

霧島市

人口123,179人・面積603.18㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画部地域政策課
地域活性化グループ
0995-45-5111　t-seisaku@city-kirishima.jp
https://www.city-kirishima.jp/hisyokouhou/shise/ijuteju/index.html

【空港からのアクセス】 鹿児島空港立地市、市内各所から30分圏内（鹿児島空港まで大阪から約1時間10分、東京から約1時間40分）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から40分（高速道路利用 溝辺鹿児島空港IC～鹿児島北IC）

ちょっと贅沢な田舎暮らしを味わえます

霧島市は、国際空港や高速道、鉄道などの交通の利便性に優れ、北部には霧島山、南部には錦江湾・桜島の美しい眺望が広がるなど、多彩で豊かな自然に恵まれたまちです。また、歴史や文化、様々な泉質や豊富な湧出量を誇る温泉などの魅力ある地域資源に加え、黒牛・黒豚・芋焼酎・茶などの特産品にも恵まれており、年間を通じ多くの観光客が訪れます。世界的な企業も数多く立地し、農業・観光・商工業が調和したまちです。

このマチのアピールポイント!

おじゃんせ!!（いらっしゃい）霧島
飛行機をおりたら、そこは霧島市!!

アドバイス
最短で東京から100分、大阪からは70 分。都会から遠いようで近い。
日本初の国立公園である霧島山は、平成 22 年 9 月に日本ジオパークに認定されました。雄大な自然、歴史と伝統、豊富な温泉。
ふれてみませんか!?「霧島の魅力」に…。

© PILOT INK&アピル隊長プロジェクト

DATA

教育機関数
小学校：35、中学校：14、高校：6、
高専：1、短大：1、大学：1

医療機関数
病院：15、診療所：101、歯科診療所：59
※うち救急病院は6施設

主な公共施設
総合体育館、野球場、陸上競技場、
文化会館、市民プール（温水プール）、
音楽ホール、歴史資料館、図書館、
児童公園、温泉センター、こども館

主な産業
卸売業、小売業、宿泊業、飲食業、
建設業、医療・福祉、製造業

主な特産品
関平鉱泉水、黒牛、黒豚、霧島茶、
福山黒酢、ブルーベリー加工品

主なイベント
・初午祭（2～3月頃）
・龍馬ハネムーンウォークin霧島（3月中旬）
・霧島国際音楽祭（7月下旬から8月上旬）
・天孫降臨霧島祭（8月頃）

インターネット接続環境
光回線（市内全域）

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
保育所、小・中学校、高校、大学すべてを市内に有しており、さまざまな子育て支援サービスを提供しています。

医療環境
市内には、内科、外科、産科など多くの医療機関や介護・福祉施設があり、医療や介護の環境が整っています。

買物環境
中心市街地には、デパートや大型ショッピングモールがあり市内各所から車で30～40分圏内。周辺部は、商店や産直の物産館などがあり日常生活には困りません。

交通環境
主な交通手段は自家用車となりますが、市内の主要箇所へは、鉄道や路線バス、コミュニティバスなどでアクセス可能です。

移住者向けの主な支援制度

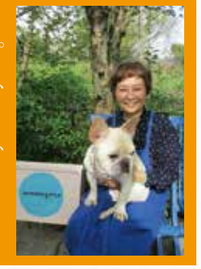
住宅関係支援
市に転入、または市街地から中山間地域へ転居し、それぞれの要件（新築・中古住宅購入・増改築・賃貸住宅入居など）を満たす場合、最大50万円の補助が受けられます。また、子育て世帯には、一律30万円の加算金もあります。

市が空き家情報の提供を行います。（空き家バンク）

移住体験
霧島市の魅力を知っていただくための移住体験ツアー（農業体験等）を実施しています。

移住者の声

『温泉、国立公園、国宝』のまち、霧島市。山も海も農村も市街地も、そして、空の玄関口の鹿児島空港もあるからこそ、移住先の生活で大切にしたいことを見つけられます。風光明媚な霧島山や錦江湾は四季折々の美しい眺望が望め、温泉では、日替わりで様々な泉質が楽しめます！
私も地元民として、皆様方の地方移住のお手伝いをします！
（鹿児島市からＩターン）



姶良・伊佐 エリア02　いさし

伊佐市

人口23,074人・面積392.56㎢（令和６年４月１日現在）

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で50分、空港連絡バスで1時間15分
【自動車でのアクセス】 JR新幹線新水俣駅から40分、鹿児島市内から1時間30分

相談窓口
地域振興課
0995-29-4113　commu@city.isa.lg.jp
https://www.city.isa.kagoshima.jp/teiju/

住みよさいちばん。

伊佐市は鹿児島県本土の最北端に位置し、熊本県水俣市、人吉市、宮崎県えびの市に接する県境のまちです。市の東南側には金鉱石の鉱脈が広がっており、日本の金産出量の大半をここ菱刈鉱山が占めています。伊佐の焼酎は全国的に人気で「焼酎のふるさと」とも呼ばれ、また、こだわりの黒豚や、食味コンクール日本一になった伊佐米をはじめ、美味しい魅力いっぱいです。

DATA

教育機関数
小学校：14、中学校：2、高校：3

医療機関数
病院：6、診療所：22、歯科診療所：8

主な公共施設
伊佐市大口地区体育施設 、
伊佐市営プール 、
伊佐市菱刈地区体育施設、
菱刈パークゴルフ場

主な産業
農業、畜産業、林業、商工業

主な特産品
伊佐米、芋焼酎、黒豚、豚味噌、
金山ねぎ、焼酎を使った菓子

主なイベント
・忠元公園桜まつり（3月下旬）
・いさドラゴンカップ（4月下旬）
・伊佐市花火大会（8月上旬）
・曽木の滝公園もみじ祭り（11月下旬）

インターネット接続環境
光回線対応（一部ADSL）

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント！

伊佐市はワイルドな自然を楽しめる子育てにやさしいまちです。

アドバイス

熊本、宮崎、鹿児島県内へのアクセスもよく、自然と歴史と美味しいものに囲まれた魅力あふれるまちです。
公共交通機関はバスのみですが、自家用車をお持ちであれば熊本、宮崎、鹿児島県内を回るのにとても適した立地です。

伊佐市公認キャラクター
イーサキング

暮らしの情報

子育て環境
予防接種の全額助成や児童発達支援、子育て全般に関する相談への対応など充実した支援体制でサポートします。保育料の無料化の拡充制度があります。

医療環境
中核病院である県立北薩病院は小児科医2名が常駐し、在宅当番医・輪番制で休日・夜間の体制が確保され、救急搬送のためドクターヘリのヘリポートを有しています。

買物環境
スーパーやホームセンター、電気店など生鮮食品から日用雑貨・家電まで買い物ができます。地元商店街には肉・魚・菓子・酒・衣料品などの専門店があります。

交通環境
主な交通手段は自家用車です。市内の移動には、バスのほかに「のりあいタクシー」があり、高齢者にはタクシー料金の助成があります。

移住者に対する主な受入対策

移住体験
市内への移住を考える方が、実際に伊佐での暮らしを体験するための住宅があります。
（貸付料：3泊4日9,000円～最長1ヵ月）

子育て支援
子育て相談や早期発達支援など、未就園児の親子が気軽に集える場の提供として親子教室を実施しています。
国の幼児教育・保育無償化に加えて、第3子以降の対象や副食費の免除の範囲を拡大しています。

移住・住み替え促進事業
「移住者、若者世帯、子育て世帯」が行う新築や空き家を増改築して住み替える際にかかる費用の一部を補助します。（最大80万円）

移住者の声

古民家で暮らすと決めてから半年で横浜から移住しました。決め手は自然と人の心の豊かさ。地元の皆さんからも歓迎され、ご近所付き合いを楽しんでいます。家庭菜園用の大きな畑も直ぐに借りることができ、家族で理想の田舎暮らしを満喫しています。
（神奈川から移住）

姶良・伊佐 エリア03　あいらし

姶良市

人口77,948人・面積231.25㎢（令和６年４月１日現在）

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約20分
【鉄道によるアクセス】 JR鹿児島中央駅～帖佐駅（約25分）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約20分

相談窓口
企画部 地域政策課 地域政策係
0995-66-3121　seisaku@city.aira.lg.jp
http://www.city.aira.lg.jp

県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまち

鉄道、高速道路などの交通の便がよく、空港、鹿児島中央駅へのアクセスも容易。早掘り筍やメアサ杉の産地となる山々、国立公園でもある海・干潟などの自然に囲まれ、龍門司焼窯元などの伝統文化、国指定特別天然記念物の大クスや島津義弘公ゆかりの地などの多彩な文化財スポットがあります。また、米作りや有機野菜栽培、焼酎作りなどの食文化、盛んな NPO 活動なども特色です。

DATA

教育機関数
幼稚園：6、小学校：17、中学校：5、
高校：4、特別支援学校：1、専修：2

医療機関数
病院：11、診療所：56、歯科診療所：37

主な公共施設
総合運動公園、加音ホール
おおくすアリーナ、市立図書館
スターランドＡＩＲＡ、さえずりの森

主な産業
農業

主な特産品
芋焼酎、早掘り筍、龍門司焼、加治木
まんじゅう、帖佐人形、和紙、はだか麦

主なイベント
・あいら春まつり（3月）
・加治木くも合戦（6月）
・太鼓踊り（加治木・蒲生）（8月）
・あいら市花火大会（8月）
・日本一大楠どんと秋まつり（11月）

インターネット接続環境
光回線（ほぼ全域）
CATV（一部）

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント！

姶良市は、鹿児島県本土の中央にあり、県内各地へアクセスしやすく、住みやすいです。

アドバイス

快適で住みよいまちづくりのために「自治会」への加入をお願いしています。
自治会では、地域の美化活動、自主防災活動、親睦を深めるお祭りや運動会、ごみステーションや防犯灯の管理等の活動を行っています。

姶良市イメージキャラクター
くすみん

暮らしの情報

子育て環境
0歳から小学校修了までの医療費の自己負担額を全額助成しています（中学生に対する医療費助成もあります）。また、令和６年度より、子育て支援拠点施設として、姶良市子ども館「ちるどん」がオープンしました。

医療環境
多くの医療機関や介護・福祉施設があり、充実した医療環境が整っています。

買物環境
国道10号線を中心とした、飲食店や各種店舗に加え、大型商業施設もあり、買い物環境は大変充実しています。

交通環境
主な交通手段は自家用車ですが、コミュニティバスや民間のバスを利用することができます。空港が近くにあり、近隣市町へは、バスや鉄道をご利用いただけます。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
市のホームページなどで空き家情報の提供を行います。（空き家バンク）

子育て支援
小学生及び住民税非課税世帯の中学生の医療費の自己負担額を全額助成します。住民税課税世帯の中学生については、1か月分の自己負担額の合計費から2,000円を差し引いた額を助成します。

就業支援
新しく農業に従事する方（新規参入者・新規後継者）に対する奨励金制度があります。

移住支援
市内の中山間地区に住宅取得をされた方への補助金制度があります。住宅増改築補助金・子ども補助金・引越費用補助金の加算補助金もあります。
（ふるさと移住定住促進事業）

移住者の声

地域の温かさや風土に魅力を感じ、また、自然の中で暮らしながら、のびのびと子育てをしたいという思いで姶良市へ移住しました。
農業をしながら家族みんなで楽しく充実した毎日を送っています。

始良・伊佐 エリア04　ゆうすいちょう

湧水町

人口8,361人・面積144.29㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
商工観光PR課
0995-74-3111　ijyuu@town.yusui.kagoshima.jp
https://www.town.yusui.kagoshima.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約30分　**【鉄道によるアクセス】** JR鹿児島中央駅～吉松駅（約1時間40分）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約40分（高速道路利用 鹿児島IC～栗野IC）

人と自然が織りなす芸術のまち 心豊かで伸びゆく美しいまち

鹿児島県の中央北部に位置する湧水町は、山麓には絶え間なく冷水が湧き出し、その中でも名水丸池湧水や竹中池湧水は透明度も高く、訪れる人を癒してくれます。九州縦貫自動車道栗野インターチェンジの設置で近隣の主要都市へのアクセスも良好になり、また、芸術家や芸術家のたまごたち（芸術大学の学生）の作品を町内主要箇所に設置する、「芸術がある町」づくりにも取り組んでいます。

DATA

教育機関数
小学校：5、中学校：2

医療機関数
病院：1、医院：5、歯科医院：3

主な公共施設
吉松体育館、栗野体育館、
吉松都市公園グラウンド、
栗野岳レクリエーション、
いきいきセンターくりの郷、
くりの図書館

主な産業
農業、畜産業

主な特産品
かごしま湧水米、幸田の棚田米、
「丸池湧水」ミネラルウォーター

主なイベント
・名水丸池感謝の夕べ（9月上旬）
・湧水町高原フェスタ（11月上旬）

インターネット接続環境
光回線

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント!

鹿児島 宮崎 熊本三県の県境に位置し、ロケーションは最高です。

アドバイス　南国鹿児島と言えども冬の寒さは半端ない！
昔ながらの田舎町で、地域のコミュニティーをすっごく大切にする風土が今も残っています。

湧水町マスコットキャラクター
ゆうたん

暮らしの情報

子育て環境　保育所4・幼稚園1・小学校5・中学校2校があり、子育て支援として、中学校卒業までの医療費の自己負担分を助成しています。

医療環境　町内には、小児科・産科の専門医療機関がないため、近隣の医療機関を利用する場合が多いです。

買物環境　生鮮食料品や日用品雑貨等は町内のスーパー等を利用しています。その他の買い物は近隣市町のショッピングセンターを利用する場合が多いです。

交通環境　自家用車が主な交通手段となっています。高速道路は栗野ICが設置されており、鹿児島空港までは高速で15分となっております。

移住者に対する主な受入対策

起業支援
・町内での新規起業者のうち女性、若者（20歳以上39歳以下）、シニア（40歳以上）を対象に、起業のための施設整備に要する経費の補助制度があります。

子育て支援
・子ども（0歳～15歳に達する日以後の最初の3月31日まで）の保険診療による一部負担金を全額補助します。
・新生児を養育する保護者に対し1子目10万円、2子目20万円、3子目30万円を支給します。
・高等学校へ就学している生徒の保護者に対して、通学及び寮費等に要する経費の一部を助成します。

就農支援
新しく農業に従事する方（新規就農者・親元就農者・定年帰農者）に対する補助制度等があります。

移住者の声

「田舎で子育てをしたい」と思い、有機農業を学び、環境の良さに魅力を感じて湧水町へ移住しました。有機農業と農家民宿、加工品の製造・販売、マルシェの運営等に取り組んでいます。移住で大切なのは自分が何をしたいのか明確なイメージを持つことだと思います。
（東京都から移住）

大隅 エリア01　かのやし

鹿屋市

人口97,347人・面積448.15㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
地域活力推進課（かのや移住サポートセンター）
0994-45-6930　chiiki@city.kanoya.lg.jp
https://www.city.kanoya.lg.jp/iju/index.html

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から空港連絡バスで約1時間25分
【自動車でのアクセス】 JR鹿児島中央駅から直行バスで約2時間
鹿児島市内から約1時間30分（高速道路利用 鹿児島北IC～東原IC）

ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市 かのや」

鹿屋市は、錦江湾に面した美しい海岸線、壮大な高隈山系などの自然に恵まれ、鹿屋体育大学や県民健康プラザなどの健康・スポーツに関する機関・施設が集積しています。また、日本最大級の「かのやばら園」や吾平山上陵、輝北天球館などの多様な観光・文化資源を有し、基幹産業である第一次産業、中でも黒豚や黒毛和牛を中心とする畜産業は国内トップクラスの産出額になっています。

DATA

教育機関数
保育所、認定こども園、幼稚園等：55
小学校：23、中学校：12、放課後児童クラブ：35、高校：6、大学：1

医療機関数
病院・診療所：70（産婦人科：8、小児科：12を含む）、歯科：47、夜間急病センター：1

主な公共施設
かのやグラウンド・ゴルフ場、
串良平和アリーナ、鹿屋市武道館、
かのやばら園、輝北天球館、
輝北うわば公園キャンプ場、リナシティかのや

主な産業
農林・漁業、卸売・小売業、
製造業、医療・福祉

主な特産品
黒毛和牛、黒豚、地鶏、カンパチ、焼酎
落花生、うなぎ、かのや紅はるか

主なイベント
・エアーメモリアルinかのや（4月）
・かのやばら祭り
（春：4～6月頃、秋：10～11月頃）
・かのや夏祭り（8月）
・鹿屋市農業まつり（11月）
・ツール・ド・おおすみ サイクリング大会（11月頃）

インターネット接続環境
光回線

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント!

「やってみたい仕事ができる・いつでも訪れやすい・子育てしやすい・未来につながる住みよい・ともに支えあい、いきいきと暮らせる」まちを目指しています!!

アドバイス　都会にはない自然（海・山・川）があり、地元産の新鮮な食べ物を堪能しながら美味しい焼酎でだれやめ（晩酌）が進むよかところです。自然豊かでありながら、生活の利便性もあるのが売りの一つです。自家用車がないと行動範囲が限られるので車は必需品です。

かのや移住サポートセンター

暮らしの情報

子育て環境　妊娠、出産、育児を情報等でサポートする母子健康手帳アプリや子育て支援施設の設置、高校卒業までの医療費助成、学校給食費の無償化など、子育て環境の充実に取り組んでいます。

医療環境　市内には、4つの総合病院をはじめ多くの医療施設があり、医療環境は整っています。また、夜間の内科・小児科の急病患者を受け入れる「大隅広域夜間急病センター」を設置しています。

買物環境　中心市街地や国道220号バイパス沿線には、全国チェーンの飲食店や店舗、ショッピングセンターが立地するほか、各所に地元商店街やコンビニエンスストアもあります。

交通環境　主な交通手段は自家用車となります。路線バスや市内巡回バスも運行しており、鹿児島空港、鹿児島中央駅への直行バスもあります。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
空き家バンクを利用して移住された場合に引っ越し費用の補助があります。

市が指定する居住誘導区域において、新築又は中古住宅を購入する場合に費用の一部を補助します。

就農支援
農業や畜産業に関する研修制度や助成制度、職場紹介などの支援を行っています。

起業・創業支援
産業支援センターにて、専門員が起業・創業に関する相談支援を行っています。
（オンライン含む）

移住者の声

東京から移住し、夫婦揃ってテレワークをしています。海上自衛隊があり、学校が転校生の受入れに慣れている印象です。子連れで入りやすい飲食店が多く、無料の子育て支援施設も整備されています。学校給食では地元食材も使用され、子どもたちが自然と良いものを食べて育っています。移住前は引っ越しを嫌がっていた息子が、今では「移住してよかった！」と話しています。私も移住後にできたプライベートな時間を使って息子と一緒に空手を始め、多くの出会いを楽しいと感じています！

大隅 エリア02　たるみずし

垂水市

人口 12,573人・面積162.12㎢（令和６年４月１日現在）

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で1時間15分
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約35分（鴨池垂水フェリー利用 鴨池港～垂水港）

相談窓口
企画政策課 地域振興係
0994-32-1143　t_chiikishinkou@po.city.tarumizu.kagoshima.jp
http://www.city.tarumizu.lg.jp

錦江湾と桜島を目の前に望む緑豊かな町

垂水市は、錦江湾と桜島を目の前に望む37kmの海岸線を有し、鹿児島市と大隅半島を結ぶ要所です。錦江湾では親子でSUPなどのマリンスポーツを楽しめ、市街地から車で10分程の高地では「千本イチョウ」の絶景が広がります。カンパチやブリの養殖、びわやかんきつ類、インゲン等も栽培が盛んです。高隈山系を源に地底から湧き出る温泉水は、健康飲料水として親しまれています。

このマチのアピールポイント！

九つの彩り豊かに 健やかな人を育むまち 垂水

アドバイス

温暖で暮らしやすく、海山の豊かな自然に囲まれた垂水市。県都鹿児島市と 35 分のフェリーで結ばれるなど、大都市と隣り合うアクセスの良さも魅力です。垂水市には「振興会」があります。行政からの文書配布、ごみステーションの管理、地域行事など、無くてはならないものですので、ぜひ振興会へのご入会をお願いいたします。

公式イメキャラ たるたる

DATA

教育機関数
小学校：7、中学校：1、高校：1

医療機関数
医科：8、歯科：6

主な公共施設
垂水市子育て支援センター、
たるみずスポーツランド、垂水市体育館、
垂水市立図書館、垂水市文化会館、
垂水市市民館、キララドームたるみず

主な産業
漁業、農業

主な特産品
焼酎、飲む温泉水、
養殖カンパチ「海の桜勘」、
養殖ブリ「ぶり大将」

主なイベント
・おんだんこら祭り
・カンパチ祭り
・たるみずふれあいフェスタ夏祭り
（花火大会、毎年8月上旬開催）
・秋の産業祭（農水産物等販売、大抽選会等）
・たるみず千本イチョウ祭り
（11月下旬～12月上旬）
・大野原いきいき祭り（毎年12月上旬開催）

インターネット接続環境
光回線（一部）、ADSL、ISDN

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
０歳から高校卒業までの医療費（自己負担分）が無料となるよう助成しています。中心地に公立高校があるほか、鹿児島市内、鹿屋市内等へも通学可能です。

医療環境
垂水中央病院を中心とした医療機関による24時間救急医療・休日当番医・在宅医療体制が整っています。また多くの介護・福祉施設との連携体制を構築しています。

買物環境
国道220号沿いを中心に各種店舗での日用品、２つの道の駅では特産品も購入できます。
また、近隣市へのアクセスも良く、大型商業施設でのお買い物にも便利です。

交通環境
鹿児島市とはフェリーで結ばれ、空港のある霧島市、大隅半島の中心地である鹿屋市と隣接しており、自家用車やバスで移動できます。市内では乗合タクシーもご利用できます。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
垂水市内で住宅を取得した方に対して、取得費の一部を助成します。（取得価格等要件有）

空き家バンク制度による住宅の紹介や、家賃助成（最大３年間）もあります。

子育て支援
高校卒業までの乳幼児・児童生徒に係る医療費自己負担分を助成します。

移住者の声

ホタルが生息するほど水がきれいな場所で、子どもたちと自分たちの手で魅力的な農作物を育てたいと思いこの場所（街）へ移住してから10年と少し経ちました。移住当初は２人だった子どもたちも、今では６人に増え、毎日バタバタと賑やかに暮らしています。小さかった子どもたちも、高校生、中学生にもなり、田んぼや畑を手伝ってくれています。今では、そんな元気いっぱいの子どもたちと、自分たちで種を採って育てる野菜・お米が我が家の自慢です。田んぼ、山、川といった自然の中で家族みんなで暮らせているのが本当に幸せです。これからも、この地で根を張って楽しく暮らしていきたいです。

大隅 エリア03　そおし

曽於市

人口32,590人・面積390.14㎢（令和６年４月１日現在）

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約50分（末吉財部IC）、約1時間（曽於弥五郎IC）
【鉄道によるアクセス】 JR鹿児島中央駅～財部駅（約1時間30分）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約2時間、高速道路利用の場合、約1時間10分（鹿児島IC～末吉財部IC）、都城市内から約20分

相談窓口
企画政策課
0986-76-8802　kikaku@city.soo.lg.jp
http://www.city.soo.kagoshima.jp

豊かな自然の中で みんなが創る 笑顔輝く元気なまち

曽於市は、霧島山系を仰ぎ、白鹿岳・高之峰や大川原峡・花房峡・大鳥峡など風光明媚な景観地と自然に恵まれたまちです。全国でも有数の産出額を誇る農畜産業が、本市の基幹産業です。交通は、JR日豊本線、国道10号が横断し、東九州自動車道のICや都城志布志道路も開通。市内では「思いやりタクシー・思いやりバス」が運行、さらに鹿児島空港、宮崎空港、志布志港にも近く、交通環境にも恵まれています。

このマチのアピールポイント！

悠久の歴史と豊かな自然を抱く、子育てにやさしいまちです。

アドバイス

長い時に培われた歴史と四季折々に彩りを変える豊かな大自然に抱かれ、広大な土地を活用できる、元気で活力ある曽於市に是非お越しください。公共交通機関が発達していないので自家用車が必要となります。

公認ゆるキャラ　そお星人

DATA

教育機関数
小学校：17、中学校：3、高校：1

医療機関数
病院：5、診療所：9、歯科診療所：11

主な公共施設
おおすみ弥五郎伝説の里、
メセナ住吉交流センター、
財部温泉健康センター、
いきいき親水公園、山中貞則顕彰館、
大川原峡キャンプ場、花房峡憩いの森

主な産業
農業、畜産業

主な特産品
ユズ、黒毛和牛、黒豚、弥五郎スイカ、
弥五郎白菜、ネギ、お茶

主なイベント
・溝ノ口岩穴祭り（4月）
・弥五郎どん祭り（11月3日）
・住吉神社の流鏑馬（11月第３日曜日）
・熊野神社の鬼追い（1月7日）

インターネット接続環境
光回線
ケーブルテレビ（一部）

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
0歳から高校卒業時までの医療費（自己負担分）について助成しています。また、第１子・第２子を出産時に祝金5万円、第３子以降を出産時に祝金10万円を支給しています。

医療環境
市内には医療機関や介護・福祉施設が十分にあり、また、近隣の都城市は医療提供体制が整っており、医療環境は充実しています。

買物環境
市内にはスーパー、ホームセンター、小規模店舗や生産者直売所（道の駅）が多数あり、不便を感じることはありません。都城市の店舗も日常的に利用されています。

交通環境
主な交通手段は自家用車となり、JRや路線バスも利用できます。また、市内ではコミュニティバスや乗合タクシーを利用することができます。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
宅地分譲を実施するとともに、住宅を新築・購入した方に対し、お祝いとして商品券及び現金を支給します。

就業支援
市内に居住し、新しく農業・畜産業・商工業に従事する方に補助金を交付します。

子育て支援
お子さんを出産された場合に出産祝い金を支給します。また、子ども（高校卒業まで）の医療費を助成します。

移住者の声

いろんな行事や奉仕活動などが多く、道具をそろえていくうちに自分で畑を貸り野菜を育てるようになりました。農業のプロが多くアドバイスをいただいています。職業も多種多様の人がいて、困ったことがあれば手伝ってもらいながら人付き合いの大切さを痛感しています。

大隅エリア04　しぶしし

志布志市

人口28,886人・面積290.27㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
総合政策課 広報・地域政策グループ
099-472-1111　tiikiseisaku@city.shibushi.lg.jp
https://www.city.shibushi.lg.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で1時間30分、高速道路利用の場合、1時間10分（溝辺鹿児島空港IC～曽於弥五郎IC）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約1時間35分（高速道路利用 鹿児島IC～曽於弥五郎IC）

志と笑顔あふれるまち

志布志市は、藩政時代には京阪神地方および南西諸島との交易が盛んで「志布志千軒の町」と呼ばれるほど栄えました。その港を中心に、病院や商店街、ショッピングセンターも整備されており大変便利です。山あり、川あり、海ありの自然豊かなまちで、とくに志布志湾沿岸は景勝に恵まれ、マリンスポーツや魚釣りなどの海洋性レクリエーションの場として、観光需要が増大しています。

このマチのアピールポイント！

自然豊かな環境で楽しむ ワーケーション

アドバイス

志布志市移住・交流支援センターは移住相談をはじめ情報発信やイベント企画など人の流れを創る場所です。新たに増設したコワーキングスペースでは二拠点生活の方のご利用をお待ちしております。
TEL：099-401-0405　WEB：https://will424.com/

DATA

教育機関数
小学校：16、中学校：5、高校：2

医療機関数
病院：2、診療所：16、歯科診療所：12

主な公共施設
総合公園（体育館等）、テニスコート、屋内温水プール、市民グラウンド、文化会館、ふれあいセンター、図書館、農業歴史資料館、歴史民俗資料館、埋蔵文化財センター

主な産業
農業、畜産業、漁業

主な特産品
お茶、芋焼酎、うなぎ、ピーマン、いちご
黒毛和牛、黒豚、地鶏、ちりめん、そば

主なイベント
・お釈迦まつり（4月29日）
・志布志みなとまつり（7月下旬）
・大隅の國やっちく松山藩「秋の陣まつり」（11月上旬）

インターネット接続環境
光回線

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
出産した際には、出産祝金（10万円）制度があり、全ての児童の保育料と学校給食費、高校終了時まで医療費を全て無償化しております。

医療環境
市内には、病院2件、診療所28件（内科・外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・歯科等）があり、安心して日常生活を送ることができます。

買物環境
市街地にはショッピングセンター、各種店舗があり、日常生活で不便することはありません。志布志市は食に力を入れているため、おいしい飲食店が充実しています。

交通環境
主な交通手段は自動車となりますが、JRや路線バスも運行しています。自動車等の移動手段がないと、日常生活で不便に感じることがあるかもしれません。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援

定住を支援するため、自らが居住する住宅（中古住宅を含む）を取得された方へ、補助金を交付します。（定住支援事業）

移住に前向きな方を対象に「お試し移住体験」を実施しています。宿泊費・食費・交通費を助成します。

市が空き家情報の提供を行います。（空き家バンク）

子育て支援

子育て支援の詳細については「子育て応援サイト」をご覧ください。
（下記QRコードより）

移住者の声

縁あって志布志を訪れるうちに「ここで暮らしたいな」と思い、家族で移住しました。今まで住んでいた所には海がなかったので、家族でビーチに行ったりとすごく幸せな気持ちになります。人も暖かくて、志布志に来て本当に良かったと感じています。自然豊かな環境なので色んなスポット巡りも楽しみです。
（東京都から移住）

大隅エリア05　おおさきちょう

大崎町

人口12,006人・面積100.64㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画政策課
099-476-1111　kikaku@town.kagoshima-osaki.lg.jp
http://www.town.kagoshima-osaki.lg.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約1時間（高速道路利用 溝辺鹿児島空港IC～大崎IC）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約1時間40分（鴨池港～垂水港 フェリーで約40分、垂水港から車で1時間）
鹿児島市内から約1時間30分（高速道路利用 鹿児島IC～大崎IC）

どきどき。 おおさき。

大崎町は、南部が豊かな水産物をもたらす志布志湾に面し、北部にかけて多くの農畜産物を育む広大な大地が広がる「食材の宝庫の町」で、うなぎ、マンゴー、サツマイモなど多くの特産品に恵まれています。また、７kmにおよぶ白砂青松の海岸線を有し、５月から８月にかけてウミガメが産卵のため上陸する自然豊かな町です。

このマチのアピールポイント！

国内トップクラスの陸上トレーニング施設を体験してみませんか。

アドバイス

町内にある「ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅」は陸上競技等のトレーニングに最高の練習環境です。移住対策として、最大310万円の住宅取得補助等を行っています。

DATA

教育機関数
小学校：6、中学校：1

医療機関数
診療所：3、歯科診療所：5

主な公共施設
ふれあいの里公園、町総合体育館
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅

主な産業
農業、漁業、畜産業、建設業、製造業

主な特産品
うなぎ、温室マンゴー、菜種油、パッションフルーツ、大根、ブロイラー

主なイベント
・カブト虫相撲大会（7月）
・ビーチスポーツフェスタ（8月）
・七夕さぁ（8月）
・ふれあいフェスタinおおさき（11月）

インターネット接続環境
光回線、ADSL、ISDN

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
０歳から高校卒業までの子どもの医療費については、保険診療の自己負担分を全て助成しています。
保育所利用負担金も無料となっています。（０歳から）

医療環境
産科・小児科に関しては近隣市町の医療機関を利用することになりますが、医療・介護・福祉施設に関しては町内に環境が整っています。

買物環境
スーパー、コンビニ、商店街があり、日常的な買い物には困りません。新鮮な食材が購入できる物産館や直売所もあります。

交通環境
主な交通手段は自家用車となります。また、その他に近隣市町への移動はバスを利用することができます。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援

町で移住者の受け入れから事業の引き継ぎまで、全面的にサポートする事業承継プログラムがあります。

住宅を取得（中古含む）して定住する方に対して、取得に要した費用の一部を助成します。

町のホームページなどで空き家情報の提供を行います。（空き家バンク）

就業支援

大崎町に移住し、新たに農業に従事する方に対し、必要な資金を助成します。

移住者の声

リサイクル率日本一を獲得していると聞き、環境にやさしい地域であることに未来を感じて移住しました。
マンゴーや鰻など特産品も豊富で、友人や家族に贈れることや、車で10分ほど走ればウミガメの産卵地帯にもなっている海岸に行くことができ、自然の豊かさを実感します。

大隅 エリア06　ひがしくしらちょう

東串良町

人口 6,388人・面積 27.78㎢（令和６年４月１日現在）

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約1時間20分（高速道路利用 溝辺鹿児島空港IC～野方IC）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約1時間50分（鴨池港～垂水港 フェリーで約35分、垂水港から車で約1時間15分）

相談窓口
企画課
0994-63-3122　kikaku@higashikushira.com
http://www.higashikushira.com

家族で見たい景色があります

東串良町は大隅半島の中央部に位置し、一年間を通じて温暖な気候で雪もほぼ降りません。高低の差が少ないため移動もしやすく、なだらかな地形を利用した施設園芸と超早場米の一大産地です。町の周辺には、恵まれた自然と、買い物や子育てに便利な商業地域があり、自宅から天の川や打ちあがるロケットも見られる、都会にはない感動のある町です。

このマチのアピールポイント!

白砂青松の柏原海岸と、稔り豊かな田園や自然に囲まれた土地で生活してみませんか。

アドバイス　移住体験用の住宅が利用できます。移動手段として自家用車が必要となりますが、ちょうどいい町、東くしらをご体感ください。

東串良町マスコットキャラクター ルピノン

DATA

教育機関数
小学校：2、中学校：1

医療機関数
診療所：4、歯科診療所：1

主な公共施設
東串良町総合体育館、
東串良町町民運動場、
東串良町総合センター

主な産業
農業、漁業、畜産業、建設業

主な特産品
ピーマン、キュウリ、チリメン、
つけあげ、けせん団子、ゆべし

主なイベント
・ルーピン祭り＆潮干狩り（4月中旬）
・柏原大相撲（4月中旬）
・農業祭＆ピーマン狩り（6月上旬）
・ぎおん祭り（8月中旬）

インターネット接続環境
光回線

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境　保育園4・幼稚園1・小学校2・中学校1校が町内にあり、高校は近隣市町に通います。子育て支援として高校生までの医療費の全額を助成しています。

医療環境　本町内には、内科が3件、歯科が1件、整形外科が1件と医療機関は整っており、隣町には産婦人科もあります。

買物環境　中型スーパーが5カ所、コンビニが2カ所、ホームセンター1カ所、衣料品店1カ所などがあり、日常に必要な買い物は町内で済ますことができます。

交通環境　主な交通手段は自家用車となりますが、近隣市町へはバスをご利用頂けます。

移住者に対する主な受入対策

子育て支援
子ども（高校卒業まで）の医療費の一部負担金の全額を助成します。
町内小・中学校に通う児童・生徒の給食費を助成します。（月額2千円助成）

住宅関係支援
本町へ移住してくださる皆様に対し住宅取得にかかった経費の一部を助成します。
新築：最大115万円
購入：最大 55万円

就業支援
新しく農業を始めた方で農業青年クラブ（4Hクラブ）に加入し、1年以上農業に従事した方に、奨励金5万円を交付します。

移住者の声

大隅半島は、新鮮な美味しい食材が安く手に入るところだな、と感じています。自宅や地域の施設で料理教室をしているのですが、参加される「お母さん」が、料理はもちろん、楽しい時間を過ごせる場をつくっていきたいです。

大隅 エリア07　きんこうちょう

錦江町

人口 6,263人・面積 163.19㎢（令和６年４月１日現在）

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約2時間10分、高速道路利用の場合、約1時間45分（溝辺鹿児島空港IC～鹿屋串良JCT）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約1時間30分（鴨池港～垂水港 フェリーで約35分、垂水港から車で約55分）

相談窓口
錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会/錦江町 未来づくり課
0994-25-1001　info@kinko-mirai.com
http://www.town.kinko.lg.jp

子や孫のために希望あふれる未来を創り、つなごう！

錦江町は東側に肝属山地、西側は鹿児島湾に面しており、南には九州本島最南端の佐多岬があります。町内高低差の影響で、南国的な気候の海浜地域と積雪もある山間地域があり、自然の多様性を感じることができます。また稲生岳周辺の照葉樹林帯は西日本最大級の広さで原生林が古来の姿で残っています。

このマチのアピールポイント!

あなたの“叶えたい事・やりたい事”を応援するまち。

アドバイス　錦江町では、移住者のみなさまのサポーターとして「錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会」のメンバー、理事（町民）、先輩移住者、役場担当者が全力でほど良く移住に向けてのお手伝いをします。相談を経てご自身で下見来町される際は、交通費の一部も支援していますので、お気軽にご相談ください。

私たちがあなたの移住をサポートします！
未来づくり課

DATA

教育機関数
小学校：6、中学校：2

医療機関数
病院：1、診療所：6、歯科診療所：4
※医師会立病院があります。

主な公共施設
錦江町文化センター、錦江町総合交流センター
錦江町総合運動公園、神川キャンプ場、
花瀬自然レクリエーション村

主な産業
農業、畜産業、水産業

主な特産品
新じゃがいも、インゲン、かぼちゃ、
お茶、けせん団子、ヒラマサ

主なイベント
・花瀬公園まつり（4月）
・照葉樹の森サイクルジャンボリー（5月）
・錦江レゲエ浜祭り（7月）
・やまんなか音楽会（8月中旬）
・でんしろうトレイル（11月）
・大根やぐらライトアップイベント（12月）

インターネット接続環境
光回線（一部地域を除く）、ADSL、ISDN

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境　子育て支援センターがあり未就学児とその保護者を対象に、子育て相談や遊びの場の開放、ママたちのための手芸や料理などのサークル活動など様々な活動を通して子育てをサポートしています。（利用料金は無料）

医療環境　町内には、地域基幹病院の肝属郡医師会立病院をはじめ、11の医療機関、6つの介護・福祉施設があります。

買物環境　町内には、スーパーや小規模店舗があり、日常的な買い物には困りません。
週末には、町外の量販店を利用することもあります。

交通環境　主な交通手段は自家用車となりますが、町内中心地を巡回しているバスや郊外からのコミュニティバスを無料で利用することができます。

移住者に対する主な受入対策

子育て支援
- 乳幼児期の定期予防接種を全額助成しています。
- 幼稚園及び保育所の保育料についても助成を行っております。

移住者の声

2021年に、地域おこし協力隊になるため移住しました。
最初はどんな生活になるかと不安でしたが、町の皆さんが優しくて、いつの間にか地元のような安心感で馴染むことができました。
隣のおばあちゃんから野菜をもらったり、同じ職場の人に釣りに連れて行ってもらったり、田舎ライフを楽しんでいます。特に移住者はやりたい事やなりたい姿を持った人が多く、仕事に真摯に向き合う姿に日々刺激を受けて頑張れています。（東京都清瀬市から移住）

大隅エリア08　みなみおおすみちょう

南大隅町

人口6,059人・面積213.61㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画観光課
0994-24-3113
kikakuka@town.minamiosumi.lg.jp
https://www.town.minamiosumi.lg.jp

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約２時間（高速道路利用 溝辺鹿児島空港IC～鹿屋串良JCT）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約1時間35分（鴨池港～垂水港 フェリーで約35分、垂水港から車で約1時間）

北緯31度 本土最南端のまち南大隅町

大隅半島の最南端に位置する南大隅町は、温暖な気候と三方を海に囲まれた風光明媚な景色や豊かな自然が残る町です。本土最南端「佐多岬」の再開発を観光の重点事項として進めながら、基幹産業である第一次産業にも力を入れ、中でも「育てる漁業」へ転換した「ねじめ黄金カンパチ」は県内外で高い評価を得ています。また、和牛や黒豚など付加価値の高い畜産・農業に取り組んでいます。

このマチのアピールポイント!

「海・山・川」三拍子揃った
歴史と自然豊かな町です。

アドバイス　積雪の心配がなく、冬でも農業が可能なため四季の旬が楽しめます。地価が安いため比較的広めの住家があり、ペットと暮らすことにも適していますが、自動車等の移動手段の確保が必要です。

南大隅町ＰＲキャラクター
みさきちゃん

DATA

教育機関数
小学校：2、中学校：2、高校：1

医療機関数
病院：2、町立診療所：4、
歯科医院：1、歯科診療所：2

主な公共施設
根占体育館、根占ふれあいドーム、
図書館、山村交流施設、
みなと公園、根占自転車競技場

主な産業
農業、漁業、畜産業、林業、建設業、
製造業、医療、福祉、観光業

主な特産品
ビワ茶、ポンカン・タンカン、
不知火、ねじめ黄金カンパチ、馬鈴薯

主なイベント
・南大隅町夏祭り（8月）
・佐多岬マラソン（12月）
・御崎祭り（2月）

インターネット接続環境
光回線、ADSL（一部）

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境　誕生した子どもへのお祝い金の支給や、保育料の全額助成、高校卒業までの医療費について自己負担が無料となるよう助成を行っており、子育てしやすい環境です。

医療環境　開業医、町立診療所の医療施設があり、町外の医療機関との連携で整形外科医師の派遣もあります。また、3市5町で鹿屋市に夜間急病センターを運営しています。

買物環境　生産者直売所や物産館、スーパー、コンビニもあり、生鮮食料品や日常品雑貨等は、町内で購入できます。近隣市町にショッピングセンターもあります。

交通環境　主な交通手段は自家用車ですが、コミュニティバスや一部地域で乗合タクシーを運行しています。また、国道269号は路線バスが運行されています。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
町外から移住し住宅を新築・購入する方に対して最大100万円を補助し、賃貸希望者がいる空き家の改修費については最大50万円を補助します。

子育て支援
誕生した子どもへお祝金を支給します。（第1子5万円、第2子10万円、第3子は4歳になるまで毎年10万円、第4子は毎年20万円）

就業支援
町内に居住し農業を志す方を対象として、その就農形態により区分して、就農奨励金を交付します。

移住者の声

移住当時、旧根占町で奨励していた「若い農業者入植促進事業制度」を活用し就農しました。ピーマン農家として南大隅の中核を担うまでに成長し、現在では紅茶・米・小麦も栽培しています。地域の人にも温かく迎えていただきました。買い物も不便なく、子育てや老後にも暮らしやすい環境だと思います。（東京都から移住）

大隅エリア09　きもつきちょう

肝付町

人口13,878人・面積308.10㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
きもつき移住サポートセンター
0994-65-8426
ijuu-support@town.kimotsuki.lg.jp
https://kimotsuki-town.jp/ijuu

【空港からのアクセス】 鹿児島空港から車で約70分（高速道路利用 溝辺鹿児島空港IC～笠之原IC）
【自動車でのアクセス】 鹿児島市内から約100分（鴨池港～垂水港 フェリーで約35分、垂水港から車で約65分）

「東洋のフロリダ」きもつき

大隅半島の真ん中！ 肝付町はその美しい海岸線とロケット発射場があることから、「東洋のフロリダ」とも呼ばれています。人工物の一切ない海岸と、あの小惑星探査機「はやぶさ」が永い航海に旅立った肝付町は、自然と未来が融合する魅力あふれるまちです。

このマチのアピールポイント!

鹿児島随一！ ウミガメが産卵に訪れる、
手つかずの自然が残るまち

アドバイス　肝付町には、白い砂浜の広がる人工物のない海岸があり、毎年ウミガメが産卵に訪れています。山村留学では、ウミガメを学ぶ授業も取り入れており、鹿児島水族館と提携してウミガメの保護活動・環境教育を行っています。自然豊かで食材にも恵まれた肝付町には、移住者が急増しています。お試し住宅も準備していますので、ぜひ一度肝付町での暮らしを体験してみてください！

DATA

教育機関数
小学校：5、中学校：5、義務教育学校：1、
高等学校：1

医療機関数
病院：2、診療所：7、歯科診療所：6

主な公共施設
やぶさめの里総合公園
（高山温泉ドーム・やぶさめ館）、
内之浦宇宙空間観測所、
肝付町文化センター、
内之浦銀河アリーナ

主な産業
農業、漁業、林業、畜産業

主な特産品
黒毛和牛・黒豚・伊勢海老
かんぱち・辺塚だいだい

主なイベント
伊勢海老（えっがね）祭り
やぶさめ祭り（10月第３日曜）
銀河マラソン（11月）

インターネット接続環境
光回線

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境　町内居住で町内外の保育園や認定こども園に通う満3歳以上の児童を対象とした、給食費の内の副食費部分を補助する「幼児教育・保育の無償化食材費補助」や、０歳から18歳までの医療費が自己負担分無料となる助成制度があります。

医療環境　一般的な病気・ケガは町内の医療機関で対応可能ですが、産婦人科・小児科の受診や夜間診療は、隣接する鹿屋市の医療機関を利用する場合が多いです。

買物環境　生鮮食品や日用品雑貨等は町内のスーパーやホームセンターを利用します。その他の買い物には、近隣市町村のショッピングセンターを利用する場合が多いです。

交通環境　主な交通環境は自家用車ですが、交通弱者をサポートする「おでかけタクシー」があり、高齢者から好評をいただいています。

移住者に対する主な受入対策

移住相談支援
移住のワンストップ窓口として「移住サポートセンター」を設置し、実際の移住者が常駐。
【お試し居住】
1号棟「里山の音（ね）」
徒歩圏内にスーパー・コンビニ有り。
2号棟「海辺の音（ね）」令和5年オープン。
人気の内之浦海岸がすぐ近く。

住宅関係支援
・町がホームページ上で、空き家情報の提供を行います。（空き家バンク制度）
・町内に住宅を取得する定住者に対して、助成金を交付します。

移住者の声

「山村留学制度」を活用して子供と移住しました。子育て世代から評価の高い肝付町ですが、美しい海のある暮らしのなかで、子供の成長を見守る毎日です。
また、地産地消の意識が高く、安心・安全で安価な地元食材が溢れており、私も子供も大満足をしています。

熊毛エリア01　にしのおもてし

西之表市

人口13,706人・面積205.57㎢（令和6年4月1日現在）

相談窓口
地域支援課 協働推進係
0997-22-1111
shiminkatudo@city.nishinoomote.lg.jp
https://www.city.nishinoomote.lg.jp

【飛行機によるアクセス】　鹿児島空港～種子島空港（約35分）、種子島空港から車で30分
【船によるアクセス】　鹿児島本港～西之表港（高速船 約1時間35分、フェリー 約3時間30分）

ご縁でつながる島ぐらし
～人・自然・文化-島の宝が育つまち～

全国有数のサーフィンのメッカとして知られるサーフアイランド、種子島の北部に位置する西之表市は、物流・経済・行政の中心地。全国的に有名な「安納いも」の発祥の地で、農業を中心に、観光・交流を推進しています。また、全国の自治体で初めて「ヨガの聖地®（令和２年６月１日（一社）全日本ヨガ連盟選定）」として認定されています。
人と人とのご縁を大切に、島で子育てをしたいというUIターン者もいます。人情あふれる島人たちに囲まれ、安らぎを感じることができる島です。

DATA

教育機関数
小学校：11、中学校：1、高校：1

医療機関数
病院：2（総合病院1含む）、診療所：2（産婦人科医院１含む）・歯科診療所：5

主な公共施設
市民会館、市勤労青少年ホーム、市立図書館、子育て支援センター、市民体育館、市営グラウンド、わかさ公園、美浜公園グラウンド、あっぽ～らんど

主な産業
農業、観光業

主な特産品
種子鉄・包丁、安納いも、黒糖、トビウオ、トコブシ、種子島焼

主なイベント
・種子島鉄砲まつり（8月）

インターネット接続環境
光回線

このマチのアピールポイント!

生活インフラの整った島暮らし。それが種子島 西之表市。

アドバイス　“島暮らし”と聞くと、自然はあるが、生活しにくいというイメージがありますが、種子島西之表市には、生活に必要な買物施設やネット環境が整っており、自然の中で、安心して日常生活をおくることができます。

ゆるキャラ「火縄銃兵衛とわかさ姫」

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
小・中学校入学祝金支給、小・中学校給食費無償、0歳児から18歳までの医療費を助成、子育て応援券の支給や子育て支援センターなど様々な子育て支援を実施しています。

医療環境
総合病院をはじめ、医療機関や介護・福祉施設があり、医療環境は整っています。産科も緊急外来に対応できる体制を構築しています。

買物環境
生鮮食品や日用品雑貨等は市内のスーパーやホームセンターを利用します。その他の買い物は、ショッピングセンターを利用する場合が多いです。

交通環境
主な交通手段は自家用車ですが、乗合タクシーを利用できます（乗合タクシーは事前予約が必要）。また、市街地は巡回バスが利用できます。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援

住宅関係支援
定住促進住宅の設置、過疎地域に定住する方に民間賃貸住宅の家賃・リフォーム・DIY補助金、住宅建築購入補助金の制度があります。

移住支援
移住・交流希望者を対象とした、西之表市市交流体験（短期滞在型）住宅があります。

空き家バンク
移住希望者も入ることができる空き家バンク制度があります。

子育て支援

・小・中学校入学祝金支給
・小・中学校給食費無償
・子育て応援券（出生時6万円分、満1歳児1.2万円分）を配布
・0歳～18歳までの医療費（保険診療）が無料
・教育・保育施設利用負担金（保育料）を国より低い基準にしています。
・放課後児童クラブ11ヶ所、児童館・児童センター各１ヶ所設置しています。

就業支援

就職奨励金
就労を目的に移住する方や、新規学卒者等で市内事業所に就職する方に対し、就職奨励金を準備しています。（住民登録必須）

移住者の声

2016年8月に東京から家族で移住しました。移住のきっかけは、子どもが生まれたタイミングで、自然が多いところで子育てをしたいと思い、東京で開催された移住フェアのブースで種子島の説明を受け、興味を持ったのがきっかけでした。
色々と移住先の候補があった中、種子島の豊かな自然ももちろんですが、人の温かさが移住の決め手でした。種子島は明治期より移住の島として、様々な地域の人をあたたかく受けて入れてきた歴史があり、私たち家族にもとても親切に手を差し伸べてくれました。子どもも伸び伸び育って、大変なこともありましたが、今は移住して本当に良かったと思います。（東京都から移住）

熊毛エリア02　なかたねちょう

中種子町

人口7,182人・面積137.82㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画課
0997-27-1111（内線300）
naka-kikaku@town.nakatane.kagoshima.jp
http://town.nakatane.kagoshima.jp

【飛行機によるアクセス】　鹿児島空港～種子島空港（約35分）（種子島空港立地町）
【船によるアクセス】　鹿児島本港～西之表港（高速船 約1時間35分、フェリー 約3時間30分）、西之表港から車で約30分

人の和と豊かな実りに新たな希望が持てるまち

中種子町は、種子島の中央部に位置し、空の玄関「種子島空港」のある町です。エメラルドグリーンの海に囲まれ、町の西側にある全長 12km の長浜海岸はウミガメの産卵地としても知られます。近年はマリンスポーツが盛んで、サーフィンやスキューバダイビングを楽しみに訪れる観光客も多く、特にサーフィンは年間を通じて行えるため全国でも有望なサーフィンのメッカとなっています。

DATA

教育機関数
小学校：7、中学校：1、高校：1、特別支援学校：1

医療機関数
診療所：3、歯科診療所：3

主な公共施設
種子島中央体育館、種子島こりーな、流水プール、温泉保養センター、自然レクリエーション村

主な産業
農業

主な特産品
種子島むらさき、芋焼酎、安納芋、マンゴー 、キビナゴ、トコブシ、トビウオ

主なイベント
・よいら～いき祭り（8月）
・農林漁業祭（11月）

インターネット接続環境
光回線、ADSL

このマチのアピールポイント!

中種子町は、温暖な気候、豊かな自然 福祉の充実したまちです。

アドバイス　中種子町は、温暖な気候、豊かな自然、福祉の充実など、「第２のふるさと」としての魅力を感じていただけると思います。本町へ興味を持たれた方は、お気軽に中種子町企画課へお問い合わせをお願いします。

中種子町マスコットキャラクター ベニーちゃん

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
幼稚園、保育所、小学校、中学校、高校が町内にあります。また、高校までの医療費の自己負担分全額を助成しています。島内に産婦人科医院もあります。

医療環境
町内に医院3カ所、歯科医院3カ所、整骨院3カ所があります。診療科目は、内科、胃腸器科、呼吸器科、泌尿器科、皮膚科が 受診できます。

買物環境
生鮮食品や日用品雑貨等は商店街やスーパーを利用します。また、ドラッグストアやホームセンターもあり、日常で必要なものは、ほぼ不自由なく入手可能です。

交通環境
主な交通手段は自家用車ですが、コミュニティバスや乗合タクシーを利用することもできます。また、町内には種子島の空の玄関口である種子島空港があります。

移住者に対する主な受入対策

子育て支援

子ども（高校卒業まで）に係る医療費自己負担分を助成します。

子の出生時に、子育て支援として商品券（第1子5万円、第2子10万円、第3子20万円、第4子以降30万円）を支給します。（出産前に引き続き3カ月以上町内に居住しているとき）
※希望により、祝い金額の半額まで現金で受給できます。

住宅関係支援

・定住促進住宅整備事業補助金
I・Uターン者及び地域後継者に貸す目的で空き家を改修でき、最大30万円の補助を受けられる支援です。空き家所有者向けの支援ですが、利用者（入居者）も支援を受けられます。
・地域定住支援事業補助金
指定地域への定住を支援することにより、中種子町の均衡のある発展と活力に満ちた地域づくりの推進する支援制度です。
指定地域：星原、納官、増田、油久、南界、岩岡校区
支援対象者：満50歳以下の夫婦世帯若しくは父子、母子世帯 等
※上記ふたつの支援制度は他に条件があります。

移住者の声

東北で生まれ育ち、東京で仕事をしたのちに夫婦揃って移住しました。海で遊べる時期が長く、採れる農作物も種類が豊富で、自然と共生したい人に適した環境です。車がないと不便ではありますが、スタッドレスタイヤが要らないことに感動しました。今は商店街の中に交流スペース兼ゲストハウスを運営し、島内外の人で賑わう居場所づくりをしています。
温かい地元の方々ともふれあいながら、日々充実しています。

熊毛エリア03　みなみたねちょう

南種子町

人口5,135人・面積110.36㎢（令和6年4月1日現在）

相談窓口
企画課 観光経済係
0997-26-1111
kankou2@town.minamitane.lg.jp
http://www.town.minamitane.kagoshima.jp

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～種子島空港（約35分）、種子島空港から車で約40分
【船によるアクセス】 鹿児島本港～西之表港（高速船 約1時間35分、フェリー 約3時間30分）、西之表港から車で約1時間

宇宙と歴史のHOT LINE

南種子町は、大隅諸島の一つである種子島の南端に位置し、気候は温暖で平均気温が約19度。青い空と澄んだ海、豊かな自然に囲まれた、人情豊かな町です。1543年、漂着した船に乗っていたポルトガル人によって、鉄砲が伝えられたという歴史的な由来を持ちます。また、日本の科学の粋を集めた種子島宇宙センターがあり、歴史と未来が共存する町といえます。

このマチのアピールポイント!

日本屈指のサーフポイントとして
人気の南種子町へようこそ。

アドバイス

美しい自然と国内唯一の大型ロケット発射場「種子島宇宙センター」があるまちです。また、日本屈指のサーフポイントとしてサーフィン愛好家にも人気があります。
島内の移動には、自家用車が必要です。地域行事への積極的な参加をお願いします。

南種子町公式キャラクター
宙太くん

DATA

教育機関数
小学校：8、中学校：1

医療機関数
病院・医院：2、歯科医院：1

主な公共施設
農業者トレーニングセンター、クラブハウス、河内温泉センター、宇宙ケ丘公園、健康公園（野球場・サッカー場・多目的広場）

主な産業
農業・漁業・観光業

主な特産品
安納いも、インギー地鶏、トコブシ、トビウオ、赤米、早場米、ポンカン、タンカン

主なイベント
・ロケット祭（毎年8月開催）
・ふるさと祭（11月2・3日）

インターネット接続環境
光回線、ADSL

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
0歳から高校卒業までの医療費（自己負担分）を助成しているほか、出生祝金として、生まれた子ども1人につき10万円から支給しています。

医療環境
町内には、公立種子島病院をはじめとする病院・クリニックが2施設、歯科医院が1医院、その他薬局や老人福祉施設があります。

買物環境
中心市街地には、食品スーパーやコンビニ、町営の観光物産館「トンミー市場」があります。

交通環境
主な交通手段は自家用車ですが、コミュニティバスやタクシーを利用することもできます。そのほか島の基幹道を路線バスが運行しています。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
町のホームページ等で空き家情報の提供を行います。（空き家バンク制度）

就業支援
新しく農業・漁業などを始める方に、生活支援・機械購入支援などを行います。

移住者の声

2011年冬、転勤が多かったので子どものために脱サラして家族で移住。地元の方も温かく迎えてくださいました。サーフィンも本格的に始め、海でたくさんの友人もでき、仕事や住居を紹介してもらいました。子どもも小学生になり、小さい学校ながらのびのびと勉強・運動に充実した生活を送っています。（東京都から移住）

熊毛エリア04　やくしまちょう

屋久島町

人口11,328人・面積540.48㎢（令和6年4月1日現在）

相談窓口
観光まちづくり課
0997-43-5900
ijyu@town.yakushima.kagoshima.jp
http://www.town.yakushima.kagoshima.jp

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～屋久島空港（約40分）
【船によるアクセス】 鹿児島本港～宮之浦港（高速船 約1時間45分、フェリー 約4時間）、鹿児島本港～安房港（高速船 約2時間）

自然と人との共生をめざす町 屋久島町

屋久島町は、鹿児島県本土の南方60kmに位置し、世界自然遺産の島・屋久島と美しい緑の火山島・口永良部島の2つの島から構成されています。屋久島は、九州最高峰の宮之浦岳をはじめ、1000m以上の山々が連なり、樹齢千年を超える屋久杉などの原生林や美しい海岸、川、滝などがあり、自然環境に恵まれています。また、口永良部島はひょうたんの形をした島で、全域が国立公園に指定されています。

このマチのアピールポイント!

山と海に囲まれた豊かな自然と多彩な地域文化が
息づく町、屋久島町を故郷にしてみませんか。

アドバイス

住居は、余裕をもって探されたほうが良いです。住みたい場所にすぐには家が見つからない可能性があります。また、仕事についても都会と比べ求人の種類や数が少ないので、こちらも余裕をもって探されるほうが良いです。自家用車は必要です。

DATA

教育機関数
小学校：9、中学校：4、高校：1

医療機関数
総合病院：1、診療所：9、歯科診療所：4

主な公共施設
健康の森公園、
健康の森公園陸上競技場、
安房体育館、宮之浦総合グラウンド、
宮之浦体育館、宮之浦野球場

主な産業
農業、漁業、観光業

主な特産品
ぽんかん、たんかん、トビウオ、
首折れサバ、屋久杉加工品、屋久とろ

主なイベント
・屋久島ご神山祭り（8月）
・屋久島夢祭り（11月）
・サイクリング屋久島（2月）

インターネット接続環境
光回線

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
豊かな自然の中でのびのびとした子育てができます。町内に保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校があり、教育環境は充実しています。

医療環境
町内には、総合病院をはじめ、個人病院や町営診療所等があります。口永良部島では、出産にかかる旅費や宿泊費の一部補助があります。

買物環境
町内のほとんどの集落に個人商店があります。さらに、スーパーやドラッグストアがあり、日常生活用品には困りません。

交通環境
主な交通手段は自家用車ですが、路線バスやタクシーも利用できます。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援

・**住宅取得・改修補助**
本町に転入する方で、新築/中古物件を取得する方、引越時に係る荷物の運搬料・自動車航送料の経費がかかった方、転入し中古物件を取得する方等に費用の一部を補助します。（要件有）
・**家賃補助**
民間の賃貸住宅に転入した世帯を対象に、最長2年間の家賃補助や、初期費用（礼金/仲介手数料/家賃支払保証料）の一部を補助します。
・**移住体験**
入居可能期間が3か月以上1年以内で屋久島での暮らしを体験できる住宅が4棟あります。（募集期間は空き次第随時）

子育て支援
町内に住所がある方が出生した場合、第1子及び第2子は10万円、第3子以降には20万円を支援します。
子ども（高校生以下）の医療費について、支払額の一部（自己負担分）を助成します。

移住者の声

「シンプルな暮らし」という言葉が一番しっくりくる屋久島の生活。大自然の島というイメージのとおり、海も山も近く、釣りや登山が趣味であれば退屈しないでしょう。集落の行事も参加してみると楽しく、移住者が地元に馴染むよい機会だと思います。大きな店で買い物もでき、不便は感じません。（京都府から移住）

大島エリア01　あまみし

奄美市

人口40,255人・面積308.33㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画調整課
0997-52-1111
shiminkyodo@city.amami.lg.jp
http://www.city.amami.lg.jp

【飛行機によるアクセス】　鹿児島空港～奄美空港（約1時間）、奄美空港～奄美市名瀬（車で約50分）、奄美空港まで東京（羽田）から約2時間15分/東京（成田）から約2時間20分/大阪（関空）から約1時間40分/大阪（伊丹）から約1時間45分/福岡から約1時間25分

【船によるアクセス】　鹿児島港～名瀬港（約11時間）※毎日航海

東京・大阪・福岡から飛行機1本で行ける南の島へようこそ

奄美市は、鹿児島と沖縄のほぼ中間に位置する奄美大島にあり、亜熱帯海洋性気候の豊かな自然と、島唄や八月踊りなどの、独特の伝統文化を持つ市です。また「癒し・長寿・子宝」の島と形容され、自然のリズムに近い生活、豊かな人情が今も残っています。これを契機に奄美をより深く理解していただき、ぜひ一度ご来訪ください。島のゆったりとした時間と空間で、お待ちしています。

DATA

教育機関数
小学校：21、中学校：12、高校：3

医療機関数
病院：7、診療所：29、歯科診療所：21

主な公共施設
奄美市名瀬運動公園、
太陽が丘総合運動公園、奄美体験交流館

主な産業
農業、観光業、建設業、製造業、医療・福祉

主な特産品
本場奄美大島紬、黒糖焼酎、たんかん、マンゴー、パッションフルーツ

主なイベント
・奄美まつり
（8月の第1日曜日を最終日とする3日間）
・あやまる祭り（8月の第2日曜日）
・三太郎祭り（8月中旬）

インターネット接続環境
光回線、ADSL

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント！

都市機能と豊かな自然の両方を有する県内で１番大きな島です。

アドバイス　地域活動にしっかりと参加していくことが、奄美で楽しく生活していくポイントです。ありのままの自然を堪能できるだけでなく、主要都市からのアクセスも良好であり、医療機関も充実しておりますので安心して南の島生活を送ることができます。

奄美市公式キャラクター
コクトくん

暮らしの情報

子育て環境　幼稚園、保育所から高等学校まで充実しており、０～18歳までの医療費の助成や、保育園への送迎等、子育ての援助が必要な方へファミリーサポートセンターを設置するなど様々な子育て支援サービスを提供しています。

医療環境　県立病院などの総合病院が複数あるほか、個人病院や診療所もあります。夜間、休日の急病患者に対応する救命救急センターがあり、日中はドクターヘリも運航しています。

買物環境　個人商店や地域のスーパーのほか、チェーン店や大型スーパーなども営業しております。

交通環境　主な交通手段は車となりますが、公共交通機関としてバス会社が運行しているほか、複数のタクシー会社が営業しております。

移住者に対する主な受入対策

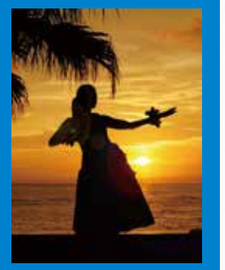
住宅関係支援

宅建協会と連携し、空き家探し、情報提供、家主との契約を支援します（空き家バンク制度）。また定住促進住宅の整備も行い、年数回入居者募集を行っています。

移住者の住宅購入費を最大100万円助成します。

移住者向け賃貸住宅を整備する方に経費の1/2（上限50万円）を助成します。

移住者の声



「一年をとったら暖かい島で暮らそう」と奄美へ。海外生活での経験をもとに古材を利用した工房兼カフェを開きました。集落の人には素直に、自分からパッと心を開いて入っていくと、すんなりと受け入れてもらえます。移住を目指す人は、なぜこの島で生きるのか、目的が決まっていることが重要です。（滋賀県から移住）

大島エリア02　やまとそん

大和村

人口1,393人・面積88.26㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画観光課
0997-57-2117
kikaku@vill.yamato.lg.jp
http://www.vill.yamato.lg.jp

【飛行機によるアクセス】　鹿児島空港～奄美空港（約1時間）、奄美空港から車で1時間20分

紺碧の海と深い緑の大自然に包まれる癒しの地

海岸線に点在する11の集落からなる大和村。目の前に海、背後には山が広がり、豊かな自然に囲まれた生活を送ることができます。世界自然遺産の湯湾岳をはじめ、希少種が多く住む森や、サンゴひしめく海など素晴らしい自然がすぐそばにあります。また伝統文化が色濃く残り、地域行事が重んじられています。島内中心地まで車で15～35分の通勤圏内という好立地も魅力の一つです。

DATA

教育機関数
小学校：4、中学校：1

医療機関数
診療所：1
※村直営診療所があります。

主な公共施設
奄美フォレストポリス、大和まほろば館、
環境省奄美野生生物保護センター

主な産業
農業、建設業

主な特産品
スモモ（奄美プラム）、タンカン、
ご当地ソフトクリーム

主なイベント
・ひらとみ祭り（8月の最終日曜日）
・まほろば大和ウォーキング大会（1月）
・宮古崎つつじウォーク（3月）
・ジョギング大会（5月）
・ひらとみ朝市（12月）
・豊年祭

インターネット接続環境
光回線

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント！

「とことん田舎暮らし」も「都会の利便性」も求めることができます。

アドバイス　田舎ですので、良くも悪くも集落のコミュニティ力が強いところです。地域行事に積極的に参加すると驚くほどスムーズに集落になじむことができますので、思い切って飛び込んでみると面白いですよ。まずは村内に宿泊して集落の雰囲気を感じてみるのがおすすめです。

村民体育大会

暮らしの情報

子育て環境　０歳から高校卒業までの医療費（自己負担分）を助成しています。村内に高校がないため、通学バス定期券代の全額を助成します。中学生を対象とした無料学習塾や海外派遣プログラムも。

医療環境　村内には、村営の診療所が1つあり、内科・外科・歯科（週3回）・小児科の診療を行っておりますが、高度医療や入院が必要な場合は、近隣市の医療機関を利用しています。

買物環境　村内の商店で買い物はできますが、小規模経営の店舗がほとんどで、自家用車で近隣市のスーパー等を利用することが多い状況です。

交通環境　主な交通手段は自家用車です。近隣市町村へはバスをご利用いただけます。
村内移動支援バスも運行しています。

移住者に対する主な受入対策

子育て支援

・出産祝い金支給（第1子20万円、第2子30万円、第3子以降50万円）
・奨学金制度（無利子貸付）
・無料学習塾（インターネット方式）
・海外派遣研修

移住者の声

サーフィンが好きで移住。観光地化しすぎてなくて、ありのままの風景があるところが気に入っています。
保育所に子どもを迎えに行って、そのまま海に行って遊んだり、浜辺の公園で遊んだりと、思い立ったらすぐに自然を楽しめる環境がいいですね。（愛知県から移住）

幼児が遊べる公園もあります。

大島 エリア03　うけんそん

宇検村

人口1,582人・面積103.07㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画観光課
0997-67-2218
kikaku@uken.net
http://www.uken.net

【飛行機によるアクセス】 東京（羽田・成田）、大阪（伊丹・関西）、福岡、鹿児島、沖縄から直行便あり、奄美空港から車で約1時間30分
【船によるアクセス】 鹿児島港～名瀬港（約11時間）、名瀬港から車で約1時間

たーしゃ（背伸び）はやめた、宇検村人（ひと）になろう。

奄美大島は離島というには大きな島です。鹿児島本土と沖縄本島のちょうど中間ぐらいの位置にあり、宇検村はその中西部です。世界自然遺産の地霊峰「湯湾岳」が北側にあり、焼内湾をぐるりと囲むように14の集落があります。あまり観光地化されていないので、自然を貸し切りで楽しめます。
島の食材を味わえる食堂やおしゃれなカフェも魅力的です。

DATA

教育機関数
小学校：1、中学校：1、小中併設校：3

医療機関数
診療所：1、歯科診療所：1

主な公共施設
宇検村総合運動公園（体育館・野球場・陸上競技場・テニスコート・弓道場・相撲場・グランドゴルフ場・ゲートボール場）、
うけん市場（農林水産物販売所）
ケンムンの館

主な産業
製造業、漁業、農業、水産業、畜産業、ホテル・旅館業

主な特産品
黒糖焼酎、たんかん、マンゴー、パッションフルーツ、クロマグロ、真珠、車エビ

主なイベント
・宇検村やけうちっ子体験学習
・豊年祭、相撲（各集落）
・やけうちどんと祭り（11月）

インターネット接続環境
光回線

このマチのアピールポイント!

子供から高齢者まで笑顔で暮らせる村です。
世界遺産の自然も歴史も伝統文化も、
深いところまで楽しめます。

アドバイス
人間関係が密接なため、戸惑うかもしれませんが、自分を知ってもらうことで助けてもらえます。積極的に集落の人と関わって、集落活動に参加してください。
仕事は一次産業が中心ですが、養殖場や焼酎工場など、寮のある事業所もいくつかあります。
オンライン等でのご相談も対応させていただきます。

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
保育料無料、小中学校の給食費無料。
高校卒業までは医療費無料。
集落全体で子供の成長を見守り、育てていく環境です。

医療環境
村内には診療所が1か所。島内には県立病院をはじめ中規模の病院があり、緊急時にはドクターヘリでの搬送ができる体制が整っています。

買物環境
個人商店や共同売店がいくつかあります。生協や移動販売も利用でき、大きな買い物は車で1時間の市街地に行けば、大抵の物は揃います。自炊出来れば不便は感じません。

交通環境
東京・大阪・福岡などから直行便が飛んでいます。島内の交通手段は自家用車が主で、幹線道路を中心にバスも運行しています。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
新築・中古住宅の購入・リフォーム費用の一部を助成。移住者が18歳以下の子供と同居の場合は村営住宅の家賃を一部助成する制度もあります。

子育て支援
出産祝金（出生時１人につき5万円）、入学祝金（小学校入学時5万円）、子育て支援金（年額1万円）の支給、給食費無償があります。

その他支援
親子山村留学制度を利用する親子に対し、小中学生１人あたり月額３万円の特別助成金を支給します。

移住者の声

2018年に宇検村に家族３人で移住しました。
島に来る前は家族で過ごす時間が少ない状況で、夫は子供の成長を追うことが難しい日々でしたが、島に来てからは毎日一緒に食卓を囲み、笑顔あふれる穏やかな日々です。
独特な島の自然を子供と一緒に学びながら、楽しい島暮らしを送っています。（群馬県から移住）

大島 エリア04　せとうちちょう

瀬戸内町

人口8,156人・面積239.63㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画課
0997-72-1112
shinkou@town.setouchi.lg.jp
https://www.town.setouchi.lg.jp/

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～奄美空港（約1時間）
奄美空港から車で 約1時間40分

唄と海でゆらう町 満天の星が降りそそぐ町

奄美大島の南西端部と加計呂麻島・請島・与路島からなる瀬戸内町は、世界でも希有な美しい海を誇り、色鮮やかなサンゴ礁、満天の星、希少生物を見る事ができます。また、島唄や諸鈍シバヤなどの貴重な民俗文化が継承され、島の風景やサンゴの石垣は多くのメディアにも取り上げられております。さらに、島の周辺には、シーカヤックやダイビング、大物が釣れるポイントが多数存在するマリンレジャーに最適な場所です。

DATA

教育機関数
小学校：10、中学校：8、高校：1

医療機関数
病院：2、診療所：6、歯科診療所：4
※休日当番制を実施しております。

主な公共施設
加計呂麻島体験交流館、清水運動公園、
せとうち海の駅、図書館・郷土館
きゅら島交流館、すこやか福祉センター
HUB（コワーキングスペース）

主な産業
農業、漁業、養殖業、畜産業

主な特産品
きび酢、マンゴー、たんかん、
パッションフルーツ、黒糖製品

主なイベント
・奄美シーカヤックマラソン
in加計呂麻大会（７月第１日曜）
・みなと祭り（花火大会）（８月中旬頃）
・諸鈍シバヤ（旧暦９月９日）
・加計呂麻島ハーフマラソン（11月第２日曜）

インターネット接続環境
町内全域光回線
（請島及び与路島を除く）

このマチのアピールポイント!

伝統や古い民俗、そして自然が多く残る町で、
ゆったり、のんびり暮らしてみませんか？

※国の重要無形民俗文化財（諸鈍シバヤ）

アドバイス
東京、大阪からはピーチ就航により、格安で奄美に来島できるようになりました。移住する前に、何度か足を運んでいただき、シマならではの集落の様子、行事や人間関係等を体感して移住を決めて頂きたいです。こんなはずでは…がないようシマ暮らしを体験するため「移住体験住宅」も整備してありますので活用ください。

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境
シマでは子供は宝もの。集落全体で子どもを見守り育てます。複式学級の校区もありますが、ご近所さんと一緒に目の前に広がる大自然の中での子育てになります。留学制度（P12）もありますよ。

医療環境
総合病院をはじめ医療機関や介護・福祉施設があり、医療環境は整っています。また加計呂麻島・請島・与路島の離島における緊急時には救急艇を配備しており、ドクターヘリで奄美市の救命救急センターへの搬送も可能です。

買物環境
生鮮食品や日用品雑貨等は町の中心市街地にあるスーパーやコンビニで十分そろいます。集落によっては昔ながらの小さな商店もありますが、大型の家具や専門品は奄美市まで買いにいくことも。

交通環境
近隣市町村へはバスが運行していますが、主な交通手段は自家用車です。加計呂麻島ではフェリーの発着時間に合わせて、バスが運行しています。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
町内の空き家情報の提供を行います。（空き家バンク制度）

移住体験住宅
シマ暮らしを体験するための住宅。何度か足を運んで、住みたい集落探し、家探し、仕事探しの拠点に活用ください。
・利用期間：１週間～2カ月まで
・利用料金：57,000円/月（2,300円/泊）
・家電や布団（2組）、最低限の日用品を完備。
ご利用にあたって詳しくは役場企画課（0997-72-1112）まで

移住者の声

不便なことは想定内だったので、生活に不満を感じたことは一度もありません。ただ、夜があまりに静かで虫や風の音しか聞こえないので、初めは不安で眠れないこともありました。でも集落の方々と仲良くなるうちに、隣の人すら分からない都会では感じられない「地域に住んでいる安心感」を実感するようになりました。（30代女性）

大島エリア05　たつごうちょう

龍郷町

人口5,932人・面積82.07㎢（令和６年４月１日現在）

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～奄美空港（約1時間）
奄美空港から車で約25分

相談窓口
企画観光課
0997-69-4512
kikakukanko@town.tatsugo.lg.jp
http://www.town.tatsugo.lg.jp

歴史と文化をつむぎ 未来へつなぐまちづくり

龍郷町は、鹿児島県本土と沖縄県のほぼ中間である洋上に浮かぶ奄美大島本島の北部に位置し、海と山に囲まれた町です。奄美固有の動植物を観察できる「奄美群島国立公園ビジターセンター奄美自然観察の森」をはじめ、豊かな自然に恵まれています。また、伝統産業である本場奄美大島紬の代表的な柄である「龍郷柄」「秋名バラ」発祥の地であることや、西郷隆盛が潜居生活を送った西郷南洲流謫跡などもあり、歴史と伝統文化が息づく町でもあります。

このマチのアピールポイント!

町民一人ひとりが「幸せ感」を感じる
魅力あるまちづくりを推進しています。

集落行事の種おろし

アドバイス 町内には20の集落があり、いずれも集落活動が活発です。地域の行事や風習を学び、地元の方たちと一緒にシマ（集落）生活を楽しんでほしいです。自然の中で地域とともに暮らすには素敵な環境だと思います。

DATA

教育機関数
小学校：7、中学校：3

医療機関数
診療所：4、歯科診療所：2

主な公共施設
龍郷町体育・文化センターりゅうゆう館、龍郷町生涯学習センターりゅうがく館、保健福祉センターどうくさぁや館

主な産業
製造業、サービス業、建設業

主な特産品
本場奄美大島紬、奄美黒糖焼酎
黒砂糖（黒糖製品）

主なイベント
・龍郷ふるさと祭り（７月中旬～下旬）
・秋名アラセツ行事（旧暦8月の最初の丙の日）
・龍郷町民フェア（２月中旬～下旬）

インターネット接続環境
光回線

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境 ０歳から高校卒業までの医療費（自己負担分）を全額助成している他、本島内に所在する高等学校に在籍する学生で、バス通学する場合に定期券購入費を全額助成しています。

医療環境 町内の各中学校区に医療機関が開設されています。歯科医院も町内2カ所にあります。隣接市の総合病院にもアクセスしやすい立地条件にあります。

買物環境 奄美大島最大級の総合スーパーをはじめ、生鮮食品などは各地で取り揃えています。島の中心市街地（奄美市名瀬）まで、町役場から車で約25分です。

交通環境 町役場は島の中心市街地と奄美空港の中間に位置し、それぞれ車で約25分です。 公共交通機関はバスのみとなっています。

移住者に対する主な受入対策

子育て支援
・ファミリーサポートセンターが設立されており、産前産後の家事援助やお子様の送迎・預かり、病児・病後児保育なども行っています。
・出産祝金（第１子5万円、第２子10万円、第３子15万円）の支給があります。

移住相談窓口
龍郷町への移住を経験したスタッフが、暮らしぶりなど様々なご相談にお応えする移住ガイドセンター「住もうディ！」を設置しています。現地対応はもちろん、オンラインやLINEでの相談も行っています。

移住者の声

豊かな自然と助け合いの精神が残る奄美大島の龍郷町で、子育てをしたいと思い移住しました。島暮らしは、インフラや交通等のハード面はもちろん、人付き合いや働き方等のソフト面も都会とは異なっているため、嬉しいことあり戸惑うことありといった充実した移住ライフを満喫しています。移住には何事も恐れず一旦受け入れてみる精神が大切だと思っています。（大阪府から移住）

大島エリア06　きかいちょう

喜界町

人口6,044人・面積56.82㎢（令和６年４月１日現在）

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～喜界島空港（約1時間10分）、奄美空港～喜界島空港（約20分）
【船によるアクセス】 鹿児島港～湾港（喜界島）（約11時間）、名瀬港（奄美大島）～湾港（約2時間）

相談窓口
企画観光課
0997-65-3683　kikaku-5@town.kikai.lg.jp
http://www.town.kikai.lg.jp

蝶の飛び交う隆起サンゴ礁段丘の島

サンゴの島、喜界島はサンゴ礁が隆起し形成され、現在もなお年間平均２ミリという世界トップレベルの速さで隆起を続ける島です。島内ではサンゴ礁由来のアルカリ性土壌を生かした農業が盛んに行われています。
また渡り蝶〝アサギマダラ〟や日本最大級の蝶〝オオゴマダラ〟など沢山の蝶が飛び交う島としても有名です。

このマチのアピールポイント!

「いちゃりば～、ひんにゃそ～で～（出会ったら、
皆兄弟という喜界島の方言）」
と言われる程の人情味豊かな島民性の島です。
ハブはいません!

喜界町マスコットキャラクターよろこびと

アドバイス 小さな島ですが、様々な文化・歴史があり、ありのままの自然が残っており、奥深い島です。まずは来島してみて、喜界島の穏やかな空気感を感じてみてください。

DATA

教育機関数
小学校：2、中学校：1、高校：1

医療機関数
病院：1、診療所：1、歯科診療所：3
※救命救急病院があります。

主な公共施設
・営農支援センター・農産物加工センター
・埋蔵文化財センター・町体育館
・図書館・中央公民館・歴史資料館

主な産業
農業・漁業・畜産業

主な特産品
白ごま、黒糖焼酎、黒糖、トマト、タンカン、マンゴー、在来柑橘類

主なイベント
・喜界町夏まつり（8月上旬・日曜日）
・町民体育祭（10月初旬の日曜日）
・島内一周駅伝（11月中旬）
・俊寛ジョギング大会（3月第1日曜日）
・喜界島マラソン（4月中旬～下旬）

インターネット接続環境
光回線

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境 保育園、幼稚園から高校まで島内にあります。また、学童保育や、高校生までを対象とした医療助成金制度もあります。

医療環境 島内には総合病院があります。また、町民を対象として島外での出産をサポートする助成金制度もあります。

買物環境 空港や港周辺には、スーパーや小規模店舗が多数あり、買い物には不自由しません。また、地元農家が作った作物を購入できる直売所もあります。

交通環境 主な移動手段は車になりますが、主要箇所を巡回するバスが運行しています。また、奄美大島や鹿児島へ行く際に、飛行機・船を島民割引価格にて利用できます。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
移住者向け
空き家情報の提供を
行っています

地域コミュニティ
島唄や三線を習える公民館講座やきかい100スポーツクラブという様々なスポーツサークルがあり、誰でも参加できます。
地域の人が手作りの文化祭を開催したり、地区対抗の運動会や駅伝などスポーツイベントも盛んです。

移住者の声

全国転勤で転居の多い生活から、自分達の生きる場所は自分達で決めたい!!と、何度も訪れていた喜界島へ2022年から移住しました、お裾分け文化など沢山の方の優しさに触れ、とても心地の良い環境で暮らせています。島の雰囲気や地元の方との相性はとても重要だなと感じています。

大島 エリア07　とくのしまちょう

徳之島町

人口 9,403人・面積104.92㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口

企画課

0997-82-1112

kikaku4@tokunoshima-town.org

http://www.tokunoshima-town.org

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～徳之島空港（1時間10分）、徳之島空港から車で40分
【船によるアクセス】 鹿児島新港～亀徳新港（15時間）、亀徳新港から車で5分

明るく、豊かな、活力にみちた住みよい健康のまち

九州と沖縄の中間、奄美群島のひとつ徳之島。九州・沖縄とは違った独自の文化が息づき、集落行事も盛んです。島の言葉「島口」や島口で歌われている「島唄」など、伝統を子ども達に受け継ぐ取り組みも行われており、文化・歴史・ひとの魅力あるまちです。希少な動植物が生息し、豊かな自然に恵まれた島は、令和3年7月26日に世界自然遺産に登録されました。

DATA

教育機関数
小学校：8、中学校：5、高校：1

医療機関数
病院：3、診療所：3、歯科診療所：2

主な公共施設
総合運動公園、生涯学習センター、文化会館、体育センター、地域福祉センター、総合食品加工センター「美農里館」、「みらい創りラボ」井之川

主な産業
農業、建設業、小売業、サービス業

主な特産品
たんかん、ばれいしょ、黒糖焼酎、黒糖、みそ豆、パパイヤ漬、シークニン

主なイベント
・闘牛大会（正月・5月連休・10月中旬）
・黒砂糖まつり（5月）
・トライアスロンIN徳之島大会（例年6～7月）
・どんどん祭り（8月）

インターネット接続環境
光回線（一部）、ADSL

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント！

貴重な動植物が生息し、昔ながらの集落
行事が今に残る、自然・文化の豊かな島。

アドバイス

島暮らしでは、公共交通機関の便数が少ない、台風の時に物流が止まるなど、都市圏と比べて不便なことも存在します。でも、都市圏とは違ったゆっくりとした島時間、闘牛や集落行事での熱気といった、形のない「ゆるさ」「あつさ」ほか島ならではの魅力をたくさん感じることができると思います。

暮らしの情報

子育て環境
保育園、幼稚園、放課後児童クラブ、病児保育、NPO等による子育て支援などを実施。また、自学自習の場「学士村塾」の開設など学力向上にも取り組んでいます。

医療環境
町内に病院が3か所、歯科医院が2か所、ほか診療所などがあります。島外での治療の必要があるハイリスク妊産婦などに対して、町では旅費・宿泊費の助成を行っています。

買物環境
スーパーやホームセンター、ドラッグストアなど、多くは役場がある亀津地区の近辺に集中しています。他の集落には、小規模売店や生産者直営の販売所があります。

交通環境
島内は民間のバス会社・タクシー会社があり、町では75歳以上を対象に敬老バス無料乗車券を発行しています。自家用車やバイク（原付）があると便利です。

移住者に対する主な受入対策

子育て支援
病児保育、保育園での延長保育を実施しているほか、ファミリーサポートセンターの設置など子育てしやすい環境づくりに取り組んでいます。

その他支援
海と山に囲まれた自然豊かな北部地区の小・中学校でふるさと留学制度を設け、全国から留学生を受け入れています。（小学1年生～中学2年生）

住宅関係支援
町が民間の空き家を借り受け改修し、定住促進住宅として移住定住希望者へ転貸しています。（期間：2年未満）

移住者の声

お店や病院などの生活基盤が整っていて暮らしやすいです。海沿いの平屋を借り、地域の方々にもよくしていただきながら、島暮らしを満喫しています。
日差しの強さや身近にいる多様な生き物に、最初は家族も戸惑っていましたが、比較的すぐに慣れました。
（福岡県から移住）

大島 エリア08　あまぎちょう

天城町

人口 5,484人・面積80.4㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口

おいでよ！魅惑のアマパゴス移住相談窓口

0997-85-3116

ijyu-amagi@yui-amagi.com

https://www.town.amagi.lg.jp/amapagos/

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～徳之島空港（約1時間10分）、徳之島空港から車で10分
【船によるアクセス】 鹿児島新港～亀徳新港（約15時間）、亀徳新港から車で約30分

おいでよ！魅惑のアマパゴス

天城町は、奄美群島の徳之島にある3町のうちの1町で、空港と港の両方がある便利な町です。亜熱帯性気候をいかしたサトウキビ栽培を中心に、パレイショ、マンゴー、パッションフルーツ等の園芸が盛んなほか、トライアスロン IN 徳之島大会でも知られ、別名「鉄人たちの島」ともいわれています。
また、世界自然遺産に登録された豊かな森と希少な動植物が息づくまちです。

DATA

教育機関数
小学校：4、中学校：3、高校：1

医療機関数
診療所：1、歯科診療所：2、医療センター：1

主な公共施設
B&G海洋センター、西郷公園、ユイの館、総合運動公園、防災センター、小出義雄メモリアル天城クロスカントリーパーク保健センター、農業センター

主な産業
農業、畜産業

主な特産品
黒糖、黒糖焼酎、マンゴー、ドラゴンフルーツ、パッションフルーツ、パレイショ

主なイベント
・ヨナマビーチ夏一番海開き（4月）
・トライアスロンIN徳之島大会（6月）
・あまぎ祭（8月）
・クロスカントリー大会（2月）

インターネット接続環境
全域に光回線を整備

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント！

子育て支援制度が充実！みんなで支え合いながら、
「誰も一人にしない子育て」、「地域とともに歩む人生」を。

アドバイス

天城町の人々は、地域の行事（浜下り、豊年祭、敬老会など）を大切にしながら、「地域とともに暮らす」という考えが根付いています。都会の中では少し疎ましく感じる地域との繋がりも、のんびりとした田舎ならではの雰囲気の中、人のぬくもりの心地よさに気づくはずです。これから移住をお考えの方は、ぜひ積極的に地元行事へ参加し、地域へ溶け込んでいってほしいです。

美しい海で遊びたい放題！与名間ビーチは小さなお子様でも安心して海遊びが楽しめ、シーズン中の休日には多くの家族連れで賑わっています。

暮らしの情報

子育て環境
「子（クワァ）は（ヤ）島の宝（シマヌタカラ）」、地域には子育てに対する優しい気持ちが色濃く根付いています。地域の人々が一緒になって子育てに関わり、一人一人の子どもの成長をともに見守り、ともに喜びます。

医療環境
町内には診療所（内科、外科）、歯科診療所、医療センター（内科、小児科）があり、そのほか介護や福祉の施設もあります。

買物環境
天城町には北部、中部、南部各所にスーパーがあり、コンビニエンスストアや薬局のほか、地元商店があるため日用品の購入には問題ありません。

交通環境
交通手段はバス、デマンドバス、タクシーがあります。日常生活では自家用車での移動が主となります。

移住者に対する主な受入対策

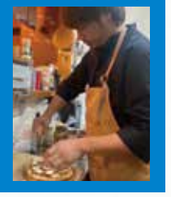
就業支援
UIターン者向けの起業支援補助金制度、新規で農業を始めようとする方を対象とした新規就農者支援制度や農家育成のための研修制度があります。

子育て支援
保育園・幼稚園に通う全園児の保育料などを実質全額無償化。0歳から18歳までの医療費全額助成、小・中学校の給食費無償化。また、出産祝金として、子の出生時に10万～出生数に応じて支給しています。

住宅関係支援
Uターンを対象とした「お帰りなさい住宅改修補助」や空き家バンク制度（町内で空き家になっている家屋をバンク登録し、その家屋の持ち主をご紹介します。）などがあります。

移住者の声

「天城町ＵＩターン起業家支援」の補助金を活用し、念願だったイタリア料理を提供する「徳之島食堂」をオープンしました。
島の食材を積極的にメニューに取り入れ、少しでも地域活性に繋がればと思っています。天城町は何といっても子育て支援がとても充実しています。地域や行政が積極的に育児に介入してくれるので、子育て中に不安を感じることがありません。ぜひ一度、徳之島の天城町へ遊びに来てください。
（鹿児島市内から移住）



大島 エリア09　いせんちょう

伊仙町

人口6,150人・面積62.7㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
未来創生課
0997-86-3112　isencho@po.synapse.ne.jp
http://www.town.isen.kagoshima.jp

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～徳之島空港（１時間10分）、徳之島空港から車で30分
【船によるアクセス】 鹿児島新港～亀徳新港（15時間）、亀徳新港から車で20分

〈徳之島・伊仙町〉長寿・子宝の町でゆったり暮らしませんか？

伊仙町は、鹿児島の南方500kmに位置する徳之島の最南端に位置する町で、「子は宝」という地域に根づく価値観と「親（祖先）を拝んでから神を拝みなさい」という強い先祖崇拝が相まって、全国屈指の合計特殊出生率と高い百寿率（人口10,000人当たりの100歳以上の方の数）を誇る、正真正銘の「長寿と子宝のまち」です。1年中咲き乱れるハイビスカスやブーゲンビリアに囲まれて、島時間に身をゆだねてみませんか？

このマチのアピールポイント!

長寿・子宝の町、世界自然遺産の徳之島で
子育て、第2の人生を送りたい方々の移住を
応援します。

アドバイス　徳之島は、奄美大島・沖縄北部・西之表島とともに2021年7月に世界自然遺産に登録されました。世界に認められる固有な生態系が作り上げた島の自然、そしてその自然と共存しながら伝統と文化を紡いできた島の暮らし、地域全体で子供たちを守り育てるおおらかな世界観、そして元気な長寿者の人々、どれをとっても伊仙町の暮らしやすさと地域文化は特別です！

DATA

教育機関数
小学校：8、中学校：3 、幼稚園：2、
認可保育園：3、認定こども園 ：2

医療機関数
診療所：1、歯科診療所：2

主な公共施設
伊仙町総合体育館、伊仙町総合グラウンド、健康増進施設「ほーらい館」、直売所百菜、「なくさみ館」

主な産業
農業、畜産業、医療・福祉

主な特産品
黒糖、味噌豆、パパイヤ漬、グァバ、コーヒー、黒糖焼酎、マンゴー、パレイショ、パッションフルーツ

主なイベント
・戦艦大和を旗艦とする戦没将士慰霊祭（4月初旬）
・イッサンサン（9月頃）
・伊仙町産業祭・食の文化祭（11月頃）
・ほーらい祭り（11月頃）
・闘牛大会（年数回）

インターネット接続環境
全域に光回線を整備

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境　長寿・子宝の伊仙町では、地域で子育てをする環境と地域力があり、移住家族も温かく迎え入れてもらえます。また、出産・不妊に関しても様々な助成を行っております。

医療環境　町内には診療所、歯科医院があり、介護・福祉施設等も充実しています。総合病院までは車で20～30分です。

買物環境　熱帯果樹を中心に徳之島の旬の果実・野菜・特産品を扱う直売所の他、スーパーや地元商店があります。

交通環境　公共交通機関はバスのみとなっており、自家用車があると便利です。

移住者に対する主な受入対策

子育て支援

子の出生時に、子育て支援金（第１子15万円、第２子20万円、第３子30万円、第４子40万円、第５子50万円、第６子以降55万円）を支給します。（出生児の筆頭者の住所が町内にあるとき）

幼稚園の終了時間がきても、預かり時間を延長できる制度があります。（時間制限あり）

健康増進施設ほーらい館にて放課後預かりクラスがあります。

住宅関係支援

町内にある空き家を登録し、家主を紹介しています。（空き家バンク制度）

移住者の声

島暮らしに憧れ、徳之島伊仙町の『自然と暮らしの距離が近い所』に魅力を感じ夫婦で移住しました。現在は、島で子育てを楽しんでいます。ふらっと海に犬と散歩に出掛けたり、庭から観る星空に癒されています。仕事は、『とくのしま伊仙まちづくり協同組合』を運営し、移住者の雇用づくりやサポートをしています。移住された方の中には、当組合でマルチワーカーとして働く職員や農業研修制度を活用した方などが活躍しています。
移住して良かったことは、『顔のみえるお付き合い』ができることです。例えば、作った野菜のお裾分けなど、人の温かさや、優しさに触れる機会が多く、暮らす中で『安心感』をとても感じています。
移住者　大保　健司（大阪から移住）

大島 エリア10　わどまりちょう

和泊町

人口6,004人・面積40.39㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
企画課
0997-84-3512　kikaku@town.wadomari.lg.jp
【和泊町公式HP】:http://www.town.wadomari.lg.jp
【移住情報サイト】:https://www.kurasu-wadomari.info

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～沖永良部空港（1時間15分）、
那覇空港～沖永良部空港（50分）、沖永良部空港から車で15分
【船によるアクセス】 鹿児島新港～和泊港（17時間30分）、那覇港～和泊港（7時間）、和泊港から車で5分

活力と魅力あふれる花の町

和泊町は、鹿児島市より南南西 540km に浮かぶ沖永良部島の北東部に位置し、平均気温 22℃の亜熱帯気候に属します。隆起さんご礁でおおわれた平坦な地形で、中央に古成層からなる越山があるのみで耕地に恵まれています。産業は、温暖な気候と恵まれた耕地を活かした農業が中心で、特に花卉栽培が盛んな町として知られており、農業生産額は、県内でも上位に位置しています。

このマチのアピールポイント!

人情味あふれる花の島。1年未満滞在できる
「しま暮らし体験住宅」も活用できます。

和泊町公式キャラクター
リリリー

アドバイス　島の暮らしでは、地域行事への参加や、清掃活動等ご近所付き合いが大事です。地域の方と上手に交流を図りながら、移住希望者ご自身の夢をかなえてください。「しま暮らし体験住宅」を活用して、地域を理解し、長期移住に臨むなど、移住のソフトランディングをおすすめします。

DATA

教育機関数
小学校：4、中学校：2

医療機関数
診療所：3、歯科診療所：2

主な公共施設
タラソおきのえらぶ、笠石海浜公園、西郷南洲記念館

主な産業
農業

主な特産品
切花、パレイショ、サトイモ、あおさ、ゆり球根、ガジャ豆、黒糖焼酎

主なイベント
・和泊町港まつり
（海上競技・グラウンドゴルフ・相撲大会・商店街パレード・花火大会）（7月下旬）
・花の島沖えらぶジョギング大会（3月中旬）
・フラワーフェスティバル（3月中旬）

インターネット接続環境
全域に光回線を整備

おすすめライフスタイル

暮らしの情報

子育て環境　保育所4、幼稚園1カ所が町内に、高校は隣町の知名町に1校あります。地域子育て支援センター「ほっとステーション」設置や一時預かり事業等を実施しています。

医療環境　病院は隣町の知名町に1、その他町内に一般診療所3、歯科2施設となっています。

買物環境　郊外に、スーパー、ドラッグストア、ホームセンター 、役場周辺に商店街があり生鮮食品、日用雑貨等購入可能です。

交通環境　主な交通手段は自家用車となりますが、島内のバスを利用することができます。

移住者に対する主な受入対策

移住体験

1年未満滞在できるUIターン者向けしま暮らし体験住宅があります。

住宅関係支援

移住情報サイト「くらすわどまり」で空き家情報、暮らしに関する情報、先輩移住者の体験談など掲載しています。

移住者の声

島人のフランクさを煩わしいと思うのか親しみやすいと思うのか、軒先に差し入れや配達の荷物が置かれていることに対して、「え！」とびっくりするのか便利だと思うのか、島あるあるをマイナスにとるのかプラスにとるのかで、島でのくらしは違ってくると思います。

大島 エリア11　ちなちょう

知名町

人口 5,390人・面積53.29㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
一般社団法人ツギノバ
050-8885-9770
info@tsuginoba.or.jp
https://tsuginoba.or. jp

町窓口
企画振興課
0997-84-3162
china08@town.china.lg.jp
http://www.town.china.lg.jp

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～沖永良部空港（約１時間15分）、
那覇空港～沖永良部島（50分）、沖永良部空港から車で40分

【船によるアクセス】 鹿児島新港～和泊港（約17時間30分）、那覇港～和泊港（７時間）、和泊港から車で20分

花ひらく 夢ひらくまち フローラル知名

奄美群島にある沖永良部島の南西部に位置する知名町は、豊かな自然と琉球文化が色濃く残り、うるおいとやすらぎのあるまちです。農業が基幹産業で、サトウキビ、テッポウユリ、バレイショをはじめ、施設園芸や花卉栽培も盛んに行われています。

DATA

教育機関数
小学校：5、中学校：2、高校：1

医療機関数
病院：1、診療所：2、歯科診療所：4

主な公共施設
文化ホール、中央公民館、図書館、体育館、総合グラウンド、フローラルパーク、マリンパーク、メントマリ公園、沖泊海浜公園、野営場等林間休養施設

主な産業
農業、漁業

主な特産品
テッポウユリ、グラジオラス、黒糖焼酎、バレイショ、シマ桑茶、芭蕉布、きくらげ

主なイベント
・海開き＆浜下り（4月下旬または5月上旬）
・知名町ふるさと夏まつり＆大山祭（7月下旬または8月上旬）

インターネット接続環境
町内全域に光回線整備

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント!

豊かな自然と長い歴史で築いた、
うるおいとやすらぎのある町です。

アドバイス

町の人たちはとても温かく、町や集落イベントなども多いので、積極的に参加することで地域住民とのコミュニケーションを楽しめると思います。また、自然豊かな環境なので、休日は釣りや海水浴などを楽しみながらのんびり過ごすことができます。

知名町マスコットキャラクター
「ちなポー」

暮らしの情報

子育て環境
保育園が１つ、認定こども園が２つあります。子育て支援金制度や18歳までの子ども医療費助成制度などもあり、子育て環境に力を入れています。

医療環境
総合病院、個人経営の診療所があります。介護・福祉施設などもあり、敬老年金・百歳祝金支給や緊急通報システム事業など高齢者が暮らしやすい環境が整っています。

買物環境
日常的な買い物は町内の商店でできます。また地元農家さんが作った野菜の無人販売所や隠れ家的な食事処もあります。

交通環境
公共交通機関はバスがありますが、便数が少ないため主な交通手段は自家用車となります。また、本町の住民になることで、航路・航空路の運賃軽減が受けられます。

移住者に対する主な受入対策

住宅関係支援
町内の空き家情報の提供を行います。（空き家バンク）

町内に定住促進住宅を整備しています。（家賃：1年目5千円/月、2年目2万円/月、3年目3万円/月、入居期間：3年以内）

移住定住空き家活用事業
空き家の改修を行う際に工事費の2/3（最大200万円）の補助を行っています。

移住者の声

島の方たちがとても温かく、特に字（集落）の方々はまるで大きな家族のようで夫婦共に大変お世話になっています。集落ごとの伝統芸も盛んで、勇壮で華やかな島の芸能に参加できることは島の一員になれた気がしてとても誇りに感じます。
スーパーには地産地消のコーナーがあり、高級フルーツなどが信じられないようなお得な値段で売られています。都会に住んでいた時よりも食卓がずっと豊かになりました。

大島 エリア12　よろんちょう

与論町

人口 5,007人・面積20.58㎢（令和６年４月１日現在）

相談窓口
総務企画課
0997-97-3111　kikaku@yoron.jp
https://www.yoron.jp

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～与論空港（1時間25分）、那覇空港～与論空港（35分）、
奄美空港～与論空港（40分）、与論空港から車で10分

【船によるアクセス】 鹿児島新港～供利港（20時間）、那覇港～供利港（5時間）、供利港から車で10分

見て、感じて、知る。ありのままの与論島。

鹿児島県の最南端、鹿児島県と沖縄県との県境にある与論島。与論町は、美しい自然を護り、独特の生活文化を育んできた一島一町の町です。与論島は琉球石灰岩の上に亜熱帯植物が茂り、真っ白なしぶきを浴びる珊瑚礁に囲まれ、山岳や河川のない平らな島です。平均気温 23 度と温暖な亜熱帯気候で、色鮮やかな花々が咲き乱れ、また島を囲む珊瑚礁の海は神秘に満ちあふれています。

DATA

教育機関数
小学校：3、中学校：1、高校：1

医療機関数
病院：1、診療所：2、歯科診療所：2

主な公共施設
砂美地来館（町総合体育館）、B&Gプール（温水）、中央公民館（公民館教室）

主な産業
農業、漁業、畜産業、観光業、建設業

主な特産品
黒糖焼酎、ゆんぬあーどうる焼、黒糖、貝細工、もずくそば、きび酢

主なイベント
・国指定重要無形民俗文化財「与論十五夜踊り」年3回（旧暦3月・8月・10月の15日）
・よろんサンゴ祭り（8月中旬）
・ヨロンマラソン（11月下旬）

インターネット接続環境
光回線、ADSL（一部）、ISDN

おすすめライフスタイル

このマチのアピールポイント!

百聞は一見にしかず。一度お越しください！
ありのままのヨロンを体験されるのが一番です！

アドバイス

与論島には9つの集落があり、集落や島全体のイベントが多く、地域の方々と交流する機会がたくさんあります。島内は自家用車があると便利です。住居の確保や交通の便、医療体制など不便な点もありますが、移住前にぜひ一度足を運び、与論島を体感してみてください。

毎年島内外からたくさんの参加者が集うヨロンマラソン。

暮らしの情報

子育て環境
地域ぐるみの子育て環境があり、3つの認定こども園に待機児童はありません。島外出産助成や子育て支援金制度もあります。

医療環境
内科・外科・歯科・眼科 があります。その他の診療科は月に2～4日程度の特別診療を受診しており、大きな手術は島外の医療機関にかかります。

買物環境
スーパーマーケット、ホームセンター、薬局、電気店などがあり、生活に必要なものは島内で調達できます。通信販売の利用も多いです。

交通環境
フェリーと飛行機は、鹿児島と沖縄から毎日運航しています。島内は循環バスとタクシーが運航しています。

移住者に対する主な受入対策

その他支援
役場において、町民から寄せられた住宅・求人情報についての提供を行っています。

定住促進住宅
移住者向けに、アパートを6部屋提供しています。入居者を募集する際は ホームページ上で行います。

移住者住宅支援
移住者が住居の新築、改修を行う際に工事費の2／3（最大100万円）の補助を行っています。

移住者の声

与論の方と結婚して2015年に移住しました。与論島は美しい海に囲まれた自然豊かな島で、晴れた夜は天の川まで見えます。与論独自の言語や風習が残っています。島での暮らしは“生きている”と実感でき、ご飯がより美味しく感じられるようになりました。『誠の島』と言われており、島んちゅの皆さんは優しくて信頼できる方ばかりで安心して暮らしています。（埼玉県より移住）

鹿児島県内市町村 移住支援内容早見表

※支援の条件や支援内容は市町村により異なります。
　また、掲載情報については、2024年4月時点の情報を掲載しておりますので、詳細は、各市町村にお問い合わせください。

エリア	掲載ページ	お問い合わせ先				支援内容			
						就業支援			
		市町村名	担当課名	電話番号	メールアドレス	就職支援	就農・就漁支援	起業支援	その他支援（支援業種等）
鹿児島	22	鹿児島市	移住相談室（地方創生推進室内）	099-803-3074	iju@city.kagoshima.lg.jp	○	○	○	クリエイターお試し移住 クリエイター事業所改修費等補助
	23	日置市	地域づくり課	099-248-9408	teiju@city.hioki.lg.jp		○	○	創業者スタートアップ補助
	24	いちき串木野市	企画政策課	0996-33-5628	seisaku1@city.ichikikushikino.lg.jp	○	○	○	空き店舗を活用した開業支援
	25	三島村	定住促進課	099-222-3141	teijyu01@mishimamura.jp		○	○	
	26	十島村	地域振興課	099-222-2101	tokaratiiki@tokara.jp		○		生産施設整備補助
南薩	27	枕崎市	企画調整課	0993-76-1089	kikakutyosei@city.makurazaki.lg.jp		○	○	水産加工業就業支援
	28	指宿市	企画政策課	0993-22-2111	kikaku@city.ibusuki.jp	○	○	○	お試し滞在に係る旅費補助
	29	南さつま市	総合政策課	0993-76-1507	e_machi@city.minamisatsuma.lg.jp		○	○	漁業新規就業者支援 空き店舗等活用事業補助
	30	南九州市	企画課	0993-83-2511	kikaku@city.minamikyushu.lg.jp	○	○	○	仏壇産業就業支援
北薩	31	阿久根市	企画推進課	0996-73-1214	kikaku@city.akune.kagoshima.jp	○	○	○	新規就農・漁業者支援 創業支援補助
	32	出水市	観光交流課	0996-63-2111	sangyo_c@city.izumi.kagoshima.jp	○	○	○	
	33	薩摩川内市	定住支援センター（産業人材確保・移住定住戦略室内）	0996-23-5111	teiju@city.satsumasendai.lg.jp	○	○	○	移住支援金
	34	さつま町	さつまPR課	0996-26-1823	pr-teijyuu@satsuma-net.jp	○	○	○	
	35	長島町	地方創生課	0996-86-1101	chisei@town.nagashima.lg.jp	○	○		新規就農支援 移住支援金
姶良・伊佐	36	霧島市	地域政策課	0995-45-5111	t-seisaku@city-kirishima.jp	○	○	○	移住支援金
	37	伊佐市	地域振興課	0995-29-4113	commu@city.isa.lg.jp		○	○	移住支援金
	38	姶良市	地域政策課	0995-66-3121	seisaku@city.aira.lg.jp		○	○	移住支援金
	39	湧水町	商工観光PR課	0995-74-3111	ijyuu@town.yusui.kagoshima.jp		○	○	新規就農支援
大隅	40	鹿屋市	地域活力推進課	0994-45-6930	chiiki@city.kanoya.lg.jp	○	○	○	テレワーク移住奨励金 移住支援金
	41	垂水市	企画政策課	0994-32-1143	t_chiikishinkou@po.city.tarumizu.kagoshima.jp	○	○	○	
	42	曽於市	企画政策課	0986-76-8802	kikaku@city.soo.lg.jp		○	○	商工業就業支援
	43	志布志市	総合政策課	099-472-1111	tiikiseisaku@city.shibushi.lg.jp	○	○	○	奨学金返還支援事業
	44	大崎町	企画政策課	099-476-1111	kikaku@town.kagoshima-osaki.lg.jp	○	○	○	事業承継制度
	45	東串良町	企画課	0994-63-3122	kikaku@higashikushira.com		○	○	農業・商工業後継者支援
	46	錦江町	未来づくり課	0994-25-1001	info@kinko-mirai.com		○	○	
	47	南大隅町	企画観光課	0994-24-3113	kikakuka@town.minamiosumi.lg.jp	○	○	○	
	48	肝付町	移住サポートセンター	0994-65-8426	ijuu-support@town.kimotsuki.lg.jp		○		
熊毛	49	西之表市	地域支援課	0997-22-1111	shiminkatudo@city.nishinoomote.lg.jp	○	○	○	就職奨励金
	50	中種子町	企画課	0997-27-1111	naka-kikaku@town.nakatane.kagoshima.jp		○	○	
	51	南種子町	企画課	0997-26-1111	kankou2@town.minamitane.lg.jp		○	○	
	52	屋久島町	観光まちづくり課	0997-43-5900	ijyu@town.yakushima.kagoshima.jp		○	○	漁業新規就業者支援
大島	53	奄美市	企画調整課	0997-52-1111	shiminkyodo@city.amami.lg.jp	○	○	○	
	54	大和村	企画観光課	0997-57-2117	kikaku@vill.yamato.lg.jp		○	○	
	55	宇検村	企画観光課	0997-67-2218	kikaku@uken.net	○	○	○	
	56	瀬戸内町	企画課	0997-72-1112	shinkou@town.setouchi.lg.jp	○	○	○	Uターン者資格取得費助成
	57	龍郷町	企画観光課	0997-69-4512	kikakukanko@town.tatsugo.lg.jp		○		
	58	喜界町	企画観光課	0997-65-3683	kikaku-5@town.kikai.lg.jp		○		
	59	徳之島町	企画課	0997-82-1112	kikaku4@tokunoshima-town.org		○	○	
	60	天城町	ふるさと創生室	0997-85-3116	ijyu-amagi@yui-amagi.com		○	○	お試し移住体験助成 移住支援金
	61	伊仙町	未来創生課	0997-86-3112	isencho@po.synapse.ne.jp		○		
	62	和泊町	企画課	0997-84-3512	kikaku@town.wadomari.lg.jp		○		
	63	知名町	一般社団法人ツギノバ 企画振興課	050-8885-9770 0997-84-3162	info@tsuginoba.or.jp china08@town.china.lg.jp		○		
	64	与論町	総務企画課	0997-97-3111	kikaku@yoron.jp		○	○	

エリア	掲載ページ	支援内容																								
		住宅関係支援							子育て支援								医療・福祉支援	体験メニュー			その他支援					
		空き家バンク	宅地貸付・分譲	宅地取得補助	住宅取得・改修補助	浄化槽設置補助	定住促進住宅等賃貸	その他支援	医療費助成	出生祝金	放課後児童クラブ	交流・相談の場提供	子育て支援パスポート	ファミリー・サポート・センター	その他支援			体験施設宿泊	農家宿泊	体験プログラム等						
鹿児島	22	○	○		○	○	○		○		○	○	○	○	ポータルサイト、乳幼児健診費用負担など	○			○	○	IJU倶楽部会員特典 サービス・移住奨励金					
	23	○	○		○	○		空き家改修補助金	○		○	○	○		マタニティボックス	○	○			○	ゲストハウス開業支援 （空き家改修補助）				
	24	○	○	○	○	○	○	定住奨励金	○	○	○	○	○	○	子育て支援センター	○	○	○	○	○	新婚家賃等補助				
	25						○	定住助成金	○	○			○		産後ケア事業・給食費の無償化・妊婦交通宿泊費補助など	○					転入費用一部助成				
	26				○	○	○	定住助成金	○	○			○		中学生以下の扶養支援	○	○			○	転入費用一部助成 定住資金交付				
南薩	27	○			○	○			○	○	○	○	○	○	就園補助金・保育所等入所児童おむつ給付	○	○			○	結婚新生活支援				
	28	○	○		○	○		定住準備金	○		○	○	○	○	チャイルドシート無料貸出	○				○	敬老祝金支給 生ごみ処理機設置補助				
	29	○	○		○	○		空き家バンク家財処分等補助金	○	○	○	○	○	○	給食費の無償化 保育所等保育料軽減	○				○	シニア世代への温泉 タクシー利用等の助成				
	30	○	○		○	○	○	家賃補助（30歳未満） 子育て世帯家賃補助	○	○	○	○	○	○	子育て人材バンク 婚活応援など	○	○	○	○	○	敬老祝金支給 移住者運転免許取得支援				
北薩	31	○				○		賃貸住宅家賃補助 空き家家財等処分補助	○	○	○	○	○		子育て世帯移住補助 保育料無償化	○				○	長寿祝金支給				
	32	○			○	○		通勤補助	○		○	○	○	○	にこやか赤ちゃん券支給、チャイルドシート無料貸出、医療用ウィッグ助成	○	○	○			お試し居住体験補助				
	33	○	○		○	○		新幹線通勤・通学定期購入補助金、UIJターン者家賃等補助金	○	○	○	○	○	○	離島地域妊産婦交通・宿泊費助成 妊婦歯科健診補助	○	○	○	○		奨学金返還支援 移住体験ツアー				
	34	○	○	○	○	○	○	若者家賃補助	○		○	○	○		保育料等負担軽減	○	○	○	○	○	転入者就労支援奨励金				
	35	○			○	○			○	○	○		○		子宝お祝い金支給、学校給食費無償化 チャイルドシート無料貸出											
姶良・伊佐	36	○	○	○	○	○	○	公営住宅家賃補助	○		○	○	○	○	出産育児一時金	○				○						
	37	○			○	○			○		○	○	○	○	親子教室 不妊治療費助成	○	○	○	○							
	38	○		○	○	○	○		○		○	○	○	○		○										
	39	○	○		○	○	○	家賃補助	○	○	○	○	○	○	子育て世帯児童支援	○		○	○		長寿祝金支給				
大隅	40	○	○		○	○		空き家改修補助 空き家家財処分補助	○	○	○	○	○	○	高校生応援給付金の支給 学校給食費の無償化	○	○	○	○	○	子育て世帯移住体験ツアー				
	41	○			○	○	○	賃貸住宅家賃補助	○		○	○	○	○	給食費の全額補助	○				○	結婚新生活支援				
	42	○	○		○	○	○	家賃補助	○	○	○	○	○	○	保育料等の 保護者負担軽減					○	敬老祝金支給				
	43	○	○		○	○	○	空き家リフォーム支援 空き家家財処分補助	○	○	○	○	○	○	保育料無償化 学校給食費の無償化	○	○	○	○	○	長寿祝金 結婚新生活支援事業				
	44	○	○		○	○		空き家リフォーム助成 空き家除去助成	○	○	○		○		中学校入学援助金 保育所利用負担金無料	○	○	○	○	○	敬老祝い金支給 結婚支援金				
	45	○			○	○		移住促進事業補助	○	○	○	○	○		給食費の一部補助	○	○			○	敬老年金給付				
	46	○			○	○	○	定住促進住宅入居支援 固定資産税減免	○	○	○	○	○		保育料助成	○	○			○	お試しサテライトオフィスの体験				
	47	○			○	○	○		○	○	○	○	○		保育料全額助成	○	○	○		○	結婚祝金支給				
	48	○			○	○		エコキュート設置費補助 太陽光発電システム設置補助	○	○	○	○	○		チャイルドシート無料貸出 助産師赤ちゃん訪問	○	○			○	結婚新生活支援 レンタカー補助				
熊毛	49	○			○	○	○	家賃補助	○		○	○	○	○	子育て応援券支給、奨学金貸付、小中学校入学祝金支給、小中学校給食費無償化		○	○	○							
	50	○			○	○	○		○	○	○	○	○		産後ケア事業、出産子育て応援事業				○							
	51	○		○	○	○	○	移住定住 促進補助	○	○	○	○	○		学校給食費無償化、子ども医療費無償化（18歳まで）、出産祝金支給	○	○	○	○	○	結婚祝金支給 敬老祝金支給				
	52	○	○		○	○	○	島内産材使用補助 家賃補助	○	○	○	○	○		口永良部島妊婦 出産支援費助成	○	○				敬老祝金支給 新婚新生活支援事業				
大島	53	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	病児・病後児保育	○				○	敬老祝金支給				
	54				○		○	新築住宅助成 村営住宅家賃助成	○	○	○	○			育児助成金、不妊治療交通費助成、出産祝い金、保育料無償	○	○			○	敬老祝金支給、高校生通学バス助成、専門学校通学助成				
	55				○	○	○	村営住宅料の助成	○	○	○	○	○		入学祝金、 保育料の無償化など	○				○	高校通学費全額補助				
	56	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	小学校入学祝金 古仁屋高校入学祝金	○	○				古仁屋高校生徒通学費等補助 古仁屋高校ふるさと留学補助費				
	57	○			○	○		移住者向け リフォーム等補助	○	○	○	○	○	○	不妊治療費・旅費補助	○					敬老祝金支給 バス通学費助成				
	58	○			○	○		UIターン者向け 住宅改修補助	○	○	○	○	○		出産に伴う 医療費等助成	○	○	○	○							
	59	○			○	○	○	公共下水道 接続工事費補助	○	○	○	○	○	○	延長保育など	○				○	敬老祝金支給				
	60	○			○	○		空き家改修費補助事業 Uターン住宅改修補助	○	○	○	○			保育料無償化、在宅育児支援、紙おむつ支給、給食費無償化	○				○	引越費用補助 新婚さんの応援補助				
	61				○	○			○	○	○	○	○		延長保育 子育て支援金	○				○	敬老祝金支給、ハイリスク妊産婦療費助成、高校生バス通学費助成				
	62				○	○	○		○		○	○	○	○	乳児用品購入費助成		○			○						
	63	○			○	○	○		○	○	○	○	○		子育て支援金	○			○	○						
	64	○			○	○	○		○	○	○		○		不妊治療交通費助成 妊婦交通・宿泊費助成					○	ふるさと留学制度				